

2020年度

講義要項

社会福祉学科

西日本短期大学

社会福祉学科

<学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）>

DP1 介護福祉士として必要な専門的知識や理論、技術が身についている。

DP2 社会人として必要な教養や人間力が備わっている。

DP3 生活の質を高める個別ケアの方法や技術が身についている。

DP4 質の高い介護福祉士として、応用力やチームマネジメント力を有している。

DP5 専門的知識と実践力を統合した力が身についている。

<ナンバリングについて>

カリキュラムの体系性を示すため、授業科目に適切な番号を付し分類することで、学修の段階や順序等を表したものです。

■学科コード

- | | |
|-----------|---------------------|
| 1 ビジネス法学科 | 4 保育学科 |
| 2 緑地環境学科 | 5 健康スポーツコミュニケーション学科 |
| 3 社会福祉学科 | 6 メディア・プロモーション学科 |

■科目区分

- | | |
|--------|--------|
| B 基礎科目 | S 専門科目 |
| P 実務科目 | Q 資格科目 |

■開講期

- | | | |
|---------|---------|--------|
| 1 一年次科目 | 2 二年次科目 | |
| S 前期科目 | F 後期科目 | Y 通年科目 |

■必修・選択の区分

- | | |
|------|------|
| R 必修 | E 選択 |
|------|------|

■科目ナンバー

二桁の数字

(例)「心理学」の場合

学科コード	科目区分	開講期	必修・選択	科目ナンバー
3	B	1 S	R	01

<社会福祉学科 1年次開講科目>

区分	授業科目	ナンバリング	学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）					ページ
			DP 1	DP 2	DP 3	DP 4	DP 5	
基礎	心理学	3-B1SR01	○					1
	総合演習 I A	3-B1SR02				○		2
	総合演習 I B	3-B1FR03				○		3
	英語 I	3-B1SE04		○				4
	英語 II	3-B1FE05		○				5
	茶道文化 I	3-B1SE06		○				6
	茶道文化 II	3-B1FE07		○				7
専門	社会福祉概論 A	3-S1SE01	○					8
	社会福祉概論 B	3-S1FE02	○					9
	障害の理解	3-S1FR03	○					10
	障害者福祉論	3-S1FR04	○					11
	認知症 A	3-S1SR05	○					12
	認知症 B	3-S1FE06	○					13
	人体構造と疾病 A	3-S1SE07	○					14
	人体構造と疾病 B	3-S1SE08	○					15
	人体構造と疾病 C	3-S1FE09	○					16
	介護の基本 I	3-S1SR10	○					17
	介護の基本 II	3-S1SR11	○					18
	コミュニケーション技術 A	3-S1SE12	○					19
	コミュニケーション技術 B	3-S1FE13	○					20
	生活支援技術（移動 A）	3-S1SE14	○					21
	生活支援技術（移動 B）	3-S1FE15	○					22
	生活支援技術（環境）	3-S1SE16	○					23
	生活支援技術（食事）	3-S1FE17	○					24
	生活支援技術（アクティビティ）	3-S1FE18			○			25
	介護過程 I	3-S1FE19	○					26
	実習指導 A	3-S1SE20				○		27
	実習指導 B	3-S1FE21				○		28
	介護実習	3-S1YE22				○		29
	芸術療法	3-S1FE23			○			30
	癒しのケア	3-S1SE24			○			31
	コンピュータ演習	3-S1FE25		○				32
	介護の基礎 I	3-S1SE26		○				33
	介護の基礎 II	3-S1FE27		○				34

○：関連するディプロマ・ポリシー △：次に関連するディプロマ・ポリシー

< 社会福祉学科 2年次開講科目 >

区分	授業科目	ナンバリング	学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）					ページ
			DP 1	DP 2	DP 3	DP 4	DP 5	
基礎	社会福祉援助論	3-B2FE01				○		35
	社会福祉援助技術	3-B2SR02				○		36
	高齢者健康学	3-B2SE03	○					37
専門	発達と老化の理解	3-S2FE01	○					38
	介護の基本Ⅲ	3-S2SE02	○					39
	介護の基本Ⅳ	3-S2SE03	○					40
	介護の基本Ⅴ	3-S2FE04					○	41
	障害児支援論	3-S2FE05	○					42
	家政学演習	3-S2FR06	○					43
	生活支援技術（清潔）	3-S2SE07	○					44
	生活支援技術（排泄）	3-S2SE08	○					45
	生活支援技術（家事・終末期）	3-S2SE09	○					46
	生活支援技術（総論）	3-S2FE10					○	47
	介護過程Ⅱ A	3-S2SE11	○					48, 49
	介護過程Ⅱ B	3-S2FE12	○					50
	医療的ケア A	3-S2SE13	○					51
	医療的ケア B	3-S2SE14	○					52
	医療的ケア C	3-S2FE15	○					53, 54
	国家試験特講 A	3-S2FE16					○	55
	国家試験特講 B	3-S2FE17					○	56
	介護実習	3-S2YE18				○		57
	障害児・者スポーツ論	3-S2FE19			○			58
	障害児・者スポーツ演習	3-S2FE20			○			59
	園芸福祉	3-S2FE21			○			60
	手話	3-S2SE22		○				61
	介護の基礎Ⅲ	3-S2SE23	○					62

○：関連するディプロマ・ポリシー △：次に関連するディプロマ・ポリシー

科目名	心理学							Psychology	担当者	城戸 由香里		
開講年度	2020	学年	1	開講期	前期	単位数	2	授業形態	講義	必修・選択の区分	必修	
授業の到達目標	心理学における基本的な人間の欲求を列記できる。脳のしくみおよび認知、学習、記憶、思考、感情・情動が説明できる。ストレスなどに対する適応を例をあげ、様々な適応方法を列挙できる。睡眠・休息のしくみを述べる事ができる。「死」についてのこころの理解ができる。総合的に、高齢者、障がい者へ人権を学んだ概念を用い述べる事ができる。											
授業概要	授業の始めに、前回の簡単な要点の復習を行い、小テストと答え合わせを行う。当該授業では、予習としてテキストを学生が熟読してきた内容を配布プリントにて、要点、理解の確認を行う。さらに理解を深めるため、様々な例を用い、必要に応じて、生徒間のグループワークを行う。授業の最後に、小テストのプリントを提出する。											
授業計画	授業のテーマ							予習内容・時間		復習内容・時間		
	1	健康とは					テキスト p1～8を熟読（2時間）		次回の小テストの準備（2時間）			
	2	人間の欲求と自己実現					テキスト p14～18を熟読（2時間）		次回の小テストの準備（2時間）			
	3	自己実現と尊厳					テキスト p19～23を熟読（2時間）		次回の小テストの準備（2時間）			
	4	こころのしくみの基礎（脳）					テキスト p24～27を熟読（2時間）		次回の小テストの準備（2時間）			
	5	こころのしくみの基礎（認知）					テキスト p28を熟読（2時間）		次回の小テストの準備（2時間）			
	6	こころのしくみの基礎（学習）					テキスト p28～29を熟読（2時間）		次回の小テストの準備（2時間）			
	7	こころのしくみの基礎（記憶）					テキスト p29～30を熟読（2時間）		次回の小テストの準備（2時間）			
	8	こころのしくみの基礎（思考）					テキスト p30～32を熟読（2時間）		次回の小テストの準備（2時間）			
	9	こころのしくみの基礎（感情・情動）					テキスト p32～33を熟読（2時間）		次回の小テストの準備（2時間）			
	10	こころのしくみの基礎（意欲・動機づけ）					テキスト p33～34を熟読（2時間）		次回の小テストの準備（2時間）			
	11	こころのしくみの基礎（適応）					テキスト p35～37を熟読（2時間）		次回の小テストの準備（2時間）			
	12	休息と睡眠					テキスト p240～249を熟読（2時間）		次回の小テストの準備（2時間）			
	13	心身の機能低下が休息・睡眠に及ぼす影響					テキスト p250～257を熟読（2時間）		次回の小テストの準備（2時間）			
	14	「死」に対するこころの理解					テキスト p275～281を熟読（2時間）		次回の小テストの準備（2時間）			
	15	総括・確認テスト					1～14の総復習（2時間）					
成績評価基準	毎回の小テスト点数及び、授業への積極的参加（発表など）を評価する。15回目の総括の確認テストにて、各項目のキーワードやその意味の確認を行い（90点）総合的な理解は記述式の回答により評価する（10点）。											
成績評価方法（割合％）	筆記試験		レポート		課題		実技		授業の取組		その他（ ）	
	80		10		なし		なし		10		なし	
教科書	こころとからだのしくみ（11）					参考書		配布プリント				
課題（試験、レポート等）に対するフィードバックの方法	15回目の確認テスト前にキーワードや学生の理解の不十分な単元の補足説明を行う。											

科目名	総合演習 I A General Practice I A							担当者	川井小百合 中野 幹子 一山 幸子 折居明日香 田邊 伸一 山本 恭大			
開講年度	2020	学年	1	開講期	前期	単位数	1	授業形態	演習	必修・選択の区分	卒業必修 介護福祉士必修	
授業の到達目標	①新しい生活環境へ適応し、健全で充実した学生生活を送れるよう、クラスメイトや教員と活発にコミュニケーションすることができる。 ②社会に貢献できる豊かな人間性を育ていけるよう、体験学習に積極的に参加することができる。											
授業概要	新しい環境や変化に対応できる適応力を高めること、学生生活への意欲や社会貢献への関心を高めることを目指します。											
授業計画	授業のテーマ							予習内容・時間		復習内容・時間		
	1	オリエンテーション・役割分担						自分が担当する役割について考えてみる(2時間)		講義内容について復習する(30分)		
	2	クラス担当教員面談						自分の学習状況や進路について振り返る(30分)		自分の学習状況や進路について振り返る(30分)		
	3	〃						自分の学習状況や進路について振り返る(30分)		自分の学習状況や進路について振り返る(30分)		
	4	クラス担当教員面談						自分の学習状況や進路について振り返る(30分)		自分の学習状況や進路について振り返る(30分)		
	5	〃						自分の学習状況や進路について振り返る(30分)		自分の学習状況や進路について振り返る(30分)		
	6	メンタルヘルス講習						プリントを読んでわからない言葉の意味を調べる(30分)		講義内容について復習する(30分)		
	7	マナー講座						プリントを読んでわからない言葉の意味を調べる(30分)		講義内容について復習する(30分)		
	8	施設見学						施設見学で調べることを再確認する(30分)		見学内容について復習する(30分)		
	9	〃						施設見学で調べることを再確認する(30分)		見学内容について復習する(30分)		
	10	お礼状作成						プリントを読んでわからない言葉の意味を調べる(30分)		講義内容について復習する(30分)		
	11	クラス担当教員面談						自分の学習状況や進路について振り返る(30分)		自分の学習状況や進路について振り返る(30分)		
	12	福祉施設ガイダンス						プリントを読んでわからない言葉の意味を調べる(30分)		講義内容について復習する(30分)		
	13	〃						プリントを読んでわからない言葉の意味を調べる(30分)		講義内容について復習する(30分)		
	14	クラス担当教員面談						自分の学習状況や進路について振り返る(30分)		自分の学習状況や進路について振り返る(30分)		
15	まとめ						すべての講義内容を再確認する(30分)		まとめの内容を再確認する(30分)			
成績評価基準	授業内容に応じたレポートの記述・提出、授業中の取り組み姿勢											
成績評価方法(割合%)	筆記試験		レポート		課題		実技		授業の取組		その他()	
	0		50%		0		0		50%			
教科書	必要に応じてプリント配布						参考書					
課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法	授業での課題・提出物は確認後、必要に応じて個別指導する。											

科目名	総合演習 I B General Practice I B							担当者	折居明日香 中野 幹子 一山 幸子 川井小百合 田邊 伸一 山本 恭大			
開講年度	2020	学年	1	開講期	後期	単位数	1	授業形態	演習	必修・選択の区分	卒業必修 介護福祉士必修	
授業の到達目標	①実習の教育効果を上げるため、事前に実習施設についての理解を深め、各領域で学習した知識と技術を統合し、反映した内容を記録物に記述することができる。 ②実習における自己の目標や課題を明確にし、個人ワークやグループワークで考える力を養うことができる。また、グループ発表で他者に説明する力を向上することができる。											
授業概要	介護実習、実習指導Bと組み合わせた学習で、実習の準備と実習に必要な記録物の記述方法、実習施設の基礎知識について学ぶ。介護実習の目標設定や実習後の自己の課題を抽出し、専門職としての態度や姿勢を養う。巡回教員担当ごとの個別指導を行い、個人の学習状況に応じた指導を実施する。											
授業計画	授業のテーマ							予習内容・時間	復習内容・時間			
	1	オリエンテーション (授業内容・評価基準・評価方法について)						シラバスを確認する (30分)	今回の講義で学んだ内容を復習する (30分)			
	2	知識と技術の統合 (実習日誌の記述指導)						実習指導Aで配布されたプリントを読んで再確認する (30分)	今回の講義で学んだ内容を復習する (30分)			
	3	知識と技術の統合 (実習の意義と目的・必要な書類の記述指導)						実習要綱を確認する (30分)	今回の講義で学んだ内容を復習する (30分)			
	4	知識と技術の統合 (実習日誌の記述指導)						授業で配布したプリントを読んで再確認する (30分)	今回の講義で学んだ内容を復習する (30分)			
	5	知識と技術の統合 (施設レクリエーション見学・演習)						授業で配布したプリントを読んで再確認する (30分)	今回の講義で学んだ内容を復習する (30分)			
	6	知識と技術の統合 (事前オリエンテーションについて)						実習要綱を確認する (30分)	今回の講義で学んだ内容を復習する (30分)			
	7	知識と技術の統合 (実習日誌の記述指導)						授業で配布したプリントを読んで再確認する (30分)	今回の講義で学んだ内容を復習する (30分)			
	8	福祉施設説明会						事前配布の資料を確認する (30分)	今回の講義で学んだ内容を復習する (30分)			
	9	知識と技術の統合 (実習 [I] - 1 の直前指導)						実習要綱を確認する (30分)	今回の講義で学んだ内容を復習する (30分)			
	10	知識と技術の統合 (実習 [I] - 1 の直後指導)						実習要綱を確認する (30分)	今回の講義で学んだ内容を復習する (30分)			
	11	知識と技術の統合 (実習 [I] - 1 の実習の振り返り・記録物の指導)						授業で配布したプリントを読んで再確認する (30分)	今回の講義で学んだ内容を復習する (30分)			
	12	担当教員面談						授業で配布したプリントを読んで再確認する (30分)	今回の講義で学んだ内容を復習する (30分)			
	13	知識と技術の統合 (実習の意義と目的・必要な書類の記述指導)						実習要綱を確認する (30分)	今回の講義で学んだ内容を復習する (30分)			
	14	介護実践の科学的探究 (個人・グループワーク・発表)						授業で配布したプリントを読んで再確認する (30分)	今回の講義で学んだ内容を復習する (30分)			
15	まとめ						授業を振り返り疑問・質問点を挙げておく (30分)	授業全体を振り返り、学んだ内容をまとめる (30分)				
成績評価基準	①レポートで自己の考えをまとめ解答することができる。 ②実習記録物を通して、評価・考察や自己の課題をグループワーク等で発表することができる。											
成績評価方法 (割合%)	筆記試験		レポート		課題		実技		授業の取組		その他(提出物)	
	-		60%		-		-		20%		20%	
教科書	必要に応じてプリントを配布 本学作成の「介護実習要綱」					参考書	「介護実習で困らないためのQ&A」 中央法規出版					
課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法	実習記録物やレポートは添削後、返却する。											

科目名	英語 I							English I		担当者	西村 紀子		
開講年度	2020	学年	1	開講期	前期	単位数	1	授業形態	演習	必修・選択の区分	選択		
授業の到達目標	<p>中学までに学んだ、基礎的な文法、語彙を確認し、同時に日常会話に必要な表現も身につけ、総合的に学習を進める。</p> <p>英語力に必要な基本的文法構造を学び習得し、基礎的語学力を身につける。</p>												
授業概要	<p>基礎文法を学び、英文法の知識を再確認する。</p> <p>日常会話でよく使う表現の「文型」を多く挙げ、英語の表現に親しんでいく。</p> <p>毎回語彙テストを行い、語彙を増やすことを心掛ける。</p>												
授業計画	授業のテーマ								予習内容・時間		復習内容・時間		
	1	コースの目標と内容の説明									定型文・40分		
	2	品詞について Be 動詞							語彙テスト① 30分		品詞 Be 動詞・40分		
	3	一般動詞							語彙テスト② 30分		一般動詞・40分		
	4	一般動詞と Be 動詞の区別、応用練習							語彙テスト③ 30分		一般/Be 動詞・40分		
	5	時制（現在、過去、現在進行形、過去進行形）							語彙テスト④ 30分		時制・40分		
	6	練習							語彙テスト⑤ 30分		時制・40分		
	7	文の種類（肯定文、否定文、疑問文）							語彙テスト⑥ 30分		文の種類・40分		
	8	練習							語彙テスト⑦ 30分		文の種類・40分		
	9	疑問詞を使う疑問文							語彙テスト⑧ 30分		疑問詞・40分		
	10	練習							語彙テスト⑨ 30分		疑問詞・40分		
	11	接続詞で単文をつなぐ							語彙テスト⑩ 30分		接続詞・40分		
	12	練習							語彙テスト⑪ 30分		接続詞文練習・40分		
	13	頻度の高い動詞句（希望、予定、強制）							語彙テスト⑫ 30分		動詞句・40分		
	14	練習、前期学習内容の総復習									総復習・40分		
15	まとめ												
成績評価基準	平常点（70%）+ 期末試験（30%）												
成績評価方法（割合%）	筆記試験	レポート	課題	実技	授業の取組	その他							
	30%	-	-	-	70%	-							
教科書	プリント配布						参考書	「英会話の基本文型87」					
課題（試験、レポート等）に対するフィードバックの方法	期末試験のフィードバックは希望に応じて行います。												

科目名	英語Ⅱ							English II	担当者	西村紀子		
開講年度	2020	学年	1	開講期	後期	単位数	1	授業形態	演習	必修・選択の区分	選択	
授業の到達目標	英語Ⅰで学んだ基礎文法を応用して活用できるようにする。 基礎文法をさらに学び、日常の身の回りの事柄について、自分の言葉で発話できるようにする。											
授業概要	基礎文法の復習を行い、英語文法の知識を確立する。 CDを使ったフレーズ練習により、英語の音や、日常会話での表現を学び、抵抗なく発話する力を身につける。 毎回語彙テストを行い、語彙を増やすことを心掛ける。											
授業計画	授業のテーマ							予習内容・時間		復習内容・時間		
	1	コースの目標と内容の説明								定型文・40分		
	2	to不定詞（名詞、形容詞、副詞的用法）						語彙テスト① 30分		to不定詞・40分		
	3	練習						語彙テスト② 30分		to不定詞・40分		
	4	受動態						語彙テスト③ 30分		受動態・40分		
	5	練習						語彙テスト④ 30分		受動態・40分		
	6	現在完了形（完了、経験、継続）						語彙テスト⑤ 30分		現在完了形・40分		
	7	練習						語彙テスト⑥ 30分		現在完了形・40分		
	8	現在分詞						語彙テスト⑦ 30分		現在分詞・40分		
	9	過去分詞						語彙テスト⑧ 30分		過去分詞・40分		
	10	練習						語彙テスト⑨ 30分		分詞復習・40分		
	11	関係代名詞（主格）						語彙テスト⑩ 30分		関係代名詞・40分		
	12	関係代名詞（目的格）						語彙テスト⑪ 30分		関係代名詞・40分		
	13	練習						語彙テスト⑫ 30分		関係代名詞・40分		
	14	練習、後期学習内容の総復習								総復習・40分		
15	まとめ											
成績評価基準	平常点（70%）＋期末試験（30%）											
成績評価方法（割合%）	筆記試験	レポート	課題	実技	授業の取組	その他						
	30%	-	-	-	70%	-						
教科書	プリント配布						参考書	「英会話の基本文型87」				
課題（試験、レポート等）に対するフィードバックの方法	期末試験のフィードバックは希望に応じて行います。											

科目名	茶道文化 I Culture of Tea Ceremony I							担当者	石川嘉子 実務家教員			
開講年度	2020	学年	1	開講期	前期	単位数	1	授業形態	演習	必修・選択の区分	選択	
授業の到達目標	茶道を学ぶことでもてなしの基本が身につくようになる。 点てられたお茶を感謝の気持ちでいただく事が出来ます。 もてなす側と客はお互いを尊重し日本の伝統文化に興味を持つ事が出来る。											
授業概要	実技を主とする 茶室で四季折々の季節感（床の間・掛軸・茶花）等を感じとる											
授業計画	授業のテーマ							予習内容・時間	復習内容・時間			
	1	茶室での所作 挨拶・襖の開閉など						シラバスを読んでおく (30分)	授業の復習 (30分)			
	2	茶室での所作 挨拶・襖の開閉など						授業の予習 (30分)	授業の復習 (30分)			
	3	茶室での所作 帛紗のたたみ方						帛紗のたたみ方 (30分)	授業の復習 (30分)			
	4	茶室での所作 帛紗・扇子の扱い方など						帛紗のたたみ方 (30分)	授業の復習 (30分)			
	5	客の心得、菓子のいただき方、お茶のいただき方、花と花入						帛紗のたたみ方 (30分)	授業の復習 (30分)			
	6	客の心得、菓子のいただき方、お茶のいただき方、花と花入						帛紗のたたみ方 (30分)	授業の復習 (30分)			
	7	割稽古 帛紗のさばき方①、花と花入						帛紗のたたみ方 (30分)	授業の復習 (30分)			
	8	割稽古 茶筌・茶巾の扱い、茶碗の拭き方②、花と花入						帛紗のたたみ方 (30分)	授業の復習 (30分)			
	9	割稽古 茶筌・茶巾の扱い、茶碗の拭き方③、花と花入						帛紗のたたみ方 (30分)	授業の復習 (30分)			
	10	盆略点前 亭主と客の役割①、花と花入						帛紗のたたみ方 (30分)	授業の復習 (30分)			
	11	盆略点前 亭主と客の役割②、花と花入						帛紗のたたみ方 (30分)	授業の復習 (30分)			
	12	盆略点前 亭主と客の役割③、花と花入						帛紗のたたみ方 (30分)	授業の復習 (30分)			
	13	柄杓の扱い方 (風炉)						帛紗のたたみ方 (30分)	授業の復習 (30分)			
	14	柄杓の扱い方 (風炉)						帛紗のたたみ方 (30分)	授業の復習 (30分)			
	15	運び薄茶点前 (前半) まで (風炉)						帛紗のたたみ方 (30分)	授業の復習 (30分)			
成績評価基準	実技を40% 授業の取組を60%											
成績評価方法 (割合%)	筆記試験		レポート		課題		実技	授業の取組		その他 ()		
							40	60				
教科書	帛紗セット一式 約¥3,700						参考書	「裏千家茶道」千 宗室・千 玄室監修 (学校茶道教本編集委員会)				
課題 (試験、レポート等) に対するフィードバックの方法	裏千家「学校茶道つどいの茶会」等の参加を目標とする。											

科目名	茶道文化Ⅱ Culture of Tea Ceremony Ⅱ							担当者	石川 嘉子 実務家教員			
開講年度	2020	学年	1	開講期	後期	単位数	1	授業形態	演習	必修・選択の区分	選択	
授業の到達目標	もてなす側と客が更に感謝の心を身につけるようになる。 日本の伝統茶道が日常生活に役に立つことに気づくようになる。 礼儀正しくなる。											
授業概要	千 利休の教え。 和・お互い同志が仲良く和し合うこと。 敬・尊敬の敬でお互い同志が敬い合い自らを慎むこと。 清・清らかという意味。見た目だけではなく心の清らかさをさします。 寂・どんな時にも動じない心のこと。											
授業計画	授業のテーマ							予習内容・時間	復習内容・時間			
	1	運び薄茶点前（前半）まで（風炉）花と花入						帛紗たたみ方(30分)	帛紗たたみ方(30分)			
	2	運び薄茶点前（前半）まで（風炉）花と花入						帛紗たたみ方(30分)	帛紗たたみ方(30分)			
	3	運び薄茶点前（前半）まで（風炉）花と花入						帛紗たたみ方(30分)	帛紗たたみ方(30分)			
	4	運び薄茶点前（前半）まで（風炉）終了まで 花と花入						帛紗たたみ方(30分)	帛紗たたみ方(30分)			
	5	運び薄茶点前（前半）まで（風炉）終了まで 花と花入						帛紗たたみ方(30分)	帛紗たたみ方(30分)			
	6	運び薄茶点前（炉）道具の位置 花と花入						帛紗たたみ方(30分)	帛紗たたみ方(30分)			
	7	運び薄茶点前（炉）道具の位置 花と花入						帛紗たたみ方(30分)	帛紗たたみ方(30分)			
	8	運び薄茶点前（炉）道具の位置 花と花入						帛紗たたみ方(30分)	帛紗たたみ方(30分)			
	9	運び薄茶点前（炉）点前の（前半）まで 花と花入						帛紗たたみ方(30分)	帛紗たたみ方(30分)			
	10	運び薄茶点前（炉）点前の（前半）まで 花と花入						帛紗たたみ方(30分)	帛紗たたみ方(30分)			
	11	運び薄茶点前（炉）点前の（前半）まで 花と花入						帛紗たたみ方(30分)	帛紗たたみ方(30分)			
	12	運び薄茶点前（炉）点前の終了まで 花と花入						帛紗たたみ方(30分)	帛紗たたみ方(30分)			
	13	運び薄茶点前（炉）点前の終了まで 花と花入						帛紗たたみ方(30分)	帛紗たたみ方(30分)			
	14	薄茶点前（炉）棚の説明・扱い方 花と花入						帛紗たたみ方(30分)	帛紗たたみ方(30分)			
	15	薄茶点前（炉）お茶会形式で仕上げます 花と花入						帛紗たたみ方(30分)	帛紗たたみ方(30分)			
成績評価基準	実技を40% 授業の取組を60%											
成績評価方法 (割合%)	筆記試験	レポート	課題	実技	授業の取組	その他()						
				40	60							
教科書	帛紗セット一式 約¥3,700						参考書	「裏千家茶道」千 宗室・千 玄室監修（学校茶道教本編集委員会）				
課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法	裏千家「学校茶道つどいの茶会」等の参加を目標とする。											

科目名	社会福祉概論 A Introduction to Social Welfare A							担当者	山本 恭大				
開講年度	2020	学年	1	開講期	前期	単位数	2	授業形態	講義	必修・選択の区分	必修		
授業の到達目標	地域社会における生活とその支援についての基礎的な知識、および社会保障の制度・施策についての基礎的な知識を身につけることを目的とする。												
授業概要	社会福祉概論Aでは『社会と生活のしくみ』『地域共生社会の実現に向けた制度や施策』『社会保障制度』について、基本となる法律や制度、その歴史について学ぶ。 この授業は、介護福祉士として実務経験のある教員が担当する。												
授業計画	授業のテーマ							予習内容・時間	復習内容・時間				
	1	社会と生活のしくみ (オリエンテーション)							教科書全体に目を通す (1時間)	ノートの取り方等次週以降の準備 (1時間)			
	2	社会と生活のしくみ 生活・ライフスタイルの変化							ライフスタイルについて考える (2時間)	ライフスタイルについてまとめる (2時間)			
	3	社会と生活のしくみ 家族の機能と役割							家族について考える (2時間)	家族についてまとめる (2時間)			
	4	社会と生活のしくみ 社会・組織の機能と役割							組織について考える (2時間)	組織についてまとめる (2時間)			
	5	社会と生活のしくみ 地域社会と生活支援 (ミニテスト)							1章についてまとめる (2時間)	ミニテストをまとめる (2時間)			
	6	地域共生社会の実現に向けた制度や施策 地域福祉の歴史							共生について考える (2時間)	共生についてまとめる (2時間)			
	7	地域共生社会の実現に向けた制度や施策 地域共生							共生についてまとめる (2時間)	共生についてまとめる (2時間)			
	8	地域共生社会の実現に向けた制度や施策 地域包括ケア (ミニテスト)							2章についてまとめる (2時間)	ミニテストをまとめる (2時間)			
	9	社会保障制度 社会保障とは何か							社会保障について考える (2時間)	社会保障についてまとめる (2時間)			
	10	社会保障制度 日本の社会保障の歴史							社会保障の歴史について考える (2時間)	歴史についてまとめる (2時間)			
	11	社会保障制度 日本の社会保障の歴史							社会保障の歴史についてまとめる (2時間)	歴史についてまとめる (2時間)			
	12	社会保障制度 社会保障制度のしくみ							社会保障制度について考える (2時間)	社会保障制度についてまとめる (2時間)			
	13	社会保障制度 社会保障制度のしくみ							社会保障制度についてまとめる (2時間)	社会保障制度についてまとめる (2時間)			
	14	社会保障制度 現代の社会保障制度 (ミニテスト)							3章についてまとめる (2時間)	全ミニテストをまとめる (2時間)			
	15	まとめ							14回の授業をまとめる (3時間)	全範囲をまとめる (3時間)			
成績評価基準	筆記試験：授業の全範囲を対象とした筆記試験を行う。教科書の章ごとにミニテストで理解度を確認する。 レポート：各単元ごとに、理解度を確認するためのレポート課題を課す。 授業の取組：授業中の私語や居眠りに対しては減点する。												
成績評価方法 (割合%)	筆記試験	レポート			課題			実技	授業の取組	その他 ()			
	80	10							10				
教科書	『社会の理解』(中央法規)						参考書						
課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法	授業中に課したミニテストは、採点し原則、次の授業で返却する。 授業中に課したレポート課題は提出後、原則2週間以内にコメントをつけて返却する。												

科目名	社会福祉概論 B Introduction to Social Welfare B						担当者	田 邊 伸 一				
開講年度	2020	学年	1	開講期	後期	単位数	2	授業形態	講義	必修・選択の区分	必修	
授業の到達目標	①福祉の理念を理解し、尊厳保持や権利擁護の視点及び専門職として基盤となる倫理観を養うことができる。 ②介護実践に必要な知識という観点から、社会保障制度・施策についての基礎的な知識を身につける。 ③介護実践に支える教養を高め、総合的な判断力及び人間性を養うことができる。											
授業概要	・高齢者福祉制度の基本的な法律である、「介護保険制度」の内容を把握し、高齢者福祉の現状と課題を捉える知識を養う。 ・障害者福祉制度の基本的な法律である、「障害者総合支援法」の内容を把握し、障害者福祉の現状と課題を捉える知識を養う。 ・人間の尊厳と自立に関わる権利擁護や個人情報保護等、介護実践に関する制度・施策の基本的な考え方を仕組みを養う。 ・この授業は、介護福祉士として実務経験のある教員が担当する。											
授業計画	授業のテーマ						予習内容・時間		復習内容・時間			
	1	高齢者福祉と介護保険制度					テキストP122～P139を 読んでおく(2時間)		テキストP122～P139の 概要をまとめる(2時間)			
	2	高齢者福祉と介護保険制度					テキストP140～P156を 読んでおく(2時間)		テキストP140～P156の 概要をまとめる(2時間)			
	3	高齢者福祉と介護保険制度					テキストP157～P175を 読んでおく(2時間)		テキストP157～P175の 概要をまとめる(2時間)			
	4	高齢者福祉と介護保険制度					テキストP176～P190を 読んでおく(2時間)		テキストP176～P190の 概要をまとめる(2時間)			
	5	高齢者福祉と介護保険制度					テキストP191～P203を 読んでおく(2時間)		テキストP191～P203の 概要をまとめる(2時間)			
	6	障害者保健福祉と障害者総合支援制度					テキストP206～P214を 読んでおく(2時間)		テキストP206～P214の 概要をまとめる(2時間)			
	7	障害者保健福祉と障害者総合支援制度					テキストP215～P224を 読んでおく(2時間)		テキストP215～P224の 概要をまとめる(2時間)			
	8	障害者保健福祉と障害者総合支援制度					テキストP225～P235を 読んでおく(2時間)		テキストP225～P235の 概要をまとめる(2時間)			
	9	障害者保健福祉と障害者総合支援制度					テキストP236～P246を 読んでおく(2時間)		テキストP236～P246の 概要をまとめる(2時間)			
	10	障害者保健福祉と障害者総合支援制度					テキストP247～P257を 読んでおく(2時間)		テキストP247～P257の 概要をまとめる(2時間)			
	11	介護実践に関する諸制度					テキストP260～P274を 読んでおく(2時間)		テキストP260～P274の 概要をまとめる(2時間)			
	12	介護実践に関する諸制度					テキストP275～P289を 読んでおく(2時間)		テキストP275～P289の 概要をまとめる(2時間)			
	13	介護実践に関する諸制度					テキストP290～P304を 読んでおく(2時間)		テキストP290～P304の 概要をまとめる(2時間)			
	14	介護実践に関する諸制度					テキストP305～P318を 読んでおく(2時間)		テキストP305～P318の 概要をまとめる(2時間)			
	15	まとめ					全範囲をまとめる (3時間)		全範囲をまとめる (3時間)			
成績評価基準	筆記試験：授業の全範囲を対象とした筆記試験を行う。教科書の章ごとにミニテストで理解度を確認する。 レポート：各単元ごとに、理解度を確認するためのレポート課題を課す。 授業の取組：授業中の私語や居眠りに対しては減点する。											
成績評価方法 (割合%)	筆記試験			レポート			課題		実技		授業の取組	その他()
	80			10							10	
教科書	『社会の理解』(中央法規)						参考書					
課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法	授業中に課したミニテストは、採点し原則、次の授業で返却する。 授業中に課したレポート課題は提出後、原則2週間以内にコメントをつけて返却する。											

科目名	障害の理解 Understanding of Disorders						担当者	川井小百合			
開講年度	2020	学年	1	開講期	後期	単位数	2	授業形態	講義	必修・選択の区分	介護福祉士必修
授業の到達目標	身体・精神・知的障害など、様々な障害についての特性を理解し、各々の障害状況に応じた生活の支援について、具体的に述べるようになる。										
授業概要	それぞれの障害状況に関する画像（事例）を見ること、障害を持つ当事者による講義（演習）により、障害についての理解が深められるような授業を行います。										
授業計画	授業のテーマ							予習内容・時間		復習内容・時間	
	1	障害の基礎的理解：「障害」の概念、障害者福祉の基本理念					テキストを読んでわからない言葉の意味を調べる(2時間)		講義内容について復習する(2時間)		
	2	障害の医学的・心理的側面の基礎的理解：視覚障害					テキストを読んでわからない言葉の意味を調べる(2時間)		講義内容について復習する(2時間)		
	3	障害の医学的・心理的側面の基礎的理解：聴覚障害・言語障害					テキストを読んでわからない言葉の意味を調べる(2時間)		講義内容について復習する(2時間)		
	4	障害の医学的・心理的側面の基礎的理解：重複障害					テキストを読んでわからない言葉の意味を調べる(2時間)		講義内容について復習する(2時間)		
	5	1～4 までのまとめ					1～4までの講義内容を再確認する(2時間)		まとめの内容を再確認する(2時間)		
	6	障害の医学的・心理的側面の基礎的理解：運動機能障害					テキストを読んでわからない言葉の意味を調べる(2時間)		講義内容について復習する(2時間)		
	7	障害の医学的・心理的側面の基礎的理解：内部障害①					テキストを読んでわからない言葉の意味を調べる(2時間)		講義内容について復習する(2時間)		
	8	障害の医学的・心理的側面の基礎的理解：内部障害②					テキストを読んでわからない言葉の意味を調べる(2時間)		講義内容について復習する(2時間)		
	9	6～8 までのまとめ					6～8までの講義内容を再確認する(2時間)		まとめの内容を再確認する(2時間)		
	10	障害の医学的・心理的側面の基礎的理解：発達障害・知的障害					テキストを読んでわからない言葉の意味を調べる(2時間)		講義内容について復習する(2時間)		
	11	障害の医学的・心理的側面の基礎的理解：高次脳機能障害					テキストを読んでわからない言葉の意味を調べる(2時間)		講義内容について復習する(2時間)		
	12	障害の医学的・心理的側面の基礎的理解：精神障害					テキストを読んでわからない言葉の意味を調べる(2時間)		講義内容について復習する(2時間)		
	13	障害の医学的・心理的側面の基礎的理解：重症心身障害・難病					テキストを読んでわからない言葉の意味を調べる(2時間)		講義内容について復習する(2時間)		
	14	10～13 までのまとめ					10～13までの講義内容を再確認する(2時間)		まとめの内容を再確認する(2時間)		
15	総括					すべての講義内容を再確認する(2時間)		まとめの内容を再確認する(2時間)			
成績評価基準	講義内容についてのレポート、まとめのミニテストにより評価する。										
成績評価方法(割合%)	筆記試験		レポート		課題		実技		授業の取組		その他()
	80%		15%		0		0		5%		
教科書	「障害の理解」中央法規出版					参考書	「見て覚える！介護福祉士国試ナビ」中央法規出版				
課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法	講義内容についてのレポート・まとめのミニテストは、確認後に返却し、必要に応じて授業時に講評・解説する。										

科目名	障害者福祉論 Theory of Welfare for the Disabled						担当者	一山幸子			
開講年度	2020	学年	1	開講期	後期	単位数	2	授業形態	講義	必修・選択の区分	卒業必修 介護福祉士必修
授業の到達目標	①「自立に向けた介護」について、障害者福祉制度と介護保険制度の違いを説明することができる。 ②「介護を必要とする人の理解」について、障害がある人の心理、障害受容、ピアサポートを説明することができる。 ③「障害の医学的側面の基礎的知識」について、知的障害、発達障害の原因、特性、支援を説明することができる。 ④「連携と協働」について、地域のサポート体制、社会資源、障害福祉サービス提供のしくみを説明することができる。 ⑤「家族への支援」について、障害のある人の家族への支援、レスパイトケアのあり方を説明することができる。										
授業概要	①「自立に向けた介護」、②「介護を必要とする人の理解」について、教科書、配布プリントによって障害者の制度や心理を学ぶ。 ③「障害の医学的側面の基礎的知識」について、精神科医による講義、及びDVD視聴等により、知的障害、発達障害の原因、特性、支援方法を学ぶ。 ④「連携と協働」について、⑤「家族への支援」について、教科書、配布プリントによって社会資源やレスパイトケアを学ぶ。 この授業は、社会福祉士と介護福祉士の実務経験のある教員が担当する。										
授業計画	授業のテーマ						予習内容・時間		復習内容・時間		
	1	自立に向けた介護：障害者福祉制度と介護保険制度の違い				教科書P37～P40を読み大事な所に下線を引く(2時間)		教科書P37～P40をノートにまとめる(2時間)			
	2	自立に向けた介護：障害者福祉制度と介護保険制度の併用				教科書P40～P42を読み大事な所に下線を引く(2時間)		教科書P40～P42をノートにまとめる(2時間)			
	3	介護を必要とする人の理解：障害がある人の心理、人間の欲求				教科書P46～P48を読み大事な所に下線を引く(2時間)		教科書P46～P48をノートにまとめる(2時間)			
	4	介護を必要とする人の理解：障害受容の過程、ピアサポート				教科書P49～P51を読み大事な所に下線を引く(2時間)		教科書P49～P51をノートにまとめる(2時間)			
	5	障害の医学的側面の基礎的知識：知的障害とは				教科書P160～P162を読み大事な所に下線を引く(2時間)		教科書P160～P162をノートにまとめる(2時間)			
	6	障害の医学的側面の基礎的知識：特性に応じた支援				教科書P162～P166を読み大事な所に下線を引く(2時間)		教科書P162～P166をノートにまとめる(2時間)			
	7	障害の医学的側面の基礎的知識：ライフステージに応じた関わり方				教科書P167～P171を読み大事な所に下線を引く(2時間)		教科書P167～P171をノートにまとめる(2時間)			
	8	障害の医学的側面の基礎的知識：発達障害とは				教科書P197～P202を読み大事な所に下線を引く(2時間)		教科書P197～P202をノートにまとめる(2時間)			
	9	障害の医学的側面の基礎的知識：生活の特性と生活支援				教科書P203～P205を読み大事な所に下線を引く(2時間)		教科書P203～P205をノートにまとめる(2時間)			
	10	障害の医学的側面の基礎的知識：支援機関				教科書P207～P209を読み大事な所に下線を引く(2時間)		教科書P207～P209をノートにまとめる(2時間)			
	11	連携と協働：地域のサポート体制				教科書P224～P228を読み大事な所に下線を引く(2時間)		教科書P224～P228をノートにまとめる(2時間)			
	12	連携と協働：地域の障害福祉サービス提供のしくみ				教科書P228～P237を読み大事な所に下線を引く(2時間)		教科書P228～P238をノートにまとめる(2時間)			
	13	連携と協働：チームアプローチ				教科書P238～P246を読み大事な所に下線を引く(2時間)		教科書P238～P246をノートにまとめる(2時間)			
	14	家族への支援：障害がある人の家族への支援				教科書P250～P261を読み大事な所に下線を引く(2時間)		教科書P250～P261をノートにまとめる(2時間)			
	15	まとめ				教科書P37～P261を読み大事な所を確認する(2時間)		教科書P37～P261の要点をまとめる(2時間)			
成績評価基準	①「自立に向けた介護」について、障害者福祉制度と介護保険制度の違いを説明することができる。 ②「介護を必要とする人の理解」について、障害がある人の心理、障害受容、ピアサポートを説明することができる。 ③「障害の医学的側面の基礎的知識」について、知的障害、発達障害の原因、特性、支援を説明することができる。 ④「連携と協働」について、地域のサポート体制、社会資源、障害福祉サービス提供のしくみを説明することができる。 ⑤「家族への支援」について、障害のある人の家族への支援、レスパイトケアのあり方を説明することができる。										
成績評価方法(割合%)	筆記試験	レポート	課題	実技	授業の取組	その他(復習テスト)					
	60%	20%			10%	10%					
教科書	最新 介護福祉士養成講座14「障害の理解」 介護福祉士養成講座編集委員会 編集 見て覚える！介護福祉士国試ナビ2021、中央法規				参考書	よくわかる発達障害、ミネルヴァ書房 障害者福祉論、全社協					
課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法	授業中の重要語句記入プリントやDVD視聴のレポート課題などは、添削をして返却します。										

科目名	認知症 A Dementia of the Aged A						担当者	折居 明日香			
開講年度	2020	学年	1	開講期	前期	単位数	2	授業形態	講義	必修・選択の区分	卒業必修 介護福祉士必修
授業の到達目標	①医学的・心理的側面から認知症の原因となる疾患および症状に応じた心身の変化や心理的影響を理解し、生活支援を行うための根拠となる知識を習得することができる。 ②認知症の診断や治療、予防について認知症ケアの基礎として、医学的側面に沿った知識を習得することができる。 ③認知症ケアの歴史や理念を含む、認知症を取り巻く社会的環境について理解し、説明することができる。										
授業概要	医学的側面から認知症の疾患や原因などの基礎知識および、認知症の方の生活を支えるという観点から、認知症の症状に伴う心理的变化や影響について学ぶ。 認知症の定義から認知症を取り巻く社会的状況について学ぶ。 この授業は、介護福祉士として実務経験のある教員が担当する。										
授業計画	授業のテーマ							予習内容・時間		復習内容・時間	
	1	オリエンテーション（授業内容・評価基準・評価方法について）認知症の定義					シラバスを確認する認知症の定義について予習する（2時間）		今回の講義で学んだ内容を復習する（2時間）		
	2	医学的・心理的側面の基礎的理解（脳のしくみ）					脳のしくみについて予習する（2時間）		今回の講義で学んだ内容を復習する（2時間）		
	3	医学的・心理的側面の基礎的理解（認知症の原因疾患と症状①）					アルツハイマー型認知症について予習する（2時間）		今回の講義で学んだ内容を復習する（2時間）		
	4	医学的・心理的側面の基礎的理解（認知症の原因疾患と症状②）					血管性認知症のについて予習する（2時間）		今回の講義で学んだ内容を復習する（2時間）		
	5	医学的・心理的側面の基礎的理解（認知症の原因疾患と症状③）					レビー小体型認知症・前頭側頭型認知症について予習する（2時間）		今回の講義で学んだ内容を復習する（2時間）		
	6	医学的・心理的側面の基礎的理解（認知症の原因疾患と症状④）					治療可能な認知症・若年性認知症について予習する（2時間）		今回の講義で学んだ内容を復習する（2時間）		
	7	授業の振り返り（小テスト）					前半授業を振り返り疑問・質問点を挙げておく（2時間）		今回の講義で学んだ内容を復習する（2時間）		
	8	医学的・心理的側面の基礎的理解（認知症の中核症状について）					認知症の中核症状について予習する（2時間）		今回の講義で学んだ内容を復習する（2時間）		
	9	医学的・心理的側面の基礎的理解（BPSDについて）					BPSDについて予習する（2時間）		今回の講義で学んだ内容を復習する（2時間）		
	10	医学的・心理的側面の基礎的理解（認知症の診断・検査と治療薬）					認知症の診断や治療薬について予習する（2時間）		今回の講義で学んだ内容を復習する（2時間）		
	11	医学的・心理的側面の基礎的理解（認知症の予防）					認知症の予防について予習する（2時間）		今回の講義で学んだ内容を復習する（2時間）		
	12	認知症を取り巻く状況（認知症ケアの歴史と理念）					認知症ケアの歴史と理念について予習する（2時間）		今回の講義で学んだ内容を復習する（2時間）		
	13	認知症を取り巻く状況（社会の取り組み）					認知症に対して、社会のとりくみについて予習する（2時間）		今回の講義で学んだ内容を復習する（2時間）		
	14	授業の振り返り（小テスト）					後半授業を振り返り疑問・質問点を挙げておく（2時間）		今回の講義で学んだ内容を復習する（2時間）		
	15	本授業のまとめ					授業で配布したプリントを読んで再確認しておく（2時間）		授業全体を振り返り、学んだ内容をまとめる（2時間）		
成績評価基準	①定期試験および小テストで認知症に関する基礎知識について6割以上解答できる。 ②定期試験および小テストで認知症に関する基礎知識について6割以上解答できる。 ③講義中の質問への解答、レポートで考えをまとめ発表することができる。										
成績評価方法（割合）	筆記試験	レポート	課題	実技	授業の取組	その他（小テスト）					
	60%	10%	-	-	10%	20%					
教科書	必要に応じてプリントを配布					参考書	新・介護福祉士養成講座12「認知症の理解」中央法規出版				
課題（試験、レポート等）に対するフィードバックの方法	試験のフィードバックとして、講評や解説の時間を設ける。 レポートは2週間以内にコメントをつけて返却する。										

科目名	認知症 B Dementia of the Aged B						担当者	折居 明日香				
開講年度	2020	学年	1	開講期	後期	単位数	2	授業形態	講義	必修・選択の区分	介護福祉士必修	
授業の到達目標	①認知症ケアの実践力の向上を目指し、本人の思いや症状などの個別性に応じた支援について基礎知識やアプローチ方法を習得することができる。 ②認知症の人の生活を地域で支えるサポート体制や、他職種連携・協働による支援の基礎的な知識を説明することができる。 ③認知症を支える家族の課題について理解し、家族への支援について具体的に述べるができる。											
授業概要	認知症の人を中心に捉え、本人や家族、地域の力を生かした認知症ケアについて理解するための基礎的な知識やアプローチ方法を学ぶ。 この授業は、介護福祉士として実務経験のある教員が担当する。											
授業計画	授業のテーマ						予習内容・時間		復習内容・時間			
	1	オリエンテーション（授業内容・評価基準・評価方法について）前期の振り返り						シラバスを確認する 前期授業で配布したプリントを読んで再確認しておく（2時間）		今回の講義で学んだ内容を復習する（2時間）		
	2	認知症に伴う生活への影響と認知症ケア（認知症の人へのケア①）						認知症の人のケアについて予習する（2時間）		今回の講義で学んだ内容を復習する（2時間）		
	3	認知症に伴う生活への影響と認知症ケア（認知症の人へのケア②）						前回の授業を振り返り疑問・質問点を挙げておく（2時間）		今回の講義で学んだ内容を復習する（2時間）		
	4	認知症に伴う生活への影響と認知症ケア（ケアのアプローチ方法①）						パソコンセンタードケアについて予習する（2時間）		今回の講義で学んだ内容を復習する（2時間）		
	5	認知症に伴う生活への影響と認知症ケア（ケアのアプローチ方法②）						ユマニチュード・ケアマッピングについて予習する（2時間）		今回の講義で学んだ内容を復習する（2時間）		
	6	認知症に伴う生活への影響と認知症ケア（ケアのアプローチ方法③）						バリテーション・回想法について予習する（2時間）		今回の講義で学んだ内容を復習する（2時間）		
	7	認知症に伴う生活への影響と認知症ケア（ケアのアプローチ方法④）						認知症ケアの授業を振り返り疑問・質問点を挙げておく（2時間）		今回の講義で学んだ内容を復習する（2時間）		
	8	授業の振り返り（小テスト）						授業で配布したプリントを読んで再確認しておく（2時間）		今回の講義で学んだ内容を復習する（2時間）		
	9	認知症に伴う生活への影響と認知症ケア（認知症当事者の視点）						予習課題をする（2時間）		今回の講義で学んだ内容を復習する（2時間）		
	10	認知症に伴う生活への影響と認知症ケア（アセスメントの視点）						予習課題をする（2時間）		今回の講義で学んだ内容を復習する（2時間）		
	11	連携と協働（地域におけるサポート体制）						地域におけるサポートについて予習する（2時間）		今回の講義で学んだ内容を復習する（2時間）		
	12	連携と協働（チームアプローチ）						チームアプローチについて予習する（2時間）		今回の講義で学んだ内容を復習する（2時間）		
	13	家族への支援						家族への支援について予習する（2時間）		今回の講義で学んだ内容を復習する（2時間）		
	14	授業の振り返り（小テスト）						後半授業を振り返り疑問・質問点を挙げておく（2時間）		今回の講義で学んだ内容を復習する（2時間）		
	15	本授業のまとめ						授業で配布したプリントを読んで再確認しておく（2時間）		授業全体を振り返り、学んだ内容をまとめる（2時間）		
成績評価基準	①定期試験および小テストで認知症に関する基礎知識について6割以上解答できる。 ②講義中の質問への解答、レポートで考えをまとめ発表することができる。 ③事例検討において、個人またはグループで課題についてレポートに考えをまとめることができる。											
成績評価方法（割合）	筆記試験	レポート	課題	実技	授業の取組	その他（小テスト）						
	60%	10%	-	-	10%	20%						
教科書	必要に応じてプリントを配布						参考書	新・介護福祉士養成講座12 「認知症の理解」 中央法規出版				
課題（試験、レポート等）に対するフィードバックの方法	試験のフィードバックとして、講評や解説の時間を設ける。 レポートは2週間以内にコメントをつけて返却する。											

科目名	人体構造と疾病 A Body Structure and Disease A						担当者	小 車 淑 子					
開講年度	2020	学年	1	開講期	前期	単位数	2	授業形態	講義	必修・選択の区分	介護福祉士必修		
授業の到達目標	①「睡眠」に関連したところとからだのしくみ、機能低下が生活に及ぼす影響、変化の気づきと対応について、説明することができる。 ②「食事」に関連したところとからだのしくみ、機能低下が生活に及ぼす影響、変化の気づきと対応について、説明することができる。 ③「死」に関する定義、ところと身体の変化、医療職との連携や死にゆく人の心理について、説明することができる。												
授業概要	要介護者の生活支援に必要なとなる、人体のしくみや働きについて学ぶ科目です。 パワーポイントと教科書を併用して、講義をすすめていきます。配布プリントの()の専門用語は、確実に覚えるようにしましょう。 科学的な根拠づけをもって、考えながらケアができるように、生活支援技術と結びつけて学んでいきましょう。												
授業計画	授業のテーマ							予習内容・時間		復習内容・時間			
	1	オリエンテーション：なぜ睡眠をとるのか						教科書 p240～242 (2時間)		配布プリント (2時間)			
	2	睡眠に関連したところとからだのしくみ						教科書 p242～249 (2時間)		配布プリント (2時間)			
	3	心身の機能低下が睡眠に及ぼす影響						教科書 p250～257 (2時間)		配布プリント (2時間)			
	4	変化に気づくためのポイント						教科書 p258～261 (2時間)		配布プリント (2時間)			
	5	小テスト① (睡眠) / 栄養素と水分						教科書 p240～261 配布プリント (2時間)		配布プリント (2時間)			
	6	食事に関連したところとからだのしくみ						教科書 p148～150 (2時間)		配布プリント (2時間)			
	7	摂食と嚥下運動						教科書 p151～153 (2時間)		配布プリント (2時間)			
	8	治療食・心身の機能低下が食事に及ぼす影響						教科書 p153～162 (2時間)		配布プリント (2時間)			
	9	変化の気づきと対応						教科書 p163～169 (2時間)		配布プリント (2時間)			
	10	小テスト② (食事)						教科書 p148～169 配布プリント (2時間)		配布プリント (2時間)			
	11	「死」のとらえ方						教科書 p264～274 (2時間)		配布プリント (2時間)			
	12	「死」に対するところの理解						教科書 p275～281 (2時間)		配布プリント (2時間)			
	13	終末期から危篤状態・死後のからだの理解						教科書 p282～299 (2時間)		配布プリント (2時間)			
	14	小テスト③ (終末期)						教科書 p264～299 配布プリント (2時間)		配布プリント (2時間)			
15	まとめ						配布プリント・小テスト						
成績評価基準	睡眠・食事・終末期に関するところとからだのしくみ、機能低下が生活に及ぼす影響、変化の気づきと対応について、筆記試験を実施し、授業内容の理解度を評価する。												
成績評価方法 (割合%)	筆記試験			レポート			課題		実技		授業の取組		その他 ()
	80%			10%							10%		
教科書	プリントを配布する 最新介護福祉養成講座11 ところとからだのしくみ 介護福祉士養成講座編集委員会 中央法規						参考書		MINERVA 福祉資格テキスト介護福祉士 ところとからだのしくみ編 石井享子監修 ミ ネルヴァ書房				
課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法	単元ごとに復習小テストを実施し、解説の時間を設ける。												

科目名	人体構造と疾病 B Body Structure and Disease B							担当者	田中優子			
開講年度	2020	学年	1	開講期	前期	単位数	2単位	授業形態	講義	必修・選択の区分	選択	
授業の到達目標	人の体がどのように成り立っているのか、生きていくしくみの全体像を理解する。生命活動を支える様々な要素について学び、体の防御修復や健康について理解する。脳や神経のしくみ、循環器や呼吸器など基本的な解剖や生理を理解する。骨・関節などからだの動きのメカニズムを理解する。											
授業概要	教科書、プリント、PPTを中心にこころとからだの関連性や正常な人体の構造としくみを理解する。											
授業計画	授業のテーマ							予習内容・時間		復習内容・時間		
	1	オリエンテーション：人体の全体像を知る					教科書 配布資料参照・2時間		教科書 配布資料・2時間			
	2	こころのしくみを知る：人間の欲求 脳とこころの関係について知る					教科書 配布資料参照・2時間		教科書 配布資料・2時間			
	3	こころのしくみを知る：人間の欲求 脳とこころの関係について知る					教科書 配布資料参照・2時間		教科書 配布資料・2時間			
	4	人体の構造 こころと脳の関連 まとめとミニテスト					教科書 配布資料参照・2時間		教科書 配布資料・2時間			
	5	からだのしくみを知る：脳 神経系					教科書 配布資料参照・2時間		教科書 配布資料・2時間			
	6	からだのしくみを知る：各内臓 感覚器系					教科書 配布資料参照・2時間		教科書 配布資料・2時間			
	7	からだのしくみを知る：呼吸器系 循環器系					教科書 配布資料参照・2時間		教科書 配布資料・2時間			
	8	からだのしくみを知る：消化器系 泌尿器系					教科書 配布資料参照・2時間		教科書 配布資料・2時間			
	9	からだのしくみを知る：骨格・筋肉系					教科書 配布資料参照・2時間		教科書 配布資料・2時間			
	10	からだのしくみを知る：生殖系 内分泌系					教科書 配布資料参照・2時間		教科書 配布資料・2時間			
	11	からだのしくみを知る：血液 体液 リンパ系					教科書 配布資料参照・2時間		教科書 配布資料・2時間			
	12	からだのしくみ まとめとミニテスト					教科書 配布資料参照・2時間		教科書 配布資料・2時間			
	13	こころとからだのしくみの理解：恒常性の維持 必要な薬の知識					教科書 配布資料参照・2時間		教科書 配布資料・2時間			
	14	こころとからだのしくみの理解：バイタルサインとは					教科書 配布資料参照・2時間		教科書 配布資料・2時間			
15	総括 まとめとミニテスト					教科書 配布資料参照・2時間		教科書 配布資料・2時間				
成績評価基準	単元ごとのミニテストと定期試験、授業への取組にて評価											
成績評価方法(割合%)	筆記試験	レポート	課題	実技	授業の取組	その他()						
	80				20							
教科書								参考書				
課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法	ミニテストは採点后解説する。											

科目名	人体構造と疾病 C Body Structure and Disease C						担当者	中野 幹子				
開講年度	2020	学年	1	開講期	後期	単位数	2	授業形態	講義	必修・選択の区分	介護福祉士必須	
授業の到達目標	「移動」「身じたく」「入浴・清潔保持」「排泄」に関連したところとからだの基礎知識、しくみ機能低下・障がい及ぼす生活への影響、変化の気づきと医療職との連携について、理解し説明することができる。											
授業概要	人間の身体がどのような構造や機能を持っているのか、また要介護者の生活支援の根拠となる人体の働きについて学ぶ教科です。科学的な根拠を考えながらケアができるように生活支援技術と結び付けて学びます。パワーポイントや教科書、専門的な資料、映像なども使って分かりやすい授業を行います。この授業は、看護師として実務経験のある教員が担当する。											
授業計画	授業のテーマ						予習内容・時間		復習内容・時間			
	1	オリエンテーション										
	2	身支度に関連したところとからだのしくみ：身支度行為の意味						身支度の意義・2時間		身支度の意義を考える。2時間程度		
	3	身支度に関連したところとからだのしくみ：毛や毛髪機能						毛や毛髪機能・2時間		観察のポイントを考える。2時間程度		
	4	身支度に関連したところとからだのしくみ：口腔清潔の仕組み						口腔ケアの方法・2時間		口腔ケアの必要性を考える。2時間程度		
	5	移動に関連したところとからだのしくみ：移動行為の生理的意味						移動行為の種類・2時間		移動の必要性を学ぶ。2時間程度		
	6	移動に関連したところとからだのしくみ：歩行の仕組み、安全安楽な移動						移動の方法と種類・2時間		安全安楽な移動の方法を学ぶ。2時間程度		
	7	移動に関連したところとからだのしくみ：歩行の仕組み、安全安楽な移動						移動の方法と種類・2時間		安全安楽な移動の方法を学ぶ。2時間程度		
	8	移動に関連したところとからだのしくみ：筋肉と骨の仕組み						筋肉と骨の機能・2時間		筋肉と骨の仕組みを理解する。2時間程度		
	9	移動に関連したところとからだのしくみ：移動に関する機能低下						機能障害・2時間		障がいの影響を理解する。2時間程度		
	10	入浴・清潔保持に関連したところとからだのしくみ：清潔保持の意味						清潔保持の意義・2時間		清潔保持の必要性を理解する。2時間程度		
	11	入浴・清潔保持に関連したところとからだのしくみ：皮膚と汗のしくみ						皮膚と汗について・2時間		皮膚の構造を理解する。2時間程度		
	12	排泄に関連したところとからだのしくみ：排泄の生理的意味						排尿、排便について・2時間		排便排尿を理解する。2時間程度		
	13	排泄に関連したところとからだのしくみ：排便に関する機能低下						排便と機能低下・2時間		障がいの影響を理解する。2時間程度		
	14	排泄に関連したところとからだのしくみ：尿の生成と排尿のしくみ						排尿と機能低下・2時間		排尿の観察のポイントを理解する。2時間程度		
	15	14回分のまとめ						総復習を行う。4時間		総復習を行う。4時間程度		
成績評価基準	筆記試験、受講態度、レポート提出、積極性を見て評価する。											
成績評価方法(割合%)	筆記試験	レポート	課題	実技	授業の取組	その他()						
	80	10	5		5							
教科書	新・介護福祉士養成講座14「ところとからだのしくみ」中央法規出版				参考書	「介護福祉士国試ナビ」中央法規出版						
課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法	毎回小テストや質問することで前回授業をフィードバックする。											

科目名	介護の基本 I Basic Care Theory I						担当者	川井小百合			
開講年度	2020	学年	1	開講期	前期	単位数	2	授業形態	講義	必修・選択の区分	卒業必修 介護福祉士必修
授業の到達目標	①介護福祉士を取り巻く状況・背景を理解し、具体的に述べることができる。 ②介護福祉士の社会的役割を理解し、具体的に述べるができる。 ③介護サービスの概要を理解し、具体的に述べるができる。 ④高齢者が生活してきた時代の暮らし・文化を調べて、具体的に述べるができる。										
授業概要	介護を必要とする人の生活を支えるために、基本となる知識（介護が社会問題となるまでの背景、介護福祉士の社会的な役割、介護サービスの特徴、高齢者が生活してきた暮らしの特徴など）を学び、理解を深めます。 ※理解度の確認として、ミニテストを行います。しっかりと予習・復習に励みましょう。 この授業は、介護福祉士として実務経験のある教員が担当します。										
授業計画	授業のテーマ						予習内容・時間		復習内容・時間		
	1	介護福祉士の基本となる理念：介護福祉を取り巻く状況・背景					なぜ介護福祉士が必要とされているのかを考えてみる(2時間)		講義内容について復習する(2時間)		
	2	〃					プリントを読んでわからない言葉の意味を調べる(2時間)		講義内容について復習する(2時間)		
	3	介護福祉士の役割と機能：介護福祉の定義・専門性と倫理					介護福祉士の定義・専門性・倫理について調べる(2時間)		講義内容について復習する(2時間)		
	4	〃					プリントを読んでわからない言葉の意味を調べる(2時間)		講義内容について復習する(2時間)		
	5	〃					プリントを読んでわからない言葉の意味を調べる(2時間)		講義内容について復習する(2時間)		
	6	1～5 までのまとめ					1～5までの講義内容を再確認する(2時間)		まとめの内容を再確認する(2時間)		
	7	介護を必要とする人の生活を支えるしくみ：介護サービスの概要					介護サービスの概要について調べる(2時間)		講義内容について復習する(2時間)		
	8	〃					プリントを読んでわからない言葉の意味を調べる(2時間)		講義内容について復習する(2時間)		
	9	〃					プリントを読んでわからない言葉の意味を調べる(2時間)		講義内容について復習する(2時間)		
	10	〃					プリントを読んでわからない言葉の意味を調べる(2時間)		講義内容について復習する(2時間)		
	11	7～10 までのまとめ					7～10までの講義内容を再確認する(2時間)		まとめの内容を再確認する(2時間)		
	12	介護を必要とする人の理解：高齢者が生活した時代の理解					高齢者が生活した時代について調べる(2時間)		講義内容について復習する(2時間)		
	13	〃					高齢者が生活した時代について調べる(2時間)		講義内容について復習する(2時間)		
	14	〃					高齢者が生活した時代について調べる(2時間)		講義内容について復習する(2時間)		
15	総括					すべての講義内容を再確認する(2時間)		まとめの内容を再確認する(2時間)			
成績評価基準	講義内容についてのレポート、まとめのミニテストにより評価する。										
成績評価方法(割合%)	筆記試験	レポート	課題	実技	授業の取組	その他()					
	80%	10%	0	0	10%						
教科書	必要に応じてプリント配布					参考書	「見て覚える！介護福祉士国試ナビ」中央法規出版				
課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法	講義内容についてのレポート・まとめのミニテストは、確認後に返却し、必要に応じて授業時に講評・解説する。										

科目名	介護の基本Ⅱ Basic Care Theory Ⅱ							担当者	一山幸子			
開講年度	2020	学年	1年	開講期	前期	単位数	2単位	授業形態	講義	必修・選択の区分	卒業必修 介護福祉士必修	
授業の到達目標	①「尊厳を支える介護」について、ADLとQOL、ノーマライゼーション、利用者主体の考え方を説明することができる。 ②「自立に向けた介護」について、自立支援、ICF、リハビリテーションの考え方を説明することができる。 ③「介護を必要とする人の理解」について、障害のある人の暮らしや生活環境を説明することができる。 ④「介護従事者の倫理」について、職業倫理及び虐待の考え方を説明することができる。											
授業概要	①「尊厳を支える介護」、②「自立に向けた介護」について、教科書、配布プリント、DVD視聴等によってノーマライゼーションやICFなど自立支援の基本的知識を学ぶ。 ③「介護を必要とする人の理解」について、聴覚障害当事者の方、知的障害者施設職員より話を聞いてニーズの実際を学ぶ。 ④「介護従事者の倫理」において、特別養護老人ホーム主任生活相談員より話を聞いて職業倫理及び虐待について学ぶ。 この授業は、社会福祉士、介護福祉士として実務経験のある教員が担当する。											
授業計画	授業のテーマ							予習内容・時間		復習内容・時間		
	1	尊厳を支える介護：医学モデルと社会モデル						教科書P2～P4を読み大事な所に下線を引く(2時間)		教科書P2～P4をノートにまとめる(2時間)		
	2	尊厳を支える介護：ICIDHからICFへ						教科書P5～P7を読み大事な所に下線を引く(2時間)		教科書P5～P7をノートにまとめる(2時間)		
	3	尊厳を支える介護：障害者の概数、障害者の定義						教科書P7～P12を読み大事な所に下線を引く(2時間)		教科書P7～P12をノートにまとめる(2時間)		
	4	尊厳を支える介護：ノーマライゼーション、リハビリテーション						教科書P13～P17を読み大事な所に下線を引く(2時間)		教科書P13～P17をノートにまとめる(2時間)		
	5	尊厳を支える介護：インクルージョン、エンパワメント						教科書P17～P19を読み大事な所に下線を引く(2時間)		教科書P17～P19をノートにまとめる(2時間)		
	6	尊厳を支える介護：ストレングス、国際障害者年						教科書P19～P21を読み大事な所に下線を引く(2時間)		教科書P19～P21をノートにまとめる(2時間)		
	7	尊厳を支える介護：障害者権利条約、アドボカシー						教科書P22～P25を読み大事な所に下線を引く(2時間)		教科書P22～P25をノートにまとめる(2時間)		
	8	介護を必要とする人の理解：知的障害者施設の支援の実際						教科書P160～P171を読み大事な所に下線を引く(2時間)		教科書P160～P171をノートにまとめる(2時間)		
	9	介護を必要とする人の理解：聴覚障害と手話コミュニケーション						教科書P74～P84を読み大事な所に下線を引く(2時間)		教科書P74～P84をノートにまとめる(2時間)		
	10	自立に向けた介護：障害者総合支援法						教科書P27～P30を読み大事な所に下線を引く(2時間)		教科書P27～P30をノートにまとめる(2時間)		
	11	自立に向けた介護：障害者差別解消法						教科書P30～P32を読み大事な所に下線を引く(2時間)		教科書P30～P32をノートにまとめる(2時間)		
	12	自立に向けた介護：障害者の就労支援						教科書P34～P35を読み大事な所に下線を引く(2時間)		教科書P34～P35をノートにまとめる(2時間)		
	13	介護従事者の倫理：成年後見制度、相談支援専門員						教科書P36～P40を読み大事な所に下線を引く(2時間)		教科書P36～P40をノートにまとめる(2時間)		
	14	介護従事者の倫理：障害者及び高齢者虐待防止法						教科書P32～P34を読み大事な所に下線を引く(2時間)		教科書P32～P34をノートにまとめる(2時間)		
	15	まとめ						教科書P2～P44を読み大事な所を確認する(2時間)		教科書P2～P44を総復習する(2時間)		
成績評価基準	①「尊厳を支える介護」について、ADLとQOL(医学モデル、生活モデル)、ノーマライゼーション、利用者主体の考え方を説明することができる。 ②「自立に向けた介護」について、自立支援、ICF、リハビリテーションの考え方を説明することができる。 ③「介護を必要とする人の理解」について、障害のある人の暮らしや生活環境、ニーズを説明することができる。 ④「介護従事者の倫理」について、職業倫理及び虐待の考え方、法制度の内容を説明することができる。											
成績評価方法(割合%)	筆記試験	レポート	課題	実技	授業の取組	その他(復習テスト)						
	60%	20%			10%	10%						
教科書	最新 介護福祉士養成講座14「障害の理解」 介護福祉士養成講座編集委員会 編集 中央法規						参考書	社会福祉学習双書「障害者福祉論」 社会福祉学習双書編集委員会 編集 全国社会福祉協議会、国試ナビ 中央法規				
課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法	授業中の重要語句記入プリントやDVD視聴のレポート課題などは、添削をして返却します。											

科目名	コミュニケーション技術 A Communication skill A							担当者	中野 幹子				
開講年度	2020	学年	1	開講期	前期	単位数	1	授業形態	演習	必修・選択の区分	介護福祉士 必須		
授業の到達目標	1. 相手のことを知り、気持ちを察することができる。 2. 相手が話しやすい態度や質問ができる。 3. 相手の質問を広げることができる。 4. 自分の傾向を知り、コミュニケーションの傾向を知ることができる。 5. 介護における利用者や家族、職員や多職種とのコミュニケーションの方法を理解できる。												
授業概要	コミュニケーションの基本技術を学び、クラスメイトと話すことができるように指導する。また介護福祉の施設でボランティアや実習で利用者と会話し具体的な方法を経験を通して学ぶ。障がいのある当事者を授業に参加していただくことで、障がい者とのコミュニケーションを学べる機会を作り指導する。誰とも会話できる技術を習得するような授業内容を目指す。												
授業計画	授業のテーマ							予習内容・時間	復習内容・時間				
	1	オリエンテーション											
	2	介護におけるコミュニケーションの基本：敬語とコミュニケーションの意義							敬語について学ぶ。 1時間	コミュニケーションの必要性を復習。1時間			
	3	会話の練習：傾聴、受容、共感							傾聴とはについて。 1時間	傾聴の方法を学ぶ。 1時間			
	4	会話の練習：受容、共感							受容と共感について。 1時間	受容と共感の方法を学ぶ。 1時間			
	5	言語コミュニケーションと非言語的コミュニケーション							非言語的コミュニケーションとは何。1時間	言語と非言語の効果。 1時間			
	6	自己覚知について							自分の長所や短所について知る。1時間	自分の傾向を知る。 1時間			
	7	視覚障がい者とのコミュニケーション							視覚障害とは。1時間	視覚障害者とのコミュニケーション。1時間			
	8	聴覚障がい者とのコミュニケーション							聴覚障害とは。1時間	聴覚障がい者とのコミュニケーション。1時間			
	9	構音障害のある方とのコミュニケーション							構音障害とは。1時間	構音障害のある方とのコミュニケーション。1時間			
	10	脳性まひのある方とのコミュニケーション							脳性まひとは。1時間	脳性まひのある方とのコミュニケーション。1時間			
	11	脳性まひのある方とのコミュニケーション							脳性まひとは。1時間	脳性まひのある方とのコミュニケーション。1時間			
	12	高齢者とのコミュニケーション							高齢者の特徴。1時間	高齢者とのコミュニケーション。1時間			
	13	認知症高齢者とのコミュニケーション							認知症とは。1時間	認知症高齢者とのコミュニケーション。1時間			
	14	認知症高齢者とのコミュニケーション							認知症とは。1時間	認知症高齢者とのコミュニケーション。1時間			
15	まとめ												
成績評価基準	筆記試験、授業態度、レポート提出により評価する。												
成績評価方法 (割合%)	筆記試験	レポート	課題	実技	授業の取組	その他 ()							
	80	10			10								
教科書	「国家試験ナビ」中央法規出版							参考書					
課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法	定期的なレポート提出と期末試験によりフィードバックする。												

科目名	コミュニケーション技術 B Communication skill B							担当者	中野 幹子				
開講年度	2020	学年	1	開講期	後期	単位数	1	授業形態	演習	必修・選択の区分	介護福祉士必修		
授業の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 介護チームにおける記録方法と情報の共有、個人情報保護について学ぶ。 2. 利用者家族や職員とのコミュニケーション留意点を理解し、状況に応じた対応ができる。 3. 相手の気持ちを察しコミュニケーションができるようになる。 4. クラスメイトと協力し授業や演習に取り組むことができる。 												
授業概要	<p>記録の意義や留意点について講義を行い、具体的な記録の演習を行う。 障害を持つ当事者を授業に招き、直接コミュニケーションの練習を行う。 実習においてコミュニケーションした内容を実習ごとに振り返りを行う。 演習を取り入れながら、具体的な経験ができる授業である。</p>												
授業計画	授業のテーマ							予習内容・時間	復習内容・時間				
	1	オリエンテーション											
	2	記録の講義							介護の仕事の記録とは。1時間	講義の復習。1時間			
	3	記録の中の専門用語について							専門用語を調べる。1時間	専門用語の復習。1時間			
	4	実習前のオリエンテーションにおける電話連絡の方法と会訪問時の注意点							電話の方法。1時間	授業の復習。1時間			
	5	実習前のオリエンテーションにおける電話連絡の方法と会訪問時の注意点							あいさつの方法。30分	授業の復習。1時間			
	6	点字の体験							点字の目的。1時間	授業の復習。1時間			
	7	点字の体験							点字の方法。1時間	授業の復習。1時間			
	8	実習でのコミュニケーションの振り返り							実習日誌の確認。1,5時間				
	9	実習でのコミュニケーションの振り返り							実習日誌の書き直し。1時間				
	10	実習でのコミュニケーションの振り返り							実習日誌の書き直し。1時間				
	11	会話の練習								会話の振り返り。30分			
	12	会話の練習								会話の振り返り。30分			
	13	実技とまとめ											
	14	実技とまとめ											
15	実技とまとめ												
成績評価基準	授業態度と振り返りシート、課題提出、筆記試験、実技試験、授業態度で評価する。												
成績評価方法(割合%)	筆記試験	レポート	課題	実技	授業の取組	その他()							
	80		10		10								
教科書	「介護福祉士国試ナビ」中央法規出版						参考書						
課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法	演習の中で反省する点などを個人指導を行う。												

科目名	生活支援技術（移動 A） Life Support Skills (TransferA)						担当者	田 邊 伸 一			
開講年度	2020	学年	1	開講期	前期	単位数	1	授業形態	演習	必修・選択の区分	介護福祉士必修
授業の到達目標	①移乗・移動の介助をする際に根拠を解釈し、実践することができる。 ②利用者の潜在能力を活用した基本的な移乗・移動（ベッドから車椅子等）介助ができる。 ③移乗・移動に関する福祉用具の把握、基本的な福祉用具（杖・車椅子）を安全に活用することができる。 ④腰痛予防、ボディメカニクスなど介護を行う上での安全と健康管理について理解・実践することができる。										
授業概要	介護を行う上で大切で基本的な身体のメカニズムやボディメカニクスを理解することから始めていきます。その後、移動・移乗に関する基礎技術を主に演習を通して養っていきます。演習では、利用者役・介助者役になってのグループ演習を中心に行います。また、介助をする際に根拠に基づいて解釈できているか、授業の中で学生に質問し、理解度を確認しながら進めていきます。 ※この授業は、介護福祉士として実務経験のある教員が根拠に基づき講義・演習を行う。										
授業計画	授業のテーマ						予習内容・時間	復習内容・時間			
	1	自立に向けた移動の介護（移動の意義と目的）					移動とは何かを考えてみる。(30分)	学んだ内容をノートにまとめる。(30分)			
	2	自立に向けた移動の介護（ボディメカニクスについて）					ボディメカニクスとは何かを調べておく。(30分)	学んだ内容をノートにまとめる。(30分)			
	3	自立に向けた移動の介護（手引き歩行の介助）					手引き歩行について調べておく。(30分)	演習で出来なかった技術を練習する。(30分)			
	4	自立に向けた移動の介護（杖歩行・歩行器歩行の介助）					杖の種類について調べておく。(30分)	演習で出来なかった技術を練習する。(30分)			
	5	自立に向けた移動の介護（車椅子の知識とメンテナンス）					車椅子の各部位の名称を調べておく。(30分)	学んだ内容をノートにまとめる。(30分)			
	6	自立に向けた移動の介護（車椅子の駆動介助）					車椅子介助の注意点を調べておく。(30分)	演習で出来なかった技術を練習する。(30分)			
	7	自立に向けた移動の介護（福祉用具について）					福祉用具について調べておく。(30分)	学んだ内容をレポートにまとめる。(30分)			
	8	自立に向けた移動の介護（ベッド上の移動）					ボディメカニクスについて復習しておく。(30分)	演習で出来なかった技術を練習する。(30分)			
	9	自立に向けた移動の介護（体位交換・起き上がりの介助）					体位変換とは何かを調べておく。(30分)	演習で出来なかった技術を練習する。(30分)			
	10	自立に向けた移動の介護（体位交換・起き上がりの介助）					起き上がり時の身体の動きを考えてみる。(30分)	演習で出来なかった技術を練習する。(30分)			
	11	自立に向けた移動の介護（移乗介助）					移乗介助とはなにか調べておく。(30分)	演習で出来なかった技術を練習する。(30分)			
	12	自立に向けた移動の介護（移乗介助）					移乗介助時の身体の動きを考えてみる。(30分)	演習で出来なかった技術を練習する。(30分)			
	13	自立に向けた移動の介護（振り返り）					介助方法が理解できていない部分を明確にしておく。(30分)	演習で出来なかった技術を練習する。(30分)			
	14	実技のまとめ					今までの資料を確認しておく。(30分)	演習で出来なかった技術を練習する。(30分)			
	15	実技のまとめ					今までの資料を確認しておく。(30分)	演習で出来なかった技術を練習する。(30分)			
成績評価基準	①実技試験による評価 ③実技試験・レポート試験による評価 ②実技試験による評価 ④実技試験による評価										
成績評価方法（割合％）	筆記試験		レポート		課題		実技		授業の取組		その他（ ）
			10				80		10		
教科書	必要に応じてプリント配布					参考書	「目で見てわかる介護術」（成美堂出版） 「写真でわかる移乗・移動ケア」（ナツメ社）				
課題（試験、レポート等）に対するフィードバックの方法	質問・相談がある場合は、授業終了後直接質問に来ること。その時の内容で即答や次回持越し、別日での対応など決める。 レポート課題は、2週間以内にコメントを入れて返却する。										

科目名	生活支援技術（移動 B） Life Support Skills (TransferB)							担当者	田 邊 伸 一 山 本 恭 大		
開講年度	2020	学年	1	開講期	後期	単位数	1	授業形態	演習	必修・選択の区分	介護福祉士必修
授業の到達目標	①移乗・移動の介助をする際に根拠を解釈し、実践することができる。 ②利用者の潜在能力を活用し、利用者の状況に応じた移動・移乗の介助ができる。 ③移乗・移動に関する福祉用具・福祉車両について理解し、安全に活用することができる。 ④休息・睡眠の原理について理解し、安眠に適する環境整備や寝具の選択などの支援ができる。										
授業概要	生活支援技術（移動 A）での基本的な移乗・移動の支援を踏まえた応用編として、利用者の身体状況・環境に応じた移乗・移動の支援方法を学ぶ。また、対象者がどのような状況であっても、その人の自立支援を尊重し、潜在能力を引き出せるように知識・技術を養う。福祉用具では、床走行式リフトなど難易度の高い福祉用具の実践を行う。睡眠の原理や不眠の要素を理解し、適切な安眠の支援を学ぶ。※この授業は、介護福祉士として実務経験のある教員が根拠に基づき講義・演習を行う。										
授業計画	授業のテーマ							予習内容・時間	復習内容・時間		
	1	自立に向けた移動の介護（基本的な移動・移乗介助の復習）						移動 A の資料を確認しておく。(30分)	演習で出来なかった技術を練習する。(30分)		
	2	自立に向けた移動の介護（基本的な移動・移乗介助の復習）						移動 A の資料を確認しておく。(30分)	演習で出来なかった技術を練習する。(30分)		
	3	自立に向けた移動の介護（多職種との連携）						多職種について調べてみる。(30分)	学んだ内容をノートにまとめる。(30分)		
	4	自立に向けた移動の介護（利用者の状況に応じた介助）						移乗介助時の環境を考えてみる。(30分)	演習で出来なかった技術を練習する。(30分)		
	5	自立に向けた移動の介護（利用者の状況に応じた介助）						利用者に応じた介助方法を考えてみる。(30分)	演習で出来なかった技術を練習する。(30分)		
	6	自立に向けた移動の介護（福祉用具を使用しての介助）						スライディングシートについて調べておく。(30分)	演習で出来なかった技術を練習する。(30分)		
	7	自立に向けた移動の介護（福祉用具を使用しての介助）						介護リフトについて調べておく。(30分)	演習で出来なかった技術を練習する。(30分)		
	8	自立に向けた移動の介護（福祉車両について）						福祉車両について調べておく。(30分)	福祉車両についてレポートにまとめる。(30分)		
	9	自立に向けた移動の介護（屋外での車椅子演習）						車椅子介助の注意点を確認しておく。(30分)	演習で出来なかった技術を練習する。(30分)		
	10	自立に向けた移動の介護（睡眠のメカニズム）						睡眠について考えてみる。(30分)	学んだ内容をノートにまとめる。(30分)		
	11	自立に向けた移動の介護（睡眠のメカニズム）						寝返りについて考えてみる。(30分)	学んだ内容をノートにまとめる。(30分)		
	12	自立に向けた移動の介護（移乗介助）						介助時の根拠をまとめておく。(30分)	演習で出来なかった技術を練習する。(30分)		
	13	自立に向けた移動の介護（振り返り）						介助方法が理解できていない部分を明確にしておく。(30分)	演習で出来なかった技術を練習する。(30分)		
	14	実技のまとめ						今までの資料を確認しておく。(30分)	演習で出来なかった技術を練習する。(30分)		
	15	実技のまとめ						今までの資料を確認しておく。(30分)	演習で出来なかった技術を練習する。(30分)		
成績評価基準	①実技試験による評価 ③実技試験による評価 ②実技試験による評価 ④レポートによる評価										
成績評価方法（割合％）	筆記試験		レポート		課題		実技		授業の取組		その他（ ）
			10				80		10		
教科書	必要に応じてプリント配布						参考書	「目で見てわかる介護術」（成美堂出版） 「写真でわかる移乗・移動ケア」（ナツメ社）			
課題（試験、レポート等）に対するフィードバックの方法	質問・相談がある場合は、授業終了後直接質問に来ること。その時の内容で即答や次回持越し、別日での対応など決める。 レポート課題は、2週間以内にコメントを入れて返却する。										

科目名	生活支援技術（環境） Life Support Skills (Environment)						担当者	折居明日香			
開講年度	2020	学年	1	開講期	前期	単位数	1	授業形態	演習	必修・選択の区分	介護福祉士必修
授業の到達目標	①住まいの多様性や安全で快適に生活できる居住環境について基礎的な知識を理解することができる。 ②本人主体の生活が継続できるよう、自立支援のための居住環境の整備について基礎的な知識を理解することができる。 ③基本的なベッドメイキングとシーツ交換の技術を習得することができる。										
授業概要	安全で快適に生活できる視点や自立支援の視点で、在宅や施設の居住環境について基礎的な知識を学習する。 また、健康を保持するための休息や睡眠の重要性を理解し、ベッドやベッド周りの環境を整備するベッドメイキングやシーツ交換の技術を習得する学習とする。 この授業は、介護福祉士として実務経験のある教員が担当する。										
授業計画	授業のテーマ						予習内容・時間		復習内容・時間		
	1	オリエンテーション(授業内容・評価基準・評価方法について) 自立に向けた居住環境の整備(意義・目的)					シラバスを確認する(30分)		オリエンテーション内容を再確認する(30分)		
	2	自立に向けた居住環境の設備 (住環境について・リネン類のたたみ方)					自分が住んでいる居住環境のメリット・デメリットをまとめる(30分)		演習でできなかった技術の練習する(30分)		
	3	自立に向けた居住環境の設備 (福祉用具・住宅改修について)					高齢者の居住環境に必要な福祉用具や住宅改修について調べる(30分)		演習でできなかった技術の練習する(30分)		
	4	自立に向けた居住環境の設備 (居住環境・ベッドメイキングの基礎)					ベッドメイキングとは何か調べる(30分)		演習でできなかった技術の練習する(30分)		
	5	自立に向けた居住環境の設備 (ベッドメイキングの基礎)					2人で実施するベッドメイキングの実施手順について確認する(30分)		演習でできなかった技術の練習する(30分)		
	6	自立に向けた居住環境の設備 (ベッドメイキングの振り返り)					1人で実施するベッドメイキングの実施手順について確認する(30分)		演習でできなかった技術の練習する(30分)		
	7	自立に向けた居住環境の設備 (ベッドメイキングの振り返り)					ベッドメイキングで苦手な部分や留意点を確認する(30分)		演習でできなかった技術の練習する(30分)		
	8	自立に向けた居住環境の設備 (施設の居住環境について)					介護施設の居住環境について調べる(30分)		授業で学んだ内容を振り返りまとめておく(30分)		
	9	自立に向けた居住環境の設備(シーツ交換の基礎)					シーツ交換とは何か調べる(30分)		演習でできなかった技術の練習する(30分)		
	10	自立に向けた居住環境の設備(シーツ交換の基礎)					2人で実施するシーツ交換の実施手順について確認する(30分)		演習でできなかった技術の練習する(30分)		
	11	自立に向けた居住環境の設備(シーツ交換の応用)					1人で実施するシーツ交換の実施手順について確認する(30分)		演習でできなかった技術の練習する(30分)		
	12	自立に向けた居住環境の設備(シーツ交換の応用)					利用者が臥床した状態でのシーツ交換の実施手順について確認する(30分)		演習でできなかった技術の練習する(30分)		
	13	自立に向けた居住環境の設備(シーツ交換の応用)					利用者が臥床した状態でのシーツ交換の実施手順について確認する(30分)		演習でできなかった技術の練習する(30分)		
	14	実技のまとめ					シーツ交換で苦手な部分や留意点を確認する(30分)		ベッドメイキング・シーツ交換のポイントや留意点をまとめる(30分)		
	15	実技のまとめ					シーツ交換で苦手な部分や留意点を確認する(30分)		授業全体を振り返り、学んだ内容をまとめる		
成績評価基準	①講義中の質問への解答、レポートで考えをまとめて発表することができる。 ②講義中の質問への解答、レポートで考えをまとめて発表することができる。 ③実技試験で実施内容を評価する。										
成績評価方法(割合%)	筆記試験		レポート		課題		実技		授業の取組		その他()
	-		10%		-		80%		10%		-
教科書	必要に応じてプリントを配布					参考書	最新介護福祉士養成講座7 「生活支援技術Ⅱ」 中央法規出版				
課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法	試験のフィードバックとして、講評や解説の時間を設ける。 レポートは2週間以内にコメントをつけて返却する。										

科目名	生活支援技術（食事） Life Support Skills (Meal)						担当者	山本 恭大			
開講年度	2020	学年	1	開講期	後期	単位数	1	授業形態	演習	必修・選択の区分	介護福祉士必修
授業の到達目標	①食事の社会・文化的、心理的意義と目的を理解し、根拠を持って説明できるようになる。 ②自立に向けた食事介助の視点を身につけ、福祉用具の活用と環境整備ができるようになる。 ③食事介助の基本となる知識と技術を身につけ、利用者の食事中の変化に対し、気づき、対応することができるようになる。 ④利用者の状況に応じて、留意点があることを理解し、根拠を持って説明ができるようになる。										
授業概要	食事の基本的な知識を学びます。介護が必要な人に応じた食事介助や口腔ケア、食事環境の整備について学びます。利用者役と介助者役に分かれたグループによる演習を中心に授業します。個々の能力や習得状況に応じて時間外に技術演習を行うこともあります。 ※この授業は介護福祉士として実務経験がある教員が、実践に基づき授業を行う										
授業計画	授業のテーマ		予習内容・時間			復習内容・時間					
	1	自立に向けた食事の介護（食事介助の基本となる知識）	一週間の自分の食事内容を振り返る。(30分)			授業中に伝達する(30分)					
	2	自立に向けた食事の介護（食事介助の基本となる知識）	1回目の授業で伝達する(30分)			授業中に伝達する(30分)					
	3	自立に向けた食事の介護（食事介助の基本となる知識）	2回目の授業で伝達する(30分)			授業中に伝達する(30分)					
	4	自立に向けた食事の介護（食事の社会・文化的、心理的意義）	3回目の授業で伝達する(30分)			授業中に伝達する(30分)					
	5	自立に向けた食事の介護（食事の社会・文化的、心理的意義）	4回目の授業で伝達する(30分)			授業中に伝達する(30分)					
	6	自立に向けた食事の介護（食事の社会・文化的、心理的意義）	5回目の授業で伝達する(30分)			授業中に伝達する(30分)					
	7	自立に向けた食事の介護（福祉用具の活用と環境整備）	6回目の授業で伝達する(30分)			授業中に伝達する(30分)					
	8	自立に向けた食事の介護（福祉用具の活用と環境整備）	7回目の授業で伝達する(30分)			授業中に伝達する(30分)					
	9	自立に向けた食事の介護（福祉用具の活用と環境整備）	8回目の授業で伝達する(30分)			授業中に伝達する(30分)					
	10	自立に向けた食事の介護（利用者の状況に応じた介護）	9回目の授業で伝達する(30分)			授業中に伝達する(30分)					
	11	自立に向けた食事の介護（利用者の状況に応じた介護）	10回目の授業で伝達する(30分)			授業中に伝達する(30分)					
	12	自立に向けた食事の介護（利用者の状況に応じた介護）	11回目の授業で伝達する(30分)			授業中に伝達する(30分)					
	13	自立に向けた食事の介護（まとめ・振り返り）	12回目までの内容をまとめる(1時間30分)			実技テストの内容を自主練習する(1時間30分)					
	14	自立に向けた食事の介護（まとめ実技テスト）									
	15	自立に向けた食事の介護（まとめ実技テスト）				試験で出来なかった部分を練習する。(30分)					
成績評価基準	筆記試験：①②③④根拠を持った理解ができているか、単元ごとにミニテストを実施し、「筆記試験」として評価する。 実技：②③福祉用具の適切な選択、使用ができるか、実技テストを行い「実技」として評価する。 ④利用者の状況に応じた食事介助ができるか、実技テストを行い「実技」として評価する。 授業の取組：①②③④授業に出席するだけでなく、授業中に課した演習回数を達成できたかどうかを「授業の取組」として評価する。										
成績評価方法（割合％）	筆記試験	レポート	課題	実技	授業の取組	その他（ ）					
	10			80	10						
教科書	なし			参考書							
課題（試験、レポート等）に対するフィードバックの方法	①②③④ミニテストは、原則として、次の授業までに採点して返却する。 ②③④実技テストは13回目の授業で内容を発表し、14・15回目の授業で実施し、試験の講評をもってフィードバックとする。										

科目名	生活支援技術（アクティビティ） Life Support Skills (activity)						担当者	田 邊 伸 一			
開講年度	2020	学年	1	開講期	後期	単位数	1	授業形態	演習	必修・選択の区分	介護福祉士必修
授業の到達目標	①レクリエーションの意義や目的を理解することができる。 ②対象者や目標にあわせたレクリエーション演習を計画・実践することができる。 ③実践で行うことができるレクリエーションを習得することができる。 ④利用者の今までの生活歴や背景などを基に、必要な支援を創造することができる。										
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・レクリエーションを行う目的や効果などを根拠をもって説明し、実践できるよう学んでいきます。 ・レクリエーションの多様さを理解し、集団や個人のニーズに応じたレクリエーションの選定や提供の仕方を学習し、実践で活用できるレクリエーションの習得を目標に授業を行っていきます。 ・本人の活動の意欲を引き出すことで、自発的に参加・活動に繋がる方法を養っていきます。 ※この授業は、介護福祉士として実務経験のある教員が根拠に基づき講義・演習を行う。										
授業計画	授業のテーマ						予習内容・時間		復習内容・時間		
	1	オリエンテーション・信頼関係づくりの方法					信頼とはなにかを考えてみる。(30分)		信頼関係について考えた内容をまとめる。(30分)		
	2	状況別に合わせたレクリエーション					手だけで行える運動を考えてみる。(30分)		学んだ運動を習得する(30分)		
	3	個人・集団で行うレクリエーション					人数別で行うゲームを考えてみる(30分)		行う時のシュミレーションをして整理する(30分)		
	4	自主的・主体的に楽しむ力を育むアクティビティ					カタルシスについて調べておく(30分)		学んだ内容をまとめる。(30分)		
	5	自主的・主体的に楽しむ力を育むアクティビティ					施設で作成されている作品を調べておく(30分)		学んだ内容をまとめる。(30分)		
	6	アクティビティ活動の演習					どのような作品を作るか考えておく(30分)		学んだ内容をまとめる。(30分)		
	7	アクティビティ活動の演習					作品の工夫点を考えてみる(30分)		学んだ内容をまとめる。(30分)		
	8	アクティビティ活動の演習					どのような作品に仕上げるか考えておく(30分)		作品を仕上げての感想・改善点をまとめる。(30分)		
	9	利用者の意欲を引き出すアクティビティの展開方法1					高齢者になった時の生活を考える(30分)		学んだ内容をまとめる。(30分)		
	10	利用者の意欲を引き出すアクティビティの展開方法2					自分が高齢者になった時のレク計画を考える(30分)		学んだ内容をまとめる。(30分)		
	11	利用者の意欲を引き出すアクティビティの展開方法3					その人らしさとはなにかを考える(30分)		その人らしさとはなにかをレポートにまとめる(30分)		
	12	レクリエーション活動の演習					レクリエーションの計画を考える(30分)		計画内容の再確認をする。(30分)		
	13	レクリエーション活動の演習					レクリエーションの構成を考える。(30分)		構成内容の再確認をする。(30分)		
	14	レクリエーション活動の演習					レクリエーションの事前練習・準備しておく(30分)		評価・考察し、改善点をまとめる。(30分)		
	15	まとめ					今までの資料を確認しておく(30分)		今までの資料を整理し、まとめる。(30分)		
成績評価基準	①レポートによる評価 ③実技演習による評価 ②実技演習による評価 ④レポートによる評価										
成績評価方法(割合%)	筆記試験		レポート		課題		実技		授業の取組		その他()
	20		20		20		20		20		
教科書	必要に応じてプリント配布					参考書	「みんなで楽しめる高齢者の年中行事&レクリエーション」(ナツメ社)				
課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法	質問・相談がある場合は、授業終了後直接質問に来ること。その時の内容で即答や次回持越し、別日での対応など決める。 レポート課題は、2週間以内にコメントを入れて返却する。										

科目名	介護過程 I							Care Prosess I		担当者	川井小百合 折居明日香			
	開講年度	2020	学年	1	開講期	後期	単位数	2	授業形態		演習	必修・選択の区分	介護福祉士必修	
授業の到達目標	①介護過程の意義・目的・展開方法を理解することができる。 ②情報収集・アセスメントの視点を学び、事例をとおして記述することができる。 ③他科目で学習した知識・技術を統合して、自立に向けた介護計画を立案することができる。													
授業概要	「客観的で科学的な根拠のある介護過程を展開できるようになる」ための基礎知識を学びます。 介護する上で重要な考え方を、様々な事例をもとに具体的に考えていきます。 この授業は、介護福祉士として実務経験のある教員が担当します。													
授業計画	授業のテーマ								予習内容・時間		復習内容・時間			
	1	介護過程の意義と基礎的理解：各実習段階での課題を確認する							各実習段階での課題を「実習要綱」で確認する(30分)		講義内容について復習する(30分)			
	2	介護過程の意義と基礎的理解：生活課題・ニーズ・課題の優先順位							プリントを読んでわからない言葉の意味を調べる(30分)		講義内容について復習する(30分)			
	3	介護過程の意義と基礎的理解：情報収集①							プリントを読んでわからない言葉の意味を調べる(30分)		記述指導を受けた部分を再確認する(30分)			
	4	介護過程の意義と基礎的理解：情報収集②							プリントを読んでわからない言葉の意味を調べる(30分)		記述指導を受けた部分を再確認する(30分)			
	5	介護過程の意義と基礎的理解：情報収集の実践							プリントを読んでわからない言葉の意味を調べる(30分)		記述指導を受けた部分を再確認する(30分)			
	6	介護過程の意義と基礎的理解：アセスメントの理解①							プリントを読んでわからない言葉の意味を調べる(30分)		記述指導を受けた部分を再確認する(30分)			
	7	介護過程の意義と基礎的理解：アセスメントの理解②							プリントを読んでわからない言葉の意味を調べる(30分)		記述指導を受けた部分を再確認する(30分)			
	8	「介護過程実習報告会」の聴講							報告会資料を読んでわからない言葉の意味を調べる(30分)		発表資料を再確認する(30分)			
	9	介護過程の意義と基礎的理解：アセスメントの実践①							プリントを読んでわからない言葉の意味を調べる(30分)		記述指導を受けた部分を再確認する(30分)			
	10	介護過程の意義と基礎的理解：アセスメントの実践②							プリントを読んでわからない言葉の意味を調べる(30分)		記述指導を受けた部分を再確認する(30分)			
	11	介護過程の意義と基礎的理解：介護計画の立案・実施・評価の理解①							プリントを読んでわからない言葉の意味を調べる(30分)		記述指導を受けた部分を再確認する(30分)			
	12	介護過程の意義と基礎的理解：介護計画の立案・実施・評価の理解②							プリントを読んでわからない言葉の意味を調べる(30分)		記述指導を受けた部分を再確認する(30分)			
	13	介護過程の意義と基礎的理解：介護計画の立案・実施・評価の実践①							プリントを読んでわからない言葉の意味を調べる(30分)		記述指導を受けた部分を再確認する(30分)			
	14	介護過程の意義と基礎的理解：介護計画の立案・実施・評価の実践②							プリントを読んでわからない言葉の意味を調べる(30分)		記述指導を受けた部分を再確認する(30分)			
	15	総括							すべての講義内容を再確認する(2時間)		まとめの内容を再確認する(2時間)			
成績評価基準	講義内容に応じた提出課題により、総合的に評価する													
成績評価方法(割合%)	筆記試験			レポート			課題			実技		授業の取組		その他()
	0			0			90%			0		10%		
教科書	必要に応じてプリント配布							参考書						
課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法	課題は確認後に返却し、必要に応じて授業時に講評・解説する。													

科目名	実習指導 A						Practice Guidance A			担当者	田邊 伸一 川井小百合			
開講年度	2020	学年	1	開講期	前期	単位数	1	授業形態	演習	必修・選択の区分	介護福祉士必修			
授業の到達目標	①介護実習に必要な「介護実習計画書」「お礼状」等の作成ができる。 ②総合演習 I A の施設見学事前・事後の準備をとおして地域の福祉施設の機能や役割、職員の仕事を理解し、「施設概要」の記入方法がわかる。 ③介護職として相応しい身だしなみを理解し、施設見学で身なりを整え学生らしい立ち振る舞いができる。 ④夏休みのボランティア体験の心構えができ、各自で手続きができる。													
授業概要	・後期から始まる介護実習に必要な姿勢・知識・技術を施設見学の事前準備や事後のまとめで学びます。 ・「施設概要」の書き方をグループワークし利用者にとっての環境を見る視点を学びます。 ・施設見学の準備と並行して「介護福祉士の仕事」を視聴し、様々な介護の現場について学びます。 ・介護の現場を知り、利用者に関わる練習のために夏休みボランティアの課題を設け、実習指導 B での実習日誌の書き方を学ぶための準備をしていきます。 ※この授業は、介護福祉士として実務経験のある教員が根拠に基づき講義を行う。													
授業計画	授業のテーマ								予習内容・時間		復習内容・時間			
	1	オリエンテーション/実習指導・介護実習の意義と目的						介護実習とはなにか考えてみる (30分)		実習に行く意義をノートにまとめる。(30分)				
	2	介護実習について (実習までの流れと関連書類・施設見学の目的)						実習要綱を読んでおく (30分)		実習要綱の理解できていない部分を確認する。(30分)				
	3	施設見学準備 1 「実習計画書」について：記述方法の説明・下書き						実習の目標を考えてみる (30分)		実習計画の内容を確認しておく。(30分)				
	4	施設見学準備 2 「実習計画書」について：清書						目標を達成するために必要なことを考えてみる(30分)		計画書に間違いがないか確認しておく(30分)				
	5	施設見学準備 3 「総括 (カンファレンス資料)」について：記述方法の説明・下書き						カンファレンスについて調べておく (30分)		総括についてわからない部分の確認しておく (30分)				
	6	施設見学準備 4 「施設概要」について：記述方法の説明・下書き						施設概要について調べておく。(30分)		施設概要についてわからない部分の確認しておく(30分)				
	7	施設見学準備 5 施設見学心構え・服装チェック						施設見学に必要な資料を確認しておく(30分)		施設見学に必要な筆記用具等を確認しておく(30分)				
	8	施設見学事後指導 1 「お礼状」作成						お礼状の例文を考えてみる (30分)		お礼状の記述方法をまとめておく(30分)				
	9	施設見学事後指導 2 「施設概要」個別作成						施設概要の概案を考えてみる (30分)		施設概要の仕上げ、確認をしておく。(30分)				
	10	施設見学事後指導 3 「総括 (カンファレンス資料)」個別作成						総括の概案を考えてみる (30分)		総括の仕上げ、確認をしておく。(30分)				
	11	施設見学事後指導 4 「施設概要・総括 (カンファレンス資料)」グループ作成						施設概要・総括の資料をまとめておく(30分)		総括・施設概要の仕上げ、確認をしておく。(30分)				
	12	施設見学事後指導 5 「施設概要・総括 (カンファレンス資料)」発表						発表資料の確認をする (30分)		発表した際の評価・考察・改善点を行う。(30分)				
	13	施設見学事後指導 6 「施設概要・総括 (カンファレンス資料)」発表						発表資料の確認をする。(30分)		発表した際の評価・考察・改善点を行う。(30分)				
	14	実習日誌について(記述方法の説明)/夏休みボランティアについて						実習日誌について調べてみる (30分)		実習日誌の記述方法の確認をしていく (30分)				
15	まとめ						今までの資料を確認しておく。(30分)		今までの資料を整理・まとめる。(30分)					
成績評価基準	筆記試験：筆記試験を行い、評価を行う。 課題：提出書類の内容を採点し評価を行う。 授業の取組：授業中の私語や居眠りに対しては減点する。													
成績評価方法 (割合%)	筆記試験			レポート			課題			実技		授業の取組		その他 ()
	40						30					30		
教科書	本学科作成の「介護実習要綱」						参考書							
課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法	質問・相談がある場合は、授業終了後直接質問に来ること。その時の内容で即答や次回持越し、別日での対応など決める。													

科目名	実習指導 B Practice Guidance B							担当者	折居明日香 中野 幹子 一山 幸子 川井小百合 田邊 伸一 山本 恭大		
開講年度	2020	学年	1	開講期	後期	単位数	1	授業形態	演習	必修・選択の区分	介護福祉士必修
授業の到達目標	①実習の教育効果を上げるため、事前に実習施設についての理解を深め、各領域で学習した知識と技術を統合し、反映した内容を記録物に記述することができる。 ②実習における目標や自己の課題を明確にし、個人ワークやグループワークで考える力を養うことができる。										
授業概要	介護実習、総合演習 I B と組み合わせた学習で、実習の準備と実習に必要な記録物の記述方法、実習施設の基礎知識について学ぶ。介護実習の目標設定や実習後の自己の課題を抽出し、専門職としての態度や姿勢を養う。巡回教員担当ごとの個別指導を行い、個人の学習状況に応じた指導を実施する。										
授業計画	授業のテーマ							予習内容・時間	復習内容・時間		
	1	オリエンテーション (授業内容・評価基準・評価方法について)						シラバスを確認する (30分)	今回の講義で学んだ内容を復習する (30分)		
	2	知識と技術の統合 (実習日誌の記述指導)						実習指導Aで配布されたプリントを読んで再確認する (30分)	今回の講義で学んだ内容を復習する (30分)		
	3	知識と技術の統合 (実習の意義と目的・必要な書類の記述指導)						実習要綱を確認する (30分)	今回の講義で学んだ内容を復習する (30分)		
	4	知識と技術の統合 (実習日誌の記述指導)						授業で配布したプリントを読んで再確認する (30分)	今回の講義で学んだ内容を復習する (30分)		
	5	知識と技術の統合 (施設レクリエーション見学・演習)						授業で配布したプリントを読んで再確認する (30分)	今回の講義で学んだ内容を復習する (30分)		
	6	知識と技術の統合 (事前オリエンテーションについて)						実習要綱を確認する (30分)	今回の講義で学んだ内容を復習する (30分)		
	7	知識と技術の統合 (実習日誌の記述指導)						授業で配布したプリントを読んで再確認する (30分)	今回の講義で学んだ内容を復習する (30分)		
	8	知識と技術の統合 (カンファレンスについて)						実習要綱を確認する (30分)	今回の講義で学んだ内容を復習する (30分)		
	9	知識と技術の統合 (実習 [I] - 1 の直前指導)						実習要綱を確認する (30分)	今回の講義で学んだ内容を復習する (30分)		
	10	知識と技術の統合 (実習 [I] - 1 の直後指導)						実習要綱を確認する (30分)	今回の講義で学んだ内容を復習する (30分)		
	11	知識と技術の統合 (実習 [I] - 1 の実習の振り返り・記録物の指導)						授業で配布したプリントを読んで再確認する (30分)	今回の講義で学んだ内容を復習する (30分)		
	12	知識と技術の統合 (実習 [I] - 1 の実習の振り返り・記録物の指導)						授業で配布したプリントを読んで再確認する (30分)	今回の講義で学んだ内容を復習する (30分)		
	13	知識と技術の統合 (実習の意義と目的・必要な書類の記述指導)						実習要綱を確認する (30分)	今回の講義で学んだ内容を復習する (30分)		
	14	知識と技術の統合 (実習 [I] - 1 の実習の振り返り・記録物の指導)						授業で配布したプリントを読んで再確認する (30分)	今回の講義で学んだ内容を復習する (30分)		
	15	まとめ						授業を振り返り疑問・質問点を挙げておく (30分)	授業全体を振り返り、学んだ内容をまとめる (30分)		
成績評価基準	①記録物に関しては、実習日誌評価票を基に実習巡回教員ごとで実習日誌の評価を基準とする。 ②自己の考えをまとめ、発表やレポートで解答することができる。										
成績評価方法 (割合%)	筆記試験		レポート		課題		実技		授業の取組		その他(提出物)
	-		30%		40%		-		15%		15%
教科書	必要に応じてプリントを配布 本学作成の「介護実習要綱」					参考書	「介護実習で困らないためのQ&A」 中央法規出版				
課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法	実習記録物は添削後、返却し個別指導で説明する。										

科目名	介護実習 Practice in care							担当者	中野 幹子 一山 幸子 川井小百合 折居明日香 田邊 伸一 山本 恭大				
開講年度	2020	学年	1	開講期	通年	単位数	10	授業形態	実習	必修・選択の区分	介護福祉士必修		
授業の到達目標	実習（Ⅰ）－1では、自分の立場を理解し社会性を身につけることができる。利用者とのコミュニケーションをとることができる。実習施設の役割を理解することができる。利用者の情報を収集することができる。実習（Ⅰ）－2では、高齢者や認知症高齢者または障がいを持つ方とコミュニケーションをとることができる。コミュニケーションをとることで利用者への理解を深めることができる。生活支援技術の見学を積極的にすることができる。利用者像を収集することができる。												
授業概要	担当者別の指導を行い、多様な現場体験を行うことで、実践力を養えるよう指導を行う。生活支援技術については現場職員の指導をいただきながら実践を行う。実習ごとに担当教員より具体的な指導を行う。												
授業計画	授業のテーマ							予習内容・時間	復習内容・時間				
	1	実習（Ⅰ）－1											
	2	「目的」											
	3	利用者や職員と関わることで、実習生としての立場を理解し、社会性を身につける											
	4	利用者の暮らす環境を理解できる。											
	5	利用者とのコミュニケーションを実践してみる。											
	6												
	7												
	8	実習（Ⅰ）－2											
	9	「目的」											
	10	利用者との人間関係を深め、その利用者の社会的な背景を理解する。											
	11	介護職としての倫理観を学ぶことができる。											
	12	具体的な生活支援技術を実践できる。											
	13												
	14												
15													
成績評価基準	実習指導者と実習巡回教員により評価を行う。												
成績評価方法 (割合%)	筆記試験	レポート	課題	実技	授業の取組	実習指導者							
			50			50							
教科書								参考書					
課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法													

科目名	芸術療法							Arts Therapy		担当者	眞弓真由美 米倉 裕子		
開講年度	2020	学年	1	開講期	後期	単位数	1	授業形態	演習	必修・選択の区分	選択		
授業の到達目標	(眞弓) ○「ねらい」に基づきアートセラピー技法を用いて作品制作を行うことができる ○制作の楽しさやカタルシス(心の浄化)を体感し、制作をとおして他者とコミュニケーションすることができる ○アートセラピー技法を用いた制作を現場で実施する際に必要なサポートを述べることができる (米倉) 医療・福祉・教育の現場で効果的なツールとして重要視されている音楽療法の概要と現状について説明をすることができる。また、それに使用されている音楽の特性を理解し、将来の自分のプロフェッショナルに適應することができる。												
授業概要	(眞弓) 幼児から高齢者まで幅広く使えるアートセラピー技法を用いて作品制作を行う。制作中は、毎回の「ねらい」を理解して楽しさやカタルシスを体感し、制作を通して他者とのコミュニケーションも体験する。制作後は、施設などの現場で制作を行う際に必要なサポートを考え、ワークシート(レポート)に記入する。 (米倉) テキストやハンドアウトなどを使用し、それに沿ったワークショップを経験することで音楽の特性を系統立てて理解する。また、多くの楽曲や楽器に実際に触れて表現をする。												
授業計画	授業のテーマ							予習内容・時間		復習内容・時間			
	1	芸術療法(アートセラピー)について					(眞弓)	授業計画を見て、内容を把握する(30分)		配布したレジュメを読んで授業を振り返る(30分)			
	2	会話を生みだすアートセラピー技法					(眞弓)	配布するプリントを読んで、準備する道具や材料などを把握する(30分)		配布したレジュメを読んで授業を振り返る(30分)			
	3	優劣の出ないアートセラピー技法(1)					(眞弓)	配布するプリントを読んで、準備する道具や材料などを把握する(30分)		配布したレジュメを読んで授業を振り返る(30分)			
	4	優劣の出ないアートセラピー技法(2)					(眞弓)	配布するプリントを読んで、準備する道具や材料などを把握する(30分)		配布したレジュメを読んで授業を振り返る(30分)			
	5	アートセラピー技法を使った回想法					(眞弓)	配布するプリントを読んで、準備する道具や材料などを把握する(30分)		配布したレジュメを読んで授業を振り返る(30分)			
	6	作品をQOLをあげるものに仕上げる(1)					(眞弓)	配布するプリントを読んで、準備する道具や材料などを把握する(30分)		配布したレジュメを読んで授業を振り返る(30分)			
	7	作品をQOLをあげるものに仕上げる(2)					(眞弓)	配布するプリントを読んで、準備する道具や材料などを把握する(30分)		配布したレジュメを読んで授業を振り返る(30分)			
	8	作品鑑賞会と全体の振り返り(フィードバック)					(眞弓)	配布するプリントを読んで、準備する道具や材料などを把握する(30分)		配布したレジュメを読んで授業を振り返る(30分)			
	9	イントロダクション/「療法的音楽活動」について					(米倉)	テキストを読んで理解する・30分		テキストを読んで理解する・指定曲を練習する30分			
	10	我々をとりまく音の特性について/ミュージックベーストワークショップ 1					(米倉)	テキストを読んで理解する・30分		テキストを読んで理解する・指定曲を練習する30分			
	11	社会における音楽の機能について/ミュージックベーストワークショップ 2					(米倉)	テキストを読んで理解する・30分		テキストを読んで理解する・指定曲を練習する30分			
	12	高齢者を対象にした音楽活動について/ミュージックベーストワークショップ 3					(米倉)	テキストを読んで理解する・30分		テキストを読んで理解する・指定曲を練習する30分			
	13	児童を対象にした音楽活動について/ミュージックベーストワークショップ 4					(米倉)	テキストを読んで理解する・30分		テキストを読んで理解する・指定曲を練習する30分			
	14	音楽療法の現場について/ミュージックベーストワークショップ 5					(米倉)	テキストを読んで理解する・30分		テキストを読んで理解する・指定曲を練習する30分			
	15	フィードバック					(米倉)	テキストを読んで理解する・30分		テキストを読んで理解する・30分			
成績評価基準	(眞弓) ①作品課題の評価 ②レポートの内容評価 ③授業への取り組みに対する熱意の評価 (米倉) 期末試験・クラス内発表・クラス内提出物・受講態度												
成績評価方法(割合%)	筆記試験		レポート		課題		実技		授業の取組		その他()		
	(眞弓) 0 (米倉) 25		(眞弓) 30 (米倉) 30		(眞弓) 60 (米倉) 0		(眞弓) 0 (米倉) 20		(眞弓) 10 (米倉) 25				
教科書	(眞弓) プリントを配布する (米倉) 「臨床が変わる!イラストでわかる目からウロコの音楽活動」(2014)三輪書店 「歌のミュージックランド」教育芸術社					参考書		(眞弓) 介護・福祉・医療にかかわる人のためにアートセラピー入門 〜認知症にも効果が認められた芸術療法〜(2007)ひかりのくに株式会社					
課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法	(眞弓) 作品鑑賞会としてフィードバックの時間を設け、作品課題やレポートに対してコメントをする (米倉) 希望があった場合、フィードバックの講評や解説時間を設ける。												

科目名	癒しのケア Care Healing							担当者	外園 裕美 毛利 律子		
開講年度	2020	学年	1	開講期	前期	単位数	1	授業形態	演習	必修・選択の区分	選択
授業の到達目標	<p>(外園) 高齢者や障害者の人へメイクとその関わりを使ってケアをしていく技術を学びます。メイクをする事で温かな気持ちが生まれ、高齢者や障害者の方々を笑顔にする力を身につけます。 (毛利) 本ケアの理念・効果・目的を正確に理解した上で施術に活用できる様になる。施術時に、適切な接遇や傾聴を行える様になる。お互いに施術し合う中で、正確な位置・圧・速度を確認しながら順番通りに手を動かす事ができる様になる。</p>										
授業概要	<p>(外園) セラピーメイクの技法と関わりのための心理学、コミュニケーションをとる方法、信頼関係を作る方法、傾聴する技法など (毛利) セラピューティック・ケアの理念に習熟し、福祉を目指す者に必要な、心に寄り添う為のコミュニケーションツールとしての基本技術を習得する。また、施術をする上で必要な部位の解剖生理学・接遇・傾聴・感染への対処法・活動規範などを学ぶ。</p>										
授業計画	授業のテーマ							予習内容・時間	復習内容・時間		
	1	セラピーメイク概論					(外園)	講義要項を読んでおく (30分)	授業の復習 (30分)		
	2	福祉セラピーメイクの役割と効果活動					(外園)	授業の予習 (30分)	授業の復習 (30分)		
	3	ラポールの構築					(外園)	授業の予習 (30分)	授業の復習 (30分)		
	4	フェイスマッサージ					(外園)	授業の予習 (30分)	授業の復習 (30分)		
	5	スキンケア技術					(外園)	授業の予習 (30分)	授業の復習 (30分)		
	6	ナチュラルメイク技法①					(外園)	授業の予習 (30分)	授業の復習 (30分)		
	7	ナチュラルメイク技法②					(外園)	授業の予習 (30分)	授業の復習 (30分)		
	8	介護メイクとしての注意と実際					(外園)	授業の予習 (30分)	授業の復習 (30分)		
	9	オリエンテーション、自己紹介、教育用DVD・PV視聴 (実技) ネックアンドショルダー					(毛利)	授業の予習 (30分)	授業の復習 (30分)		
	10	(理論) セラピューティックケア概論 (PO) 視聴 (実技) ハンドアンドアームケア					(毛利)	授業の予習 (30分)	授業の復習 (30分)		
	11	(理論) 施術上の留意点・禁忌事項 (実) ネック&ショルダーケア・ハンド&アームケア					(毛利)	授業の予習 (30分)	授業の復習 (30分)		
	12	(理論) 傾聴・接遇・科学的根拠 (実) 同上					(毛利)	授業の予習 (30分)	授業の復習 (30分)		
	13	(理論) 相乗効果・呼吸法・音楽 (実) ネック&ショルダー・レッグケア					(毛利)	授業の予習 (30分)	授業の復習 (30分)		
	14	手技の確認 (三手技) ネック&ショルダー・ハンド&アーム・レッグケア					(毛利)	授業の予習 (30分)	授業の復習 (30分)		
	15	筆記試験					(毛利)	授業の予習 (30分)	授業の復習 (30分)		
成績評価基準	<p>(外園) 授業態度や課題への取り組み方、レポートによる理解度をチェックします (毛利) 施術がもたらす効果の根拠がわかっている事 笑顔で挨拶及び傾聴ができている事 施術のポイント、順番を覚えている事</p>										
成績評価方法 (割合%)	筆記試験		レポート		課題		実技		授業の取組		その他 ()
	(毛利) 30		(外園) 50		(外園) 20 (毛利) 30		(毛利) 30		(外園) 30 (毛利) 10		
教科書	(外園) 配布資料あり (毛利) セラピューティック・ケア (改訂版)					参考書	(外園) 配布資料あり				
課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法	(毛利) 実技・課題に於いて講評や解説の時間を設ける。										

科目名	コンピューター演習 Practice in Information Technology							担当者	山本 恭大			
開講年度	2020	学年	1	開講期	後期	単位数	1	授業形態	演習	必修・選択の区分	選択	
授業の到達目標	① Microsoft Word で書類の作成ができるようになる。 ② Microsoft Excel でプレゼンテーション用のデータ集計ができるようになる。 ③ Microsoft PowerPoint でプレゼンテーション用の資料が作れるようになる。											
授業概要	介護の現場でも、情報処理能力は必須の技術となっている。現場での記録や情報伝達のために Microsoft Word、PowerPoint、Excel を使用する場面は多い。本授業では、Microsoft Word、PowerPoint、Excel の基本的な操作の習得を目指す。											
授業計画	授業のテーマ							予習内容・時間		復習内容・時間		
	1	オリエンテーション						可能であれば、自身のスマートフォンの設定を確認してくる。(30分)		メールの送受信が可能であることを確認する。(30分)		
	2	Microsoft Word						1回目の授業で伝達する(30分)		授業中に伝達する(30分)		
	3	Microsoft Word						2回目の授業で伝達する(30分)		授業中に伝達する(30分)		
	4	Microsoft Word						3回目の授業で伝達する(30分)		授業中に伝達する(30分)		
	5	Microsoft Word						4回目の授業で伝達する(30分)		授業中に伝達する(30分)		
	6	Microsoft Word (ミニテスト)						5回目の授業で伝達する(30分)		授業中に伝達する(30分)		
	7	Microsoft Excel						6回目の授業で伝達する(30分)		授業中に伝達する(30分)		
	8	Microsoft Excel						7回目の授業で伝達する(30分)		授業中に伝達する(30分)		
	9	Microsoft Excel (ミニテスト)						8回目の授業で伝達する(30分)		授業中に伝達する(30分)		
	10	Microsoft PowerPoint						9回目の授業で伝達する(30分)		授業中に伝達する(30分)		
	11	Microsoft PowerPoint						10回目の授業で伝達する(30分)		授業中に伝達する(30分)		
	12	Microsoft PowerPoint						11回目の授業で伝達する(30分)		授業中に伝達する(30分)		
	13	Microsoft PowerPoint						12回目の授業で伝達する(30分)		授業中に伝達する(30分)		
	14	Microsoft PowerPoint (ミニテスト)						13回目の授業で伝達する(30分)		授業中に伝達する(1時間)		
	15	まとめテスト						14回目までの内容を復習する(1時間)		なし		
成績評価基準	授業の取り組み：①②③各単元ごとに、ミニテストを実施し「授業の取り組み」として評価する。 課題：①15時間目に総合テストをおこない「課題」として提出させ評価する。											
成績評価方法(割合%)	筆記試験		レポート		課題		実技		授業の取組		その他()	
					80				20			
教科書	なし						参考書					
課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法	①②③ミニテストの結果は、原則として次の授業で講評を述べる。 ①15限目の課題は成績の発表をもってフィードバックとする。											

科目名	介護の基礎 I Fundamental Care Theory I							担当者	永吉美知子				
開講年度	2020	学年	1	開講期	前期	単位数	1	授業形態	演習	必修・選択の区分	選択		
授業の到達目標	①介護施設現場で戸惑う事なく指示を理解でき チームの一員として円滑に仕事ができるように 仕事に必要とされる基礎漢字を習得し、介護日誌に正確に利用者の状況と仕事内容とくに利用者の心理状況を客観的に表現できるようになる ② 専門士として自信と誇りを持つためにも国家試験の合格を目指す												
授業概要	①「場面から学ぶ介護の日本語」を主教材に使い 進出漢字の音訓読みや介護の漢字の読みと内容理解 ②主教材の中の会話の内容理解と要約で介護日誌の記載の練習 ③国家試験対策の段階別事例問題集を使つての試験対策												
授業計画	授業のテーマ							予習内容・時間		復習内容・時間			
	1	オリエンテーション						1課 1時間		導入 30分			
	2	1課						2課 30分		1課 30分			
	3	2課 小テスト						3課 30分		2課 30分			
	4	3課 小テスト						4課 30分		3課 30分			
	5	4課 小テスト						5課 30分		4課 30分			
	6	5課 小テスト						1～5課 30分		5課 30分			
	7	1課～5課 復習						6課 30分		1～5課 30分			
	8	6課						7課 30分		6課 30分			
	9	7課 小テスト						8課 30分		7課 30分			
	10	8課 小テスト						9課 30分		8課 30分			
	11	9課						10課 30分		9課 30分			
	12	10課 小テスト						11課 30分		9課 30分			
	13	5課～10課 復習						11課 30分		10課 30分			
	14	11課 小テスト						12課 30分		11課 30分			
15	総括 まとめ						13課 30分		12課 30分				
成績評価基準	・授業への積極的参加 ・小テストの到達度 ・内容確認の完成度												
成績評価方法(割合%)	筆記試験			レポート			課題		実技		授業の取組		その他()
	60%			10%							30%		
教科書	「場面から学ぶ介護の日本語」「国家試験対策段階別事例集」							参考書	国家試験過去問				
課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法	解説と講評												

科目名	介護の基礎Ⅱ Fundamental Care Theory Ⅱ							担当者	田中優子			
開講年度	2020	学年	1	開講期	後期	単位数	1単位	授業形態	演習	必修・選択の区分	選択	
授業の到達目標	基本的な日本語（文法・漢字）の復習に加え、介護・福祉に関する専門用語が理解出来き、記述できるようになる。介護の事例問題の意味が理解出来き、内容についての問いに答えることが出来る。											
授業概要	日常会話ではなく介護の現場や施設実習で良く使われる専門用語を選択し、その言葉の意味を理解し例文が作れるようになる。繰り返し会話したり記述したりして専門用語を覚える。											
授業計画	授業のテーマ							予習内容・時間	復習内容・時間			
	1	介護・福祉の言葉と漢字：施設の人						配布資料参照・2時間	配布資料・2時間			
	2	介護・福祉の言葉と漢字：施設の人(前回のミニテスト)						配布資料参照・2時間	配布資料・2時間			
	3	介護・福祉の言葉と漢字：施設（前回のミニテスト）						配布資料参照・2時間	配布資料・2時間			
	4	介護・福祉の言葉と漢字：施設のもの・介護用品（前回のミニテスト）						配布資料参照・2時間	配布資料・2時間			
	5	介護・福祉の言葉と漢字：献立表（前回のミニテスト）						配布資料参照・2時間	配布資料・2時間			
	6	介護・福祉の言葉と漢字：体（前回のミニテスト）						配布資料参照・2時間	配布資料・2時間			
	7	介護・福祉の言葉と漢字：体の症状(前回のミニテスト)						配布資料参照・2時間	配布資料・2時間			
	8	介護・福祉の言葉と漢字：介護士の日（前回のミニテスト）						配布資料参照・2時間	配布資料・2時間			
	9	介護・福祉の言葉と漢字：介護日誌①（前回のミニテスト）						配布資料参照・2時間	配布資料・2時間			
	10	介護・福祉の言葉と漢字：介護日誌②（前回のミニテスト）						配布資料参照・2時間	配布資料・2時間			
	11	介護・福祉の言葉と漢字：介護日誌③（前回のミニテスト）						配布資料参照・2時間	配布資料・2時間			
	12	介護・福祉の言葉と漢字：事例問①						配布資料参照・2時間	配布資料・2時間			
	13	介護・福祉の言葉と漢字：事例問②						配布資料参照・2時間	配布資料・2時間			
	14	介護・福祉の言葉と漢字：事例問③						配布資料参照・2時間	配布資料・2時間			
15	まとめ						配布資料参照・2時間	配布資料・2時間				
成績評価基準	単元ごとのミニテストと定期試験、授業への取組にて評価											
成績評価方法 (割合%)	筆記試験		レポート		課題		実技		授業の取組		その他()	
	80								20			
教科書							参考書					
課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法	ミニテストは採点后解説する。											

科目名	社会福祉援助論 Theory of Social Welfare							担当者	一山幸子			
開講年度	2020	学年	2年	開講期	後期	単位数	2単位	授業形態	講義	必修・選択の区分	卒業必修 介護福祉士必修	
授業の到達目標	①文化祭や介護の日イベントの行事に協力、準備、実施することができる。 ②担任による個別面談や現場職員による施設説明会、就職フェア、介護フェスタ等の参加によって各自の進路を定めることができる。 ③進路指導室への内定報告書の提出、介護福祉士資格申請手続きを責任を持って実施することができる。											
授業概要	①文化祭や介護の日イベントの行事に協力、準備、実施する。 ②担任による個別面談や現場職員による施設説明会、就職フェアの参加によって各自の進路を定める。 ③進路指導室への内定報告書の提出、介護福祉士資格申請手続きを責任を持って実施する。 この授業は、社会福祉士、介護福祉士として実務経験のある教員が担当する。											
授業計画	授業のテーマ							予習内容・時間		復習内容・時間		
	1	履修指導、文化祭企画、進路アンケート					シラバスを読み履修科目を確認する(2時間)		各自の進路希望先を調べる(2時間)			
	2	文化祭企画・担任による個別面談					各自の進路希望先を調べる(2時間)		各自の進路希望先を調べる(2時間)			
	3	文化祭企画・担任による個別面談					各自の進路希望先を調べる(2時間)		各自の進路希望先を調べる(2時間)			
	4	文化祭企画(1・2年生合同)					各自の担当役割の内容を予習する(2時間)		各自の担当役割の内容を復習する(2時間)			
	5	文化祭 前日準備					各自の担当役割の内容を予習する(2時間)		各自の担当役割の内容を復習する(2時間)			
	6	文化祭 実施					各自の担当役割の内容を予習する(2時間)		各自の担当役割の実施内容を評価考察する(2時間)			
	7	福祉施設説明会：高齢者施設の現場(施設職員より)					高齢者施設の種類と内容を復習する(2時間)		高齢者施設の種類と内容をまとめる(2時間)			
	8	福祉施設説明会：障害者施設の現場(施設職員より)					障害児者施設の種類と内容を復習する(2時間)		障害児者施設の種類と内容をまとめる(2時間)			
	9	高齢者施設・障害者施設の現場					福祉施設の種類と特徴について復習する(2時間)		福祉施設の種類と特徴についてまとめる(2時間)			
	10	福岡介護フェスタ参加					各自の担当イベント内容を予習する(2時間)		各自の担当イベント内容を復習する(2時間)			
	11	福岡介護フェスタ参加					各自の担当イベント内容を予習する(2時間)		各自の担当イベント内容を復習する(2時間)			
	12	内定者向け離職防止セミナー：労働法出前講座					労働法プリントを読んで予習する(2時間)		労働法プリントを読んで復習する(2時間)			
	13	進路指導室へ進路状況報告書提出、進路報告用写真撮影(全学生)					進路状況を記録する(2時間)		各自の進路先の学習を進める(2時間)			
	14	資格申請手続き、資格取得アンケート、内定者注意事項説明					取得資格を記録する(2時間)		内定者注意事項を読み返し確認する(2時間)			
15	レポート作成					2年間の学習を総復習し要点をまとめる(2時間)		2年間の学習を総復習し要点を覚える(2時間)				
成績評価基準	①文化祭や介護の日イベントの行事に協力、準備、実施することができる。 ②担任による個別面談や現場職員による施設説明会、就職フェアの参加によって各自の進路を定めることができる。 ③進路指導室への内定報告書の提出、介護福祉士資格申請手続きを責任を持って実施することができる。											
成績評価方法(割合%)	筆記試験		レポート		課題		実技		授業の取組		その他()	
			50%		30%				20%			
教科書	見て覚える！介護福祉士国試ナビ2021、中央法規配布プリント						参考書	就職活動ハンドブック2019、西日本短期大学進路指導部				
課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法	レポート課題は、添削して返します。											

2年

科目名	社会福祉援助技術 Skills for Social Welfare							担当者	一山幸子			
開講年度	2020	学年	2年	開講期	前期	単位数	2単位	授業形態	講義	必修・選択の区分	卒業必修 介護福祉士必修	
授業の到達目標	①1・2年生交流会に協調性を持って準備、実施することができる。 ②担任による個別面談や現場職員による施設の説明、卒業生による就職座談会を通して、各自の就職活動計画書を作成することができる。 ③マナー講座によって、礼儀作法、社会人としてのマナーを持って行動することができるようになる。 ④履歴書を作成することができる。											
授業概要	①1・2年生交流会に協調性を持って準備、実施する。 ②担任による個別面談や現場職員による施設の説明、卒業生による就職座談会を通して、各自の就職活動計画書を作成する。 ③マナー講座によって、礼儀作法、社会人としてのマナーを持って行動する。 ④履歴書を作成する。 この授業は、社会福祉士、介護福祉士として実務経験のある教員が担当する。											
授業計画	授業のテーマ							予習内容・時間	復習内容・時間			
	1	履修指導、実行委員選出、1・2年生交流会企画						レクリエーション、アクティビティの授業を予習する(2時間)	レクリエーション、アクティビティの授業を復習する(2時間)			
	2	1・2年生交流会 準備						レクリエーション、アクティビティの授業を予習する(2時間)	レクリエーション、アクティビティの授業を復習する(2時間)			
	3	1・2年生交流会 実施						レクリエーション、アクティビティの授業を予習する(2時間)	レクリエーション、アクティビティの授業を復習する(2時間)			
	4	1・2年生交流会 実施						レクリエーション、アクティビティの授業を予習する(2時間)	実施したレクリエーションを評価考察する(2時間)			
	5	担任による個別面談・履歴書作成						各自の進路を調べる(2時間)	各自の進路について調べたことを復習する(2時間)			
	6	担任による個別面談・履歴書作成						各自の進路を調べる(2時間)	各自の進路について調べたことを復習する(2時間)			
	7	マナー講座						礼儀マナーについて調べる(2時間)	礼儀マナーについてプリントを復習する(2時間)			
	8	高齢者施設の現場(施設職員より)						高齢者施設の種類と内容を調べる(2時間)	高齢者施設の種類と内容のプリントを復習する(2時間)			
	9	障害者施設の現場(施設職員より)						障害者施設の種類と内容を調べる(2時間)	障害者施設の種類と内容のプリントを復習する(2時間)			
	10	高齢者施設・障害者施設の現場						福祉施設について学んだことを確認する(2時間)	福祉施設について学んだことをまとめる(2時間)			
	11	卒業生を招いた就職座談会に向けて						各自の進路を調べる(2時間)	各自の進路を調べて記録する(2時間)			
	12	卒業生を招いた就職座談会						先輩に質問することを記録する(2時間)	先輩から聞いたことをまとめる(2時間)			
	13	就職活動の進め方(福岡県社会福祉協議会 講師より)						就職面談会に向けて各自の進路を調べる(2時間)	就職面談会に向けて面談希望施設を記録する(2時間)			
	14	就職活動計画書作成						各自の進路面談希望施設を記録する(2時間)	面談希望施設を調べる(2時間)			
	15	まとめ・レポート作成						前期の学習を振り返り、要点を記録する(2時間)	前期の学習をまとめ、総復習する(2時間)			
成績評価基準	①1・2年生交流会に協調性を持って準備、実施することができる。 ②担任による個別面談や現場職員による施設の説明、卒業生による就職座談会を通して、各自の就職活動計画書を作成することができる。 ③マナー講座によって、礼儀作法、社会人としてのマナーを持って行動することができるようになる。 ④履歴書を作成することができる。											
成績評価方法(割合%)	筆記試験	レポート	課題	実技	授業の取組	その他()						
		50%	30%		20%							
教科書	見て覚える！介護福祉士国試ナビ2021、中央法規介護福祉士養成講座14 障害の理解 中央法規配布プリント						参考書	就職活動ハンドブック2019 西日本短期大学進路指導部				
課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法	レポート課題は、添削して返します。											

科目名	高齢者健康学 Health Studies for the Elderly							担当者	小 車 淑 子			
開講年度	2020	学年	2	開講期	前期	単位数	2	授業形態	講義	必修・選択の区分	介護福祉士必修	
授業の到達目標	①老化にともなう身体的な変化と生活への影響について、説明することができる。 ②健康長寿に向けての健康について、説明することができる。 ③高齢者に多い疾患・症状と生活上の留意点について、説明することができる。											
授業概要	老化や高齢者に多い症状・疾患と生活上の留意点について学ぶ科目です。 介護福祉士として、保険医療職との連携を図ることができるよう、必要な医学的知識を学びます。 人体構造を復習しながら、教科書の内容をふまえてパワーポイントを使用して講義します。 専門用語が多いので、各自で予習・復習をして授業に臨みましょう。											
授業計画	授業のテーマ							予習内容・時間	復習内容・時間			
	1	オリエンテーション：高齢者と健康・高齢者の症状・疾患の特徴					教科書 p188～201 (2時間)		配布プリント (2時間)			
	2	高齢者に多い疾患・症状と生活上の留意点：骨格系・筋系					教科書 p202～216 (2時間)		配布プリント (2時間)			
	3	高齢者に多い疾患・症状と生活上の留意点：脳・神経系					教科書 p216～223 (2時間)		配布プリント (2時間)			
	4	高齢者に多い疾患・症状と生活上の留意点：皮膚・感覚系					教科書 p223～227 (2時間)		配布プリント (2時間)			
	5	復習 (小テスト①)					教科書 p188～227 配布プリント(2時間)		配布プリント (2時間)			
	6	高齢者に多い疾患・症状と生活上の留意点：循環器系					教科書 p228～235 (2時間)		配布プリント (2時間)			
	7	高齢者に多い疾患・症状と生活上の留意点：呼吸器系					教科書 p236～239 (2時間)		配布プリント (2時間)			
	8	高齢者に多い疾患・症状と生活上の留意点：消化器系					教科書 p241～246 (2時間)		配布プリント (2時間)			
	9	復習 (小テスト②)					教科書 p228～246 配布プリント(2時間)		配布プリント (2時間)			
	10	高齢者に多い疾患・症状と生活上の留意点：腎・泌尿器系					教科書 p246～250 (2時間)		配布プリント (2時間)			
	11	高齢者に多い疾患・症状と生活上の留意点：内分泌・代謝系					教科書 p251～258 (2時間)		配布プリント (2時間)			
	12	高齢者に多い疾患・症状と生活上の留意点：歯・口腔疾患・悪性新生物					教科書 p259～271 (2時間)		配布プリント (2時間)			
	13	高齢者に多い疾患・症状と生活上の留意点：感染症・精神疾患その他・老化にともなうからだの変化と生活への影響					教科書 p271～289 (2時間)		配布プリント (2時間)			
	14	復習 (小テスト③)					教科書 p246～287 配布プリント(2時間)		配布プリント (2時間)			
15	まとめ					配布プリント・小テスト						
成績評価基準	老化にともなう身体的な変化と生活への影響、健康長寿に向けての健康、高齢者に多い疾患・症状と生活上の留意点について 筆記試験を実施し、授業内容の理解度を評価する。											
成績評価方法 (割合%)	筆記試験	レポート	課題	実技	授業の取組	その他 ()						
	80%	10%			10%							
教科書	最新介護福祉養成講座12 発達と老化の理解 介護福祉士養成講座編集委員会 中央法規 プリントを配布する						参考書	MINERVA 福祉資格テキスト介護福祉士 こころとからだのしくみ編 石井享子監修 ミネルヴァ書房				
課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法	単元ごとに復習小テストを実施し、解説の時間を設ける。											

科目名	発達と老化の理解 Understanding of Development and Aging							担当者	城戸由香里			
開講年度	2020	学年	2	開講期	後期	単位数	2	授業形態	講義	必修・選択の区分	必修	
授業の到達目標	発達及び生涯発達の考え方を理解し、説明できる。発達にはどのようなパターンがあるか、またどのような要因が影響するかを具体的に述べるができる。発達理論について、ピアジェ、エリクソン、バルテス、ハヴィガーストそれぞれの概要が列記できる。高齢期の発達と発達課題について例を挙げ、説明できる。老化にともなう様々な心の変化と、その適応のかたちについて、列挙できる。											
授業概要	授業の始めに、前回の簡単な要点の復習を行い、小テストと答え合わせを行う。当該授業では、予習としてテキストを学生が熟読してきた内容を配布プリントにて、要点、理解の確認を行う。さらに理解を深めるため、様々な例を用い、必要に応じて、生徒間のグループワークを行う。授業の最後に、小テストのプリントを提出する。											
授業計画	授業のテーマ							予習内容・時間		復習内容・時間		
	1	成長と発達の考え方						テキスト p1～6 を熟読 (2時間)		次回の小テストの準備 (2時間)		
	2	成長と発達の原則・法則						テキスト p7～9 を熟読 (2時間)		次回の小テストの準備 (2時間)		
	3	成長・発達に影響する要因						テキスト p10～17 を熟読 (2時間)		次回の小テストの準備 (2時間)		
	4	発達理論						テキスト p20～23 を熟読 (2時間)		次回の小テストの準備 (2時間)		
	5	発達段階と発達課題						テキスト p24～34 を熟読 (2時間)		次回の小テストの準備 (2時間)		
	6	身体的機能の成長と発達						テキスト p35～46 を熟読 (2時間)		次回の小テストの準備 (2時間)		
	7	心理的機能の発達						テキスト p47～54 を熟読 (2時間)		次回の小テストの準備 (2時間)		
	8	社会的機能の発達						テキスト p55～68 を熟読 (2時間)		次回の小テストの準備 (2時間)		
	9	老年期の定義						テキスト p70～74 を熟読 (2時間)		次回の小テストの準備 (2時間)		
	10	老化とは						テキスト p75～79 を熟読 (2時間)		次回の小テストの準備 (2時間)		
	11	老年期の発達課題						テキスト p80～97 を熟読 (2時間)		次回の小テストの準備 (2時間)		
	12	老化にともなう心理的变化と生活への影響						テキスト p143～163 を熟読 (2時間)		次回の小テストの準備 (2時間)		
	13	老化にともなう社会的な変化と生活への影響						テキスト p164～185 を熟読 (2時間)		次回の小テストの準備 (2時間)		
	14	健康長寿に向けての健康						テキスト p188～195 を熟読 (2時間)		次回の小テストの準備 (2時間)		
	15	総括・確認テスト						1～14の総復習 (2時間)				
成績評価基準	毎回の小テスト点数及び、授業への積極的参加(発表など)を評価する。15回目の総括の確認テストにて、各項目のキーワードやその意味の確認を行い(90点)総合的な理解は記述式の回答により評価する(10点)。											
成績評価方法(割合%)	筆記試験		レポート		課題		実技		授業の取組		その他()	
	80		10		なし		なし		10		なし	
教科書	発達と老化の理解(12)						参考書		配布プリント			
課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法	15回目の確認テスト前にキーワードや学生の理解の不十分な単元の補足説明を行う。											

科目名	介護の基本Ⅲ Basic Care Theory Ⅲ						担当者	川井小百合			
開講年度	2020	学年	2	開講期	前期	単位数	2	授業形態	講義	必修・選択の区分	介護福祉士必修
授業の到達目標	①介護を必要とする人の生活の多様性を理解し、その生活を支援する介護サービスについて説明できる ②多職種の役割と専門性、チームアプローチの展開について理解することができる ③介護における安全の確保のための基礎的な知識や事故への対応を理解し、説明できる ④介護従事者の心身の健康管理、労働環境の管理について理解し、説明できる										
授業概要	介護現場で必要となる安全対策や多職種・地域との連携などについて、理解を深めていきます。 介護が必要な人を支えるためには何が大切なのか、しっかりと考えていきましょう。 この授業は、介護福祉士として実務経験のある教員が担当します。										
授業計画	授業のテーマ						予習内容・時間	復習内容・時間			
	1	介護を必要とする人の理解					「介護の基本1」の講義内容を再確認する(2時間)	講義内容について復習する(2時間)			
	2	介護を必要とする人の生活を支えるしくみ：介護保険制度の概要					介護保険制度の概要について調べる(2時間)	講義内容について復習する(2時間)			
	3	介護を必要とする人の生活を支えるしくみ：介護サービスの概要					介護サービスの概要について調べる(2時間)	講義内容について復習する(2時間)			
	4	〃					プリントを読んでわからない言葉の意味を調べる(2時間)	講義内容について復習する(2時間)			
	5	協働する多職種の役割と機能：多職種の役割と専門性の理解					プリントを読んでわからない言葉の意味を調べる(2時間)	講義内容について復習する(2時間)			
	6	協働する多職種の役割と機能：チームアプローチの具体的展開					プリントを読んでわからない言葉の意味を調べる(2時間)	講義内容について復習する(2時間)			
	7	1～6 までのまとめ					1～6までの講義内容を再確認する(2時間)	まとめの内容を再確認する(2時間)			
	8	介護従事者の安全					プリントを読んでわからない言葉の意味を調べる(2時間)	講義内容について復習する(2時間)			
	9	介護における安全の確保とリスクマネジメント：事故防止					プリントを読んでわからない言葉の意味を調べる(2時間)	講義内容について復習する(2時間)			
	10	介護における安全の確保とリスクマネジメント：感染予防					プリントを読んでわからない言葉の意味を調べる(2時間)	講義内容について復習する(2時間)			
	11	介護における安全の確保とリスクマネジメント：安全対策					プリントを読んでわからない言葉の意味を調べる(2時間)	講義内容について復習する(2時間)			
	12	8～11 までのまとめ					8～11までの講義内容を再確認する(2時間)	講義内容について復習する(2時間)			
	13	地域包括ケアシステムと地域連携					地域包括ケアシステムについて調べる(2時間)	講義内容について復習する(2時間)			
	14	ケアマネジメント					ケアマネジメントについて調べる(2時間)	講義内容について復習する(2時間)			
15	総括					すべての講義内容を再確認する(2時間)	まとめの内容を再確認する(2時間)				
成績評価基準	講義内容についてのレポート、まとめのミニテストにより評価する。										
成績評価方法(割合%)	筆記試験	レポート	課題	実技	授業の取組	その他()					
	80%	10%	0	0	10%						
教科書	必要に応じてプリント配布					参考書	「見て覚える！介護福祉士国試ナビ」中央法規出版				
課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法	講義内容についてのレポート・まとめのミニテストは、確認後に返却し、必要に応じて授業時に講評・解説する。										

科目名	介護の基本Ⅳ Basic Care Theory Ⅳ							担当者	一山 幸子 田邊 伸一 山本 恭大		
開講年度	2020	学年	2年	開講期	前期	単位数	2単位	授業形態	講義	必修・選択の区分	介護福祉士必修
授業の到達目標	「介護サービス」について、障害児者分野における実習Ⅰ-3、実習Ⅱの課題を理解し実施することができる。 具体的には、知的障害者に対する①利用者像、②アセスメント、③介護計画（個別支援計画）、④実施・評価の4つの課題を理解し各々の課題シートを作成することができる。										
授業概要	1) 知的障害の医学的側面の基礎的知識を確認する。 2) ①利用者像、②アセスメント、③介護計画（個別支援計画）・実施・評価の3種類の課題シートを事例DVD視聴を行い作成する。 3) 知的障害者施設の生活支援員より知的障害者支援の実際について話を聴く。 4) 自分で作成した個別支援計画をロールプレイによって実施・評価する。										
授業計画	授業のテーマ							予習内容・時間	復習内容・時間		
	1	介護サービス：利用者像						知的障害の定義・支援方法の確認（2時間）	知的障害の定義・支援方法の確認（2時間）		
	2	介護サービス：利用者像						介護過程（利用者像の書き方）の確認（2時間）	介護過程（利用者像の書き方）の確認（2時間）		
	3	介護サービス：利用者像						知的障害の定義・支援方法の確認（2時間）	知的障害の定義・支援方法の確認（2時間）		
	4	介護サービス：アセスメント						知的障害の定義・支援方法の確認（2時間）	知的障害の定義・支援方法の確認（2時間）		
	5	介護サービス：アセスメント						介護過程（アセスメントの書き方）の復習（2時間）	介護過程（アセスメントの書き方）の復習（2時間）		
	6	介護サービス：アセスメント						知的障害の定義・支援方法の復習（2時間）	知的障害の定義・支援方法の復習（2時間）		
	7	介護サービス：アセスメント						介護過程（アセスメントの書き方）の復習（2時間）	介護過程（アセスメントの書き方）の復習（2時間）		
	8	介護サービス：介護計画（個別支援計画）						知的障害の定義・支援方法の復習（2時間）	知的障害の定義・支援方法の復習（2時間）		
	9	介護サービス：介護計画（個別支援計画）						介護過程（介護計画の書き方）の復習（2時間）	介護過程（介護計画の書き方）の復習（2時間）		
	10	介護サービス：介護計画（個別支援計画）						知的障害の定義・支援方法の復習（2時間）	知的障害の定義・支援方法の復習（2時間）		
	11	介護サービス：実施・評価（ロールプレイ）						介護過程（実施・評価の書き方）の復習（2時間）	介護過程（実施・評価の書き方）の復習（2時間）		
	12	介護サービス：実施・評価（ロールプレイ）						知的障害の定義・支援方法の復習（2時間）	知的障害の定義・支援方法の復習（2時間）		
	13	介護サービス：実施・評価（ロールプレイ）						介護過程（実施・評価の書き方）の復習（2時間）	介護過程（実施・評価の書き方）の復習（2時間）		
	14	介護サービス：実施・評価（ロールプレイ）						知的障害の定義・支援方法の復習（2時間）	知的障害の定義・支援方法の復習（2時間）		
	15	まとめ						介護過程（の書き方）の復習（2時間）	介護過程（の書き方）の復習（2時間）		
成績評価基準	①利用者像を作成することができる。 ②アセスメントを作成することができる。 ③介護計画（個別支援計画）を作成することができる。 ④介護計画（個別支援計画）の実施・評価を作成することができる。										
成績評価方法（割合％）	筆記試験		レポート		課題		実技		授業の取組		その他（ ）
					80%				20%		
教科書	最新 介護福祉士養成講座14「障害の理解」 介護福祉士養成講座編集委員会 編集 見て覚える！介護福祉士国試ナビ2021、中央法規						参考書		介護福祉士養成講座8 生活支援技術Ⅲ、中央法規 知的障害のおともだち、ミネルヴァ書房		
課題（試験、レポート等）に対するフィードバックの方法	課題シートを毎回提出してもらいます。添削して、次回授業で返却します。										

科目名	介護の基本V Basic Care Theory V							担当者	田邊 伸一 折居明日香 山本 恭大		
開講年度	2020	学年	2	開講期	後期	単位数	2	授業形態	講義	必修・選択の区分	介護福祉士必修
授業の到達目標	①介護福祉の基本となる理念や、地域を基盤とした生活の持続性を支援するための仕組みを理解し、基本的な知識を習得することができる。 ②介護福祉士に求められる役割と機能を理解し、専門職としての知識の統合化を図ることができる。										
授業概要	介護福祉の専門職として、能力や知識の向上を目指し、介護の基本の総括を実施する。今まで学んできた介護の基本の講義内容を振り返り、復習を行っていく。										
授業計画	授業のテーマ							予習内容・時間	復習内容・時間		
	1	オリエンテーション (授業内容・評価基準・評価方法について)					シラバスを確認する 今までの授業を振り返り疑問・質問点を挙げておく(2時間)		今回の講義で学んだ内容を復習する(2時間)		
	2	総括：介護福祉士の基本となる理念					授業で配布されたプリントを読んで再確認しておく(2時間)		今回の講義で学んだ内容を復習する(2時間)		
	3	総括：介護福祉士の役割と機能					授業で配布されたプリントを読んで再確認しておく(2時間)		今回の講義で学んだ内容を復習する(2時間)		
	4	総括：介護福祉士の倫理					授業で配布されたプリントを読んで再確認しておく(2時間)		今回の講義で学んだ内容を復習する(2時間)		
	5	総括：自立に向けた介護					授業で配布されたプリントを読んで再確認しておく(2時間)		今回の講義で学んだ内容を復習する(2時間)		
	6	総括：介護を必要とする人への理解					授業で配布されたプリントを読んで再確認しておく(2時間)		今回の講義で学んだ内容を復習する(2時間)		
	7	総括：介護を必要とする人の生活を支えるしくみ					授業で配布されたプリントを読んで再確認しておく(2時間)		今回の講義で学んだ内容を復習する(2時間)		
	8	総括：協働する他職種の機能と役割					授業で配布されたプリントを読んで再確認しておく(2時間)		今回の講義で学んだ内容を復習する(2時間)		
	9	総括：介護における安全の確保とリスクマネジメント					授業で配布されたプリントを読んで再確認しておく(2時間)		今回の講義で学んだ内容を復習する(2時間)		
	10	総括：介護従事者の安全					授業で配布されたプリントを読んで再確認しておく(2時間)		今回の講義で学んだ内容を復習する(2時間)		
	11	まとめ					予習課題をする(2時間)		今回の講義で学んだ内容を復習する(2時間)		
	12	まとめ					予習課題をする(2時間)		今回の講義で学んだ内容を復習する(2時間)		
	13	まとめ					予習課題をする(2時間)		今回の講義で学んだ内容を復習する(2時間)		
	14	まとめ					予習課題をする(2時間)		今回の講義で学んだ内容を復習する(2時間)		
	15	まとめ					予習課題をする(2時間)		授業全体を振り返り、学んだ内容をまとめる(2時間)		
成績評価基準	①定期試験で介護の基本の基礎知識について6割以上解答できる。 ②定期試験で介護の基本の基礎知識について6割以上解答できる。										
成績評価方法(割合%)	筆記試験	レポート	課題	実技	授業の取組	その他()					
	80%	-	-	-	20%	-					
教科書	必要に応じてプリントを配布					参考書	「見て覚える！介護福祉士国試ナビ」 「介護福祉士国家試験模擬問題集」 共に中央法規出版				
課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法	試験のフィードバックとして、講評や解説の時間を設ける。										

科目名	障害児支援論 Support for disabled							担当者	昇地勝人			
開講年度	2020	学年	2	開講期	後期	単位数	2	授業形態	講義	必修・選択の区分	必修	
授業の到達目標	特別支援教育の対象となる各種障害の特性を系統的に説明し、障害種に応じた適切な指導・支援法を立案・計画できるようにする。											
授業概要	障害特性の理解と支援・援助の要点を定義・原因・症状、心理的特性および指導法・援助の視点から解説し、それぞれの障害の比較・理解を容易にする。											
授業計画	授業のテーマ							予習内容・時間	復習内容・時間			
	1	オリエンテーション								講義資料		
	2	障害の概念							視覚障害	WHOの定義		
	3	視覚障害							点字・指字	障害受容		
	4	点字実習							聴覚障害	点字の練習		
	5	聴覚障害							知的障害	9歳レベルの壁		
	6	知的障害							肢体不自由	自立活動		
	7	肢体不自由							病・虚弱	動作法		
	8	病・虚弱							言語障害	QOL		
	9	言語障害							サヴァン症候群	B・S・S・C法 インリアル法		
	10	サヴァン症候群							情緒障害	サヴァン症候群資料 収集		
	11	情緒障害							発達障害	自閉症		
	12	発達障害							障害重積深化過程	発達障害		
	13	障害重積深化過程の心理的プロセス							発達援助のための10の原理	心理療法		
	14	発達援助のための10の原理							全体のまとめ	発達援助のための10の原理		
	15	まとめ										
成績評価基準	各種障害の定義、原因、症状、心理的特性の知識の獲得とそれらに基づく指導・支援の方法を立案・計画できたか											
成績評価方法 (割合%)	筆記試験		レポート		課題		実技		授業の取組		その他()	
	80		5		5		5		5			
教科書	なし						参考書	「障害臨床学」ナカニシヤ出版、中村義行編 「よくわかる発達障害」ミネルヴァ書房、小野次朗著				
課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法	ワーク課題は、2週間以内にコメントをつけて返却する。											

科目名	家政学演習 Practice in Home Economics							担当者	伊勢木 紀三子			
開講年度	2020	学年	2	開講期	後期	単位数	1	授業形態	演習	必修・選択の区分	卒業必修 介護福祉士必修	
授業の到達目標	いかなる状況において、その人の自立を目指し、滞在能力を維持できるよう、介護者として安全、適切な家事技術と知識について、学習することを目的とする。 介護者の立場に寄り添った支援が行えるよう、生活習慣病等の知識や衛生管理、調理技術の体験を交えながら、現場で実践に役立てる能力を身に付けることを目的とする。											
授業概要	家庭生活の意義を学び、家事経営、即ち、家庭や施設における自己表現につながる、家庭生活の共同、経営のありかたを考え、生活習慣病の知識等を身に付ける。 実習を通し、自立支援の視点から、食事作りの実践が出来る能力を身につける。 2コマ連続で講義、演習を行う。											
授業計画	授業のテーマ							予習内容・時間	復習内容・時間			
	1	講義・自立に向けた家事の介護（意義、構造、機能、変貌）						高齢者介護の問題や実態等の報道に耳を傾ける（60分）	配布プリントの再読（60分）			
	2											
	3	講義・栄養学（5大栄養素）、生活習慣病の知識						栄養素、生活習慣病とは何か？ネット検索（60分）	配布プリントの再読（60分）			
	4											
	5	講義・高齢者、生活習慣病に向けた食事作りの考え方						高齢者や生活習慣病の食事について、ネット検索（60分）	配布プリントの再読（60分）			
	6	講義・生活習慣病の症例別、調理例										
	7	実習・衛生管理①手指付着菌の実習②食品表示の味方						衛生管理のプリント再読（30分）	付着菌スケッチ（30分）			
	8	実習・高齢者の保健食実習（バランス献立）						高齢者の嗜好を意識する（30分）	自宅での調理復習（90分）			
	9											
	10	実習・高齢者の保健食実習②（咀嚼困難な人向けの献立）						嚥下咀嚼困難な人の意識（30分）	自宅での調理復習（90分）			
	11											
	12	実習・高齢者と一緒に楽しめる行事食実習（材料の使いこなし）						行事食のプリント再読（講義時配布）（30分）	自宅での調理復習（90分）			
	13											
	14	実習・福岡の郷土料理を取り入れた献立実習（市販品の活用）						福岡の郷土料理ネット等検索（30分）	自宅での調理復習（90分）			
15												
成績評価基準	授業の取組、実技は、うまくできなくても、取り組む姿勢をみます。 レポートは、内容をすべて記載し、提出期日を守ってもらいます。この点も取組の評価対象に含まれます。											
成績評価方法（割合）	筆記試験	レポート	課題	実技	授業の取組	その他（ ）						
	0%	40%	0%	40%	20%							
教科書	なし 必要に応じてプリント配布						参考書	介護福祉士養成講座6 生活支援技術Ⅰ（中央法規） やわらかく、飲み込みやすい高齢者の食事メニュー（ナツメ社）				
課題（試験、レポート等）に対するフィードバックの方法	・配布プリントは今後の資料をなるよう、各自ファイルすること。講義7回時に一旦提出してもらいます。 ファイル内容を講師が確認し、1週間後に返却します。 ・提出レポートの返却はしません。											

科目名	生活支援技術（清潔） Life Support Skills (Clean)							担当者	田邊伸一 山本恭大				
開講年度	2020	学年	2	開講期	前期	単位数	1	授業形態	演習	必修・選択の区分	介護福祉士必修		
授業の到達目標	①入浴・清潔保持の意義・目的を理解し、安全で心地よい入浴・清潔保持の介助が実践できる。 ②利用者の潜在能力を活かした基本的な整容・身支度・衣服の着脱の技術が習得できる。 ③自立に向けた入浴・清潔保持に関連した福祉用具について理解・活用できる。 ④利用者の健康状態や状況を把握し、その方にあった身支度に必要な介護技術の基本を習得することができる。												
授業概要	この科目では、介護が必要な人に応じた入浴・清潔・身支度の場面での安全で自立に向けた基本的な介護技術を学ぶ。その理由を考えることができる力を養うことを目標に、主にグループでの演習を行います。個々の能力に応じた技術習得のために、実技試験や技術演習を時間外に実施することもあります。 ※この授業は、介護福祉士として実務経験のある教員が根拠に基づき講義・演習を行う。												
授業計画	授業のテーマ							予習内容・時間		復習内容・時間			
	1	自立に向けた入浴・清潔保持の介助（入浴・清潔保持の意義と目的）						清潔とはなにか考えてみる。(30分)		演習で出来なかった技術を練習する。(30分)			
	2	自立に向けた入浴・清潔保持の介助（入浴の介助）						機械浴について調べておく。(30分)		機械浴の注意点・改善点をまとめておく。(30分)			
	3	自立に向けた入浴・清潔保持の介助（清拭の介助）						清拭とはなにか調べておく。(30分)		清拭の手順・注意点をまとめておく。(30分)			
	4	自立に向けた入浴・清潔保持の介助（洗髪の介助）						洗髪時の注意点を考えてみる。(30分)		洗髪時の手順をまとめて整理しておく。(30分)			
	5	自立に向けた入浴・清潔保持の介助（洗髪の介助）						洗髪時の工夫を考えてみる。(30分)		洗髪時の注意点・改善点をまとめておく。(30分)			
	6	自立に向けた入浴・清潔保持の介助（手浴・足浴・爪切り）						手浴・足浴について調べておく。(30分)		手浴・足浴時の注意点・改善点をまとめておく。(30分)			
	7	自立に向けた入浴・清潔保持の介助（手浴・足浴・爪切り）						爪について調べておく。(30分)		爪切り時の注意点・改善点をまとめておく。(30分)			
	8	自立に向けた身支度の介助（身支度の意義と目的）						身支度について考えてみる。(30分)		身支度についてレポートにまとめる。(30分)			
	9	自立に向けた身支度の介助（座位での衣服の着脱・交換）						着脱時の難しい点を考えてみる。(30分)		演習で出来なかった技術を練習する。(30分)			
	10	自立に向けた身支度の介助（臥床した状態での衣服の着脱・交換）						臥床時の着脱の手順を考えてみる。(30分)		着脱の手順をまとめて整理しておく。(30分)			
	11	自立に向けた身支度の介助（臥床した状態での衣服の着脱・交換）						臥床時の着脱の注意点を確認しておく。(30分)		着脱の注意点・改善点をまとめておく。(30分)			
	12	自立に向けた身支度の介助（浴衣の着脱・交換）						浴衣について調べておく。(30分)		浴衣の着脱の手順をまとめて整理しておく。(30分)			
	13	自立に向けた身支度の介助（実技の振り返り）						介助方法が理解できていない部分を明確にしておく(30分)		演習で出来なかった技術を練習する。(30分)			
	14	実技のまとめ						今までの資料を確認しておく(30分)		演習で出来なかった技術を練習する。(30分)			
	15	実技のまとめ						今までの資料を確認しておく(30分)		演習で出来なかった技術を練習する。(30分)			
成績評価基準	①実技試験による評価 ③実技試験による評価 ②実技試験による評価 ④レポートによる評価												
成績評価方法（割合％）	筆記試験			レポート			課題		実技		授業の取組		その他（ ）
				10					80		10		
教科書	必要に応じてプリント配布						参考書		「目で見てわかる介護術」（成美堂出版） 「看護技術がみえる Vol.1基礎看護技術」（大日本印刷株式会社）				
課題（試験、レポート等）に対するフィードバックの方法	質問・相談がある場合は、授業終了後直接質問に来ること。その時の内容で即答や次回持越し、別日での対応など決める。 レポート課題は、2週間以内にコメントを入れて返却する。												

科目名	生活支援技術（排泄） Life Support Skills (excretion)							担当者	山本 恭大 実務家教員				
開講年度	2020	学年	2	開講期	前期	単位数	1	授業形態	演習	必修・選択の区分	介護福祉士必修		
授業の到達目標	①利用者の残存能力を活かした排泄の介助を考え、排泄の社会的・文化的・心理的・身体的意義を説明できるようにする。 ②排泄自立に向け、利用者の状態に応じた排泄方法と福祉用具を検討し、実践できるようになる。 ③排泄に関する利用者の変化に気づき対応できるようになる。 ④排泄に関する医療的知識を学び、利用者の状態に応じた留意点に基づいた排泄支援を実践できるようになる。												
授業概要	排泄の支援には、移動・清潔・着脱などの支援技術を含む、総合的技術です。利用者のプライバシーや羞恥心への配慮に代表される、心理的な側面。便秘などの身体状況に対応するための医学的知識の習得を目指す。 ※この授業は介護福祉士として実務経験のある教員が根拠に基づいて授業を行う。												
授業計画	授業のテーマ							予習内容・時間	復習内容・時間				
	1	自立に向けた排泄の介護（排泄の基礎知識）							一週間の自分の排泄を振り返る。(30分)	授業中に伝達する(30分)			
	2	自立に向けた排泄の介護（気持ち良い排泄）							1回目の授業で伝達する(30分)	授業中に伝達する(30分)			
	3	自立に向けた排泄の介護（気持ち良い排泄）							2回目の授業で伝達する(30分)	授業中に伝達する(30分)			
	4	自立に向けた排泄の介護（排泄用具の活用）							3回目の授業で伝達する(30分)	授業中に伝達する(30分)			
	5	自立に向けた排泄の介護（排泄用具の活用）							4回目の授業で伝達する(30分)	授業中に伝達する(30分)			
	6	自立に向けた排泄の介護（排泄用具の活用）							5回目の授業で伝達する(30分)	授業中に伝達する(30分)			
	7	自立に向けた排泄の介護（変化の兆しと気づき）							6回目の授業で伝達する(30分)	授業中に伝達する(30分)			
	8	自立に向けた排泄の介護（利用者の状況に応じた排泄）							7回目の授業で伝達する(30分)	授業中に伝達する(30分)			
	9	自立に向けた排泄の介護（利用者の状況に応じた排泄）							8回目の授業で伝達する(30分)	授業中に伝達する(30分)			
	10	自立に向けた排泄の介護（利用者の状況に応じた排泄）							9回目の授業で伝達する(30分)	授業中に伝達する(30分)			
	11	自立に向けた排泄の介護（利用者の状況に応じた排泄）							10回目の授業で伝達する(30分)	授業中に伝達する(30分)			
	12	自立に向けた排泄の介護（利用者の状況に応じた排泄）							11回目の授業で伝達する(30分)	授業中に伝達する(30分)			
	13	自立に向けた排泄の介護（振り返り）							12回目までの内容をまとめる(1時間30分)	実技テストの内容を自主練習する(1時間30分)			
	14	自立に向けた排泄の介護（まとめ・実技テスト）											
15	自立に向けた排泄の介護（まとめ・実技テスト）								試験で出来なかった部分を練習する。(30分)				
成績評価基準	筆記試験：①②③④根拠を持った理解ができているか、単元ごとにミニテストを実施し、「筆記試験」として評価する。 実技：②③福祉用具の適切な選択、使用ができるか、実技テストを行い「実技」として評価する。 ④利用者の状況に応じた排泄介助ができるか、実技テストを行い「実技」として評価する。 授業の取組：①②③④授業に出席するだけでなく、授業中に課した演習回数を達成できたかどうかを「授業の取組」として評価する。												
成績評価方法（割合％）	筆記試験	レポート	課題				実技	授業の取組	その他（ ）				
	10						80		10				
教科書								参考書					
課題（試験、レポート等）に対するフィードバックの方法	①②③④ミニテストは、原則として、次の授業までに採点して返却する。 ②③④実技テストは13回目の授業で内容を発表し、14・15回目の授業で実施し、試験の講評をもってフィードバックとする。												

科目名	生活支援技術（家事・終末期） Life Support Skills (Housework Terminal stage)							担当者	田中優子		
開講年度	2020	学年	2	開講期	前期	単位数	1単位	授業形態	演習	必修・選択の区分	選択
授業の到達目標	在宅生活において、家事が出来なくなることは生活の維持が困難になることを理解し、家事支援の重要性を学び「人が生きていく」ための支援方法を習得する。人生の最終段階のとらえ方、意思決定のあり方、アセスメントの視点等を学び、人生の最終段階の介護の考え方と介護福祉職の役割を理解する。										
授業概要	生活を維持していくには家事は必要不可欠であることを理解し、人の生活には生活習慣、価値観等の個性や多様性があることを理解し、それらに対応できる知識・技術の習得。終末期の考え方や医療・ケアの決定プロセスを理解し、死を迎える人の支援方法、その家族への介護を学ぶ。										
授業計画	授業のテーマ							予習内容・時間		復習内容・時間	
	1	オリエンテーション：家事の意義と目的を知る。					教科書 配布資料参照・2時間		教科書 配布資料・2時間		
	2	自立に向けた家事の介護：家事に関する基礎知識①					教科書 配布資料参照・2時間		教科書 配布資料・2時間		
	3	自立に向けた家事の介護：家事に関する基礎知識②					教科書 配布資料参照・2時間		教科書 配布資料・2時間		
	4	自立に向けた家事の介護：家事に関する基礎知識③					教科書 配布資料参照・2時間		教科書 配布資料・2時間		
	5	自立に向けた家事の介護：事例検討					教科書 配布資料参照・2時間		教科書 配布資料・2時間		
	6	自立に向けた家事の介護：他職種の枠割と協働について知る。					教科書 配布資料参照・2時間		教科書 配布資料・2時間		
	7	自立に向けた家事の介護：演習①					教科書 配布資料参照・2時間		教科書 配布資料・2時間		
	8	自立に向けた家事の介護：演習②					教科書 配布資料参照・2時間		教科書 配布資料・2時間		
	9	自立に向けた家事の介護：演習③					教科書 配布資料参照・2時間		教科書 配布資料・2時間		
	10	自立に向けた家事の介護：まとめ ミニテスト					教科書 配布資料参照・2時間		教科書 配布資料・2時間		
	11	人生の最終段階における介護：人生の最終段階の意義と介護の役割					教科書 配布資料参照・2時間		教科書 配布資料・2時間		
	12	人生の最終段階における介護：人生の最終段階における介護					教科書 配布資料参照・2時間		教科書 配布資料・2時間		
	13	人生の最終段階における介護：事例紹介①					教科書 配布資料参照・2時間		教科書 配布資料・2時間		
	14	人生の最終段階における介護：事例紹介②					教科書 配布資料参照・2時間		教科書 配布資料・2時間		
	15	人生の最終段階における介護：まとめ ミニテスト					教科書 配布資料参照・2時間		教科書 配布資料・2時間		
成績評価基準	単元ごとのミニテストと定期試験、授業への取組にて評価										
成績評価方法 (割合%)	筆記試験		レポート		課題		実技		授業の取組		その他()
	60				20				20		
教科書						参考書					
課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法	ミニテストは採点后解説する。										

科目名	生活支援技術（総論） Life Support Skills (general remarks)							担当者	川井小百合 田中優子			
開講年度	2020	学年	2	開講期	後期	単位数	1	授業形態	演習	必修・選択の区分	介護福祉士必修	
授業の到達目標	即戦力となる介護福祉職を目指して、より専門的に根拠に基づいた幅広い知識を身につけることができる。											
授業概要	これまでに学んだ「生活支援技術」の授業内容をもとに、重要なポイントを再確認すると共に、より専門性の高い知識の習得を目指します。											
授業計画	授業のテーマ							予習内容・時間		復習内容・時間		
	1	生活支援の理解・自立に向けた居住環境の整備に関するまとめ					プリントを読んでわからない言葉の意味を調べる(30分)		講義内容について復習する(30分)			
	2	自立に向けた移動・食事の介護に関するまとめ					プリントを読んでわからない言葉の意味を調べる(30分)		講義内容について復習する(30分)			
	3	自立に向けた身じたく・入浴・清潔保持の介護に関するまとめ					プリントを読んでわからない言葉の意味を調べる(30分)		講義内容について復習する(30分)			
	4	自立に向けた排泄・休息・睡眠の介護に関するまとめ					プリントを読んでわからない言葉の意味を調べる(30分)		講義内容について復習する(30分)			
	5	自立に向けた家事の介護・人生の最終段階におけるに関するまとめ					プリントを読んでわからない言葉の意味を調べる(30分)		講義内容について復習する(30分)			
	6	1～5 までのまとめ					1～5までの講義内容を再確認する(30分)		まとめの内容を再確認する(30分)			
	7	介護過程の意義と基礎的理解に関するまとめ					プリントを読んでわからない言葉の意味を調べる(30分)		講義内容について復習する(30分)			
	8	認知症の医学的・心理的側面の基礎的理解に関するまとめ					プリントを読んでわからない言葉の意味を調べる(30分)		講義内容について復習する(30分)			
	9	認知症に伴う生活への影響と認知症ケアに関するまとめ					プリントを読んでわからない言葉の意味を調べる(30分)		講義内容について復習する(30分)			
	10	6～9 までのまとめ					6～9までの講義内容を再確認する(30分)		まとめの内容を再確認する(30分)			
	11	障害の基礎的理解に関するまとめ					プリントを読んでわからない言葉の意味を調べる(30分)		講義内容について復習する(30分)			
	12	障害の医学的・心理的側面の基礎的理解に関するまとめ					プリントを読んでわからない言葉の意味を調べる(30分)		講義内容について復習する(30分)			
	13	介護を必要とする人の生活を支えるしくみに関するまとめ					プリントを読んでわからない言葉の意味を調べる(30分)		講義内容について復習する(30分)			
	14	11～13 までのまとめ					11～13までの講義内容を再確認する(30分)		まとめの内容を再確認する(30分)			
15	総括					すべての講義内容を再確認する(30分)		まとめの内容を再確認する(30分)				
成績評価基準	講義内容についてのレポート、まとめのミニテストにより評価する。											
成績評価方法(割合%)	筆記試験		レポート		課題		実技		授業の取組		その他()	
	80%		15%		0		0		5%			
教科書	必要に応じてプリント配布					参考書		「見て覚える！介護福祉士国試ナビ」中央法規出版				
課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法	講義内容についてのレポート・まとめのミニテストは、確認後に返却し、必要に応じて授業時に講評・解説する。											

科目名	介護過程Ⅱ A						Care Prosess Ⅱ A			担当者		
	川井小百合	中野 幹子	一山 幸子	折居明日香	田邊 伸一	山本 恭大						
開講年度	2020	学年	1	開講期	後期	単位数	2	授業形態	演習	必修・選択の区分	介護福祉士必修	
授業の到達目標	①利用者の情報を整理し、記述することができる ②利用者のかかわりについて再構成し、共感的理解と自己覚知ができる ③利用者の生活上の課題に気づき、アセスメントを記述することができる ④具体的な介護方法を考え、介護計画の立案・実施・評価・考察を記述することができる											
授業概要	実習（Ⅱ）に向けて、介護場面の演習をとおして実践的に学んでいきます。 介護過程の展開には、「気づく」「観察する」「理由を考えてまとめる」「実践する」「評価・考察する」ことが重要になります。 授業は主にグループワーク(GW)を行います。グループメンバーとの意見交換により、積極的に学ぶ姿勢で取り組むこと。											
授業計画	授業のテーマ						予習内容・時間		復習内容・時間			
	1	介護過程の意義と基礎的理解： 介護過程の概要						「介護過程Ⅰ」での配布プリントを再確認する(30分)		講義内容について復習する(30分)		
	2	〃						〃		記述指導を受けた部分を再確認する(30分)		
	3	介護過程の展開の理解： 「利用者像」記述指導						〃		〃		
	4	〃						〃		〃		
	5	〃						〃		〃		
	6	〃						〃		〃		
	7	介護過程の展開の理解： 介護場面の模擬演技						プリントを読んでわからない言葉の意味を調べる(30分)		講義内容について復習する(30分)		
	8	〃						〃		〃		
	9	〃						〃		〃		
	10	〃						〃		〃		
	11	介護過程の展開の理解： 介護場面の模擬演技から考える「アセスメント」GW						介護場面の模擬演技から、アセスメントを考えてみる(30分)		講義内容について復習する(30分)		
	12	〃						〃		〃		
	13	〃						〃		〃		
	14	〃						〃		〃		
15	〃						〃		〃			
成績評価基準	授業での課題・レポート提出など、記録物の内容により総合評価する。											
成績評価方法(割合%)	筆記試験		レポート		課題		実技		授業の取組		その他()	
	0		10%		80%		0		10%			
教科書	必要に応じてプリント配布						参考書					
課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法	課題は確認後に返却し、必要に応じて授業時に講評・解説する。											

科目名	介護過程Ⅱ A						Care Prosess Ⅱ A		担当者	川井小百合 中野 幹子 一山 幸子 折居明日香 田邊 伸一 山本 恭大		
開講年度	2020	学年	1	開講期	後期	単位数	2	授業形態	演習	必修・選択の区分	介護福祉士必修	
授業の到達目標	①利用者の情報を整理し、記述することができる ②利用者のかかわりについて再構成し、共感的理解と自己覚知ができる ③利用者の生活上の課題に気づき、アセスメントを記述することができる ④具体的な介護方法を考え、介護計画の立案・実施・評価・考察を記述することができる											
授業概要	実習（Ⅱ）に向けて、介護場面の演習をとおして実践的に学んでいきます。 介護過程の展開には、「気づく」「観察する」「理由を考えてまとめる」「実践する」「評価・考察する」ことが重要になります。 授業は主にグループワーク（GW）を行います。グループメンバーとの意見交換により、積極的に学ぶ姿勢で取り組むこと。											
授業計画	授業のテーマ							予習内容・時間		復習内容・時間		
	16	介護過程の展開の理解： 「アセスメント」（グループ発表）					グループ発表に備えて発表の練習、資料を再確認する（30分）		発表内容・資料を振り返る（30分）			
	17	〃					〃		〃			
	18	介護過程の展開の理解： 「アセスメント」記述指導					GWを振り返り、アセスメントに記述する内容を考える（30分）		記述指導を受けた部分を再確認する（30分）			
	19	〃					〃		〃			
	20	介護過程の展開の理解： 実習（Ⅰ）－3 事例の記述指導					実習（Ⅰ）－3の記録物を見直し、修正点を確認する（30分）		記述指導を受けた部分を再確認する（30分）			
	21	〃					〃		〃			
	22	〃					〃		〃			
	23	介護過程の展開の理解： 介護場面の模擬演技から考える「介護計画」の立案（GW）					介護場面の模擬演技から、介護計画を考えてみる（30分）		講義内容について復習する（30分）			
	24	〃					〃		〃			
	25	介護過程の展開の理解： 「介護計画」の実践（グループ発表）準備					グループ発表に備えて発表の練習、資料を再確認する（30分）		発表内容・資料を振り返る（30分）			
	26	〃					〃		〃			
	27	介護過程の展開の理解： 「介護計画」の実践（グループ発表）					〃		〃			
	28	〃					〃		〃			
29	介護過程の展開の理解： 「介護計画」記述指導					GWを振り返り、介護計画に記述する内容を考える（30分）		記述指導を受けた部分を再確認する（30分）				
30	〃					〃		〃				
成績評価基準	授業での課題・レポート提出など、記録物の内容により総合評価する。											
成績評価方法（割合％）	筆記試験	レポート	課題	実技	授業の取組	その他（ ）						
	0	10%	80%	0	10%							
教科書	必要に応じてプリント配布						参考書					
課題（試験、レポート等）に対するフィードバックの方法	課題は確認後に返却し、必要に応じて授業時に講評・解説する。											

科目名	介護過程Ⅱ B							Care Prosess Ⅱ B			担当者	川井小百合 中野 幹子 一山 幸子 折居明日香 田邊 伸一 山本 恭大		
開講年度	2020	学年	2	開講期	後期	単位数	1	授業形態	演習	必修・選択の区分	介護福祉士必修			
授業の到達目標	①実習（Ⅱ）において担当した利用者の情報を整理し、「利用者像」に記述することができる。 ②利用者の解決すべき課題を明確にして、解釈・関連付け・統合化した内容を「アセスメント」に記述することができる。 ③利用者の望む生活を目指した目標、個別性に応じた具体的な介護方法、実施・評価・考察を「介護計画」に記述することができる。 ④記述した記録物をまとめ、介護過程報告会で発表することができる。													
授業概要	介護実習の集大成である介護過程報告会での発表のため、実習（Ⅱ）で担当した利用者の介護過程（「利用者像」「アセスメント」「介護計画」）を修正し、報告会に向けて個別指導を受けながら準備を進めていきます。 事例研究・発表の経験となる良い機会です。自分を磨き、高める姿勢で修正を重ねて仕上げていきましょう。													
授業計画	授業のテーマ							予習内容・時間		復習内容・時間				
	1	知識と技術の統合：実習（Ⅱ） 事後指導							実習（Ⅱ）の記録物を提出できるように準備する（30分）		記録物の内容について再確認する（30分）			
	2	〃							〃		〃			
	3	介護実践の科学的探究：実習（Ⅱ）介護過程の事例研究・記述指導							実習（Ⅱ）の記録物を見直し、修正点を確認する（30分）		記述指導を受けた部分を再確認する（30分）			
	4	〃							〃		〃			
	5	〃							〃		〃			
	6	〃							報告会の資料（パワーポイントなど）の作成準備をする（30分）		報告会の資料をまとめる（30分）			
	7	〃							〃		〃			
	8	〃							〃		〃			
	9	〃							〃		〃			
	10	実習（Ⅱ）介護過程報告会準備							報告会の資料（パワーポイントなど）を再確認する（30分）		報告会に備えて発表の練習をする（30分）			
	11	介護過程の展開の理解：実習（Ⅱ）介護過程報告会							報告会に備えて発表の練習、資料を再確認する（30分）		発表内容・資料を振り返る（30分）			
	12	〃							〃		〃			
	13	〃							〃		〃			
	14	〃							〃		〃			
15	総括							発表内容・資料を振り返る（30分）		まとめの内容を再確認する（30分）				
成績評価基準	介護過程報告会にむけて、記述指導における受講態度・報告会での発表内容について総合的に評価する。													
成績評価方法（割合％）	筆記試験	レポート	課題	実技	授業の取組	その他（ ）								
	0	0	80%	0	20%									
教科書	必要に応じてプリント配布							参考書	介護福祉士養成講座9「介護過程」					
課題（試験、レポート等）に対するフィードバックの方法	課題は確認後に返却し、必要に応じて授業時に講評・解説する。													

科目名	医療的ケア A						Medical Care A		担当者	小 車 淑 子								
開講年度	2020	学年	2	開講期	前期	単位数	2	授業形態	講義	必修・選択の区分	介護福祉士必修							
授業の到達目標	①たんの吸引や経管栄養を安全に実施するうえで基礎となるリスクマネジメントについて説明し、救急蘇生法を実施することができる。 ②介護現場で起こりうる感染の基礎知識と予防対策について、説明することができる。 ③異常時の状態を把握するための知識を理解し、観察し報告することができる。急変時の対応について、説明することができる。 ④たんの吸引に必要な人体の構造と機能、急変状態への対応について、説明することができる。																	
授業概要	医療職との連携のもと、経管栄養や喀痰吸引等の医療的ケアを安全・適確に実施できるよう、必要な知識を学ぶ科目です。 関連する人体の構造や機能を復習しながら、教科書の内容をふまえてパワーポイントを使用して講義します。専門用語が多いので、各自で予習・復習をして授業に臨みましょう。																	
授業計画	授業のテーマ						予習内容・時間		復習内容・時間									
	1	オリエンテーション：医療的ケア実施の基礎・安全な療養生活とリスクマネジメント					教科書 p52～55（2時間）		配布プリント（2時間）									
	2	感染予防と清潔保持					教科書 p64～71（2時間）		配布プリント（2時間）									
	3	個別の感染症					教科書 p74～75（2時間）		配布プリント（2時間）									
	4	介護職の感染予防対策、居住環境の清潔保持と消毒					教科書 p72～73（2時間）		配布プリント（2時間）									
	5	復習（小テスト①）					教科書 p52～75配布プリント（2時間）		小テスト①（2時間）									
	6	健康状態の把握：血圧					教科書 p76～81（2時間）		配布プリント（2時間）									
	7	健康状態の把握：脈拍・呼吸					教科書 p81～84（2時間）		配布プリント（2時間）									
	8	健康状態の把握：体温					教科書 p85～86（2時間）		配布プリント（2時間）									
	9	急変状態					教科書 p87～89配布プリント（2時間）		配布プリント（2時間）									
	10	復習（小テスト②）					教科書 p76～89（2時間）		小テスト②（2時間）									
	11	高齢者および障害児・者のたんの吸引概論：呼吸の仕組み・異常呼吸					教科書 p92～96（2時間）		配布プリント（2時間）									
	12	たんの吸引とは・人工呼吸装着者の吸引					教科書 p97～106（2時間）		配布プリント（2時間）									
	13	復習（小テスト③）					教科書 p92～106（2時間）		小テスト③（2時間）									
	14	まとめ					教科書 p52～106配布プリント・小テスト（4時間）											
15	救急救命法：演習					教科書 p55～63（2時間）		配布プリント（2時間）										
成績評価基準	授業の到達目標に関する筆記試験を実施し、理解度を評価する。																	
成績評価方法（割合）	筆記試験			レポート			課題			実技			授業の取組			その他（ ）		
	80%			10%									10%					
教科書	MINERUVA 福祉資格テキスト医療的ケア 竹宮敏子監修 ミネルヴァ書房						プリントを配布する		参考書	介護職員等のための医療的ケア 日本訪問看護財団 ミネルヴァ書房								
課題（試験、レポート等）に対するフィードバックの方法	単元ごとに復習小テストを実施し、解説の時間を設ける。																	

科目名	医療的ケア B							medical care B		担当者	中野幹子			
開講年度	2020	学年	2	開講期	前期	単位数	1	授業形態	演習	必修・選択の区分	介護福祉士必修			
授業の到達目標	1. 経管栄養における対象者や家族の気持ちを受けとめることができる。 2. 医療の制度や法律についての理解を深めることができる。 3. 消化器の仕組みや機能を理解できる。 4. 経管栄養の演習実施において実施ができるようになる。 5. 経管栄養実施時の感染予防を理解できる。 6. 事故発生時の対応を学ぶことができる。													
授業概要	講義では医療の制度やチーム連携の方法を学ぶ。演習では経管栄養の実践方法を学ぶ。 この授業は、看護師として実務経験のある教員が担当する。													
授業計画	授業のテーマ								予習内容・時間		復習内容・時間			
	1	個人の尊厳と自立							尊厳の意味について。1時間		尊厳と自立との関係。1時間			
	2	医療の倫理や、保健医療の制度・法律							医療保険制度。1時間		高齢者医療制度。1時間			
	3	チーム医療と介護職員との連携							チーム連携の方法。1時間		講義に復習。1時間			
	4	消化器の仕組み							胃腸の機能。1時間		胃腸のはたらき。1時間			
	5	消化器でよくある症状							胃腸の病気。1時間		胃腸の病気の症状・1時間			
	6	経管栄養の注入物の種類と特徴							注入物の種類・1時間		種類と特徴・1時間			
	7	経管栄養の演習							手技を覚える					
	8	経管栄養の演習							手技を覚える					
	9	経管栄養の演習							手技を覚える					
	10	経管栄養の演習							手技を覚える					
	11	経管栄養の演習							手技を覚える					
	12	経管栄養の感染対策							感染の種類・1時間		感染対策・1時間			
	13	経管栄養の事故発生時の対応							事故の種類・1時間		事故対応・1時間			
	14	経管栄養実技チェック												
15	経管栄養実技チェック													
成績評価基準	筆記試験、演習試験。授業の態度について評価を行う。													
成績評価方法(割合%)	筆記試験			レポート			課題			実技		授業の取組		その他()
	50									50				
教科書	MINERVA 福祉資格テキスト「医療的ケア」ミネルヴァ書房							参考書						
課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法	演習チェックにて個人別に指導する。													

科目名	医療的ケア C						Medical Care C			担当者	小 車 淑 子							
開講年度	2020	学年	2	開講期	後期	単位数	1	授業形態	演習	必修・選択の区分	介護福祉士必修							
授業の到達目標	①たんの吸引を受ける要介護者や家族の心理を考え、実施することができる。 ②吸引に必要な器具の取り扱いと清潔保持の方法を実施することができる。 ③たんの吸引について、必要物品の準備・安全な実施・状態観察・報告・記録・片付けが、的確に実施できる。 ④たんの吸引を行う上での注意点とその理由について、説明することができる。 ⑤医療関連領域に関する知識について、説明することができる。																	
授業概要	医療職との連携のもと、喀痰吸引が安全・適確に実施できるよう、演習する科目です。 たんの吸引演習では、口腔内・鼻腔内吸引（通常手順・非侵襲的人工呼吸療法）、気管カニューレ内吸引（通常手順・侵襲的人工呼吸療法）について、計4項目の演習を5回ずつ実施したうえで、実技試験を実施する。後半は、医学関連領域の知識を復習する。																	
授業計画	授業のテーマ						予習内容・時間			復習内容・時間								
	1	オリエンテーション：講義																
	2	高齢者および障碍児・者のたんの吸引概論：講義						教科書 p92～117（2時間）			配布プリント（1時間）							
	3	喀痰吸引（基礎的知識・実施手順）：講義						教科書 p118～123（1時間）			教科書 p118～123（1時間）							
	4	必要物品準備・吸引：演習						教科書 p118～123（1時間）			教科書 p118～123（1時間）							
	5	口腔・鼻腔内吸引（通常手順）：講義						教科書 p124～135（1時間）			教科書 p124～135（1時間）							
	6	口腔・鼻腔内吸引（通常手順）：演習						教科書 p124～135（1時間）			演習評価票（1時間）							
	7	口腔・鼻腔内吸引（通常手順）：演習						教科書 p124～135（1時間）			演習評価票（1時間）							
	8	口腔・鼻腔内吸引（非侵襲的人工呼吸器）：講義						教科書 p124～135（1時間）			演習評価票（1時間）							
	9	口腔・鼻腔内吸引（非侵襲的人工呼吸器）：演習						教科書 p124～135（1時間）			演習評価票（1時間）							
	10	口腔・鼻腔内吸引（非侵襲的人工呼吸器）：演習						教科書 p124～135（1時間）			演習評価票（1時間）							
	11	気管カニューレ内吸引（通常手順）：講義						教科書 p124～135（1時間）			演習評価票（1時間）							
	12	気管カニューレ内吸引（通常手順）：演習						教科書 p124～135（1時間）			演習評価票（1時間）							
	13	気管カニューレ内吸引（通常手順）：演習						教科書 p136～140（1時間）			演習評価票（1時間）							
	14	気管カニューレ内吸引（侵襲的人工呼吸器）：講義						教科書 p136～140（1時間）			演習評価票（1時間）							
	15	気管カニューレ内吸引（侵襲的人工呼吸器）：演習						教科書 p136～140（1時間）			演習評価票（1時間）							
成績評価基準	実技試験の受験資格は、口腔・鼻腔内吸引（通常手順・非侵襲的人工呼吸器）、気管カニューレ内吸引（通常手順・侵襲的人工呼吸器）の4項目について、評価票に沿って5回ずつの演習を実施し、全項目の評価がAとなることを必要とする。 実技試験は事例を設定し、安全・確実・丁寧さ・コミュニケーション・観察等について評価する。 単位認定は、筆記試験・実技試験ともに60%以上に達していることを必要とする。評価割合は実技50%、筆記50%、授業の取り組み態度を減点し総合評価する。																	
成績評価方法（割合）	筆記試験			レポート			課題			実技			授業の取組			その他（ ）		
	50%									50%			減点					
教科書	MINERUVA 福祉資格テキスト医療的ケア 竹宮敏子監修ミネルヴァ書房						参考書			2020介護福祉士国家試験模擬問題集 介護福祉士国家試験受験対策研究会編集 中央法規								
課題（試験、レポート等）に対するフィードバックの方法	演習時レポートを実施し、解説の時間を設ける。																	

科目名	医療的ケア C						Medical Care C		担当者	小 車 淑 子		
開講年度	2020	学年	2	開講期	後期	単位数	1	授業形態	演習	必修・選択の区分	介護福祉士必修	
授業の到達目標	①たんの吸引を受ける要介護者や家族の心理を考え、実施することができる。 ②吸引に必要な器具の取り扱いと清潔保持の方法を実施することができる。 ③たんの吸引について、必要物品の準備・安全な実施・状態観察・報告・記録・片付けが、的確に実施できる。 ④たんの吸引を行う上での注意点とその理由について、説明することができる。 ⑤医療関連領域に関する知識について、説明することができる。											
授業概要	医療職との連携のもと、喀痰吸引が安全・適確に実施できるよう、演習する科目です。 たんの吸引演習では、口腔内・鼻腔内吸引（通常手順・非侵襲的人工呼吸療法）、気管カニューレ内吸引（通常手順・侵襲的人工呼吸療法）について、計4項目の演習を5回ずつ実施したうえで、実技試験を実施する。後半は、医学関連領域の知識を復習する。											
授業計画	授業のテーマ						予習内容・時間		復習内容・時間			
	16	実技試験準備：演習					演習評価票（1時間）		演習評価票（1時間）			
	17	実技試験：演習					演習評価票（1時間）		演習評価票（1時間）			
	18	実技試験：演習					演習評価票（1時間）		演習評価票（1時間）			
	19	医療的分野復習：講義					国家試験模擬問題集 ところとからだ（2時間）		配布プリント（2時間）			
	20	医療的分野復習：講義					国家試験模擬問題集 ところとからだ（2時間）		配布プリント（2時間）			
	21	医療的分野復習：講義					国家試験模擬問題集 ところとからだ（2時間）		配布プリント（2時間）			
	22	医療的分野復習：講義					国家試験模擬問題集 ところとからだ（2時間）		配布プリント（2時間）			
	23	医療的分野復習：講義					国家試験模擬問題集 ところとからだ（2時間）		配布プリント（2時間）			
	24	医療的分野復習：講義					国家試験模擬問題集 発達と老化の理解（2時間）		配布プリント（2時間）			
	25	医療的分野復習：講義					国家試験模擬問題集 発達と老化の理解（2時間）		配布プリント（2時間）			
	26	医療的分野復習：講義					国家試験模擬問題集 発達と老化の理解（2時間）		配布プリント（2時間）			
	27	医療的分野復習：講義					国家試験模擬問題集 発達と老化の理解（2時間）		配布プリント（2時間）			
	28	医療的分野復習：講義					国家試験模擬問題集 障害の理解（2時間）		配布プリント（2時間）			
29	医療的分野復習：講義					国家試験模擬問題集 障害の理解（2時間）		配布プリント（2時間）				
30	まとめ					国家試験模擬問題集・ 配布プリント（2時間）						
成績評価基準	実技試験の受験資格は、口腔・鼻腔内吸引（通常手順・非侵襲的人工呼吸器）、気管カニューレ内吸引（通常手順・侵襲的人工呼吸器）の4項目について、評価票に沿って5回ずつの演習を実施し、全項目の評価がAとなることを必要とする。 実技試験は事例を設定し、安全・確実・丁寧さ・コミュニケーション・観察等について評価する。 単位認定は、筆記試験・実技試験ともに60%以上に達していることを必要とする。評価割合は実技50%、筆記50%、授業の取り組み態度を減点し総合評価する。											
成績評価方法（割合）	筆記試験		レポート		課題		実技		授業の取組		その他（ ）	
	50%						50%		減点			
教科書	MINERUVA 福祉資格テキスト医療的ケア 竹宮敏子監修ミネルヴァ書房					参考書		2020介護福祉士国家試験模擬問題集 介護福祉士国家試験受験対策研究会編集 中央法規				
課題（試験、レポート等）に対するフィードバックの方法	演習時レポートを実施し、解説の時間を設ける。											

科目名	国家試験特講 A State examination measure special lecture A								担当者	一山幸子 小車淑子				
開講年度	2020	学年	2年	開講期	後期	単位数	1単位	授業形態	演習	必修・選択の区分	選択			
授業の到達目標	介護福祉士国家試験に向けて、①医療的ケア、②社会の理解、③障害の理解、④人間の尊厳と自立、⑤人間関係とコミュニケーションの領域の過去問題や模擬問題を解くことができる。													
授業概要	①医療的ケア、②社会の理解、③障害の理解、④人間の尊厳と自立、⑤人間関係とコミュニケーションの過去問題、模擬問題を解く。予習・復習をしっかりと行い、本番と同じ気持ちで真剣に問題を解く。そして授業中の解説をよく聞いて理解しながら繰り返し問題を解き、確実に正答できるようにしていく。													
授業計画	授業のテーマ						予習内容・時間		復習内容・時間					
	1	医療的ケア					医療的ケア実施の基礎をまとめる(30分)		医療的ケア実施の基礎を覚える(30分)					
	2	医療的ケア					喀痰吸引実施の基礎をまとめる(30分)		喀痰吸引実施の基礎を覚える(30分)					
	3	医療的ケア					経管栄養実施の基礎をまとめる(30分)		経管栄養実施の基礎を覚える(30分)					
	4	障害者自立支援法					障害保健福祉施策の歴史をまとめる(30分)		障害保健福祉施策の歴史を覚える(30分)					
	5	障害者自立支援法					障害者総合支援法の給付・事業をまとめる(30分)		障害者総合支援法の給付・事業を覚える(30分)					
	6	障害者自立支援法					介護給付・訓練等給付費の種類をまとめる(30分)		介護給付・訓練等給付費の種類を覚える(30分)					
	7	障害者自立支援法					地域生活支援事業の種類と内容をまとめる(30分)		地域生活支援事業の種類と内容を覚える(30分)					
	8	人間の尊厳と自立					障害者差別解消法の要点をまとめる(30分)		障害者差別解消法の要点を覚える(30分)					
	9	人間の尊厳と自立					人間の尊厳と人権の歴史・重要用語をまとめる(30分)		人間の尊厳と人権の歴史・重要用語を覚える(30分)					
	10	人間関係とコミュニケーション					相談援助技術とチームアプローチの要点をまとめる(30分)		相談援助技術とチームアプローチの要点を覚える(30分)					
	11	知的障害・発達障害					知的障害・発達障害の医学的理解と支援方法をまとめる(30分)		知的障害・発達障害の医学的理解と支援方法を覚える(30分)					
	12	社会保障制度					社会保障制度の概要をまとめる(30分)		社会保障制度の概要を覚える(30分)					
	13	社会保障制度					社会福祉の歴史をまとめる(30分)		社会福祉の歴史を覚える(30分)					
	14	社会保障制度					医療保険、労働関係法規をまとめる(30分)		医療保険、労働関係法規を覚える(30分)					
	15	まとめ					これまでの総復習をする(30分)		これまでの総復習をして覚える(30分)					
成績評価基準	①医療的ケア、②社会の理解、③障害の理解、④人間の尊厳と自立、⑤人間関係とコミュニケーションの過去問題、模擬問題を解くことができる。													
成績評価方法(割合%)	筆記試験			レポート			課題			実技		授業の取組		その他()
	100%													
教科書	見て覚える！介護福祉士国試ナビ2021、中央法規最新 介護福祉士養成講座14「障害の理解」 介護福祉士養成講座編集委員会 編集						参考書		介護福祉士国家試験 模擬問題集2021、中央法規 介護福祉士完全合格 過去&模擬問題集、翔泳社					
課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法	過去問題、模擬問題、予想問題を解いた後に解説をしますので、自己採点・自己添削をして、間違えた所をしっかりと復習していきましょう。													

科目名	国家試験特講 B State examination measure special lecture B							担当者	中野幹子			
開講年度	2020	学年	2	開講期	後期	単位数	1	授業形態	演習	必修・選択の区分	選択科目	
授業の到達目標	介護福祉士国家試験対策を行い、国家試験に合格することができる。											
授業概要	介護福祉士国家試験4年分の解説を行い、国家試験のイメージを具体的に持つことができる力を身につけるような指導を行う。											
授業計画	授業のテーマ							予習内容・時間		復習内容・時間		
	1	人間と社会					過去問題の予習・1時間		人間社会の復習。1時間程度			
	2	人間と社会					過去問題の予習・1時間		人間社会の復習。1時間程度			
	3	人間と社会					過去問題の予習・1時間		人間社会の復習。1時間程度			
	4	こころとからだのしくみ					過去問題の予習・1時間		こころとからだのしくみの復習。1時間程度			
	5	こころとからだのしくみ					過去問題の予習・1時間		こころとからだのしくみの復習。1時間程度			
	6	こころとからだのしくみ					過去問題の予習・1時間		こころとからだのしくみの復習。1時間程度			
	7	介護の領域					過去問題の予習・1時間		介護の領域の復習。1時間程度			
	8	介護の領域					過去問題の予習・1時間		介護の領域の復習。1時間程度			
	9	介護の領域					過去問題の予習・1時間		介護の領域の復習。1時間程度			
	10	介護の領域					過去問題の予習・1時間		介護の領域の復習。1時間程度			
	11	介護の領域					過去問題の予習・1時間		介護の領域の復習。1時間程度			
	12	介護の領域					過去問題の予習・1時間		介護の領域の復習。1時間程度			
	13	介護の領域					過去問題の予習・1時間		介護の領域の復習。1時間程度			
	14	介護の領域					過去問題の予習・1時間		介護の領域の復習。1時間程度			
	15	直前対策					過去問題の予習・1時間		出題頻度の高い問題を復習する。2時間			
成績評価基準	期末試験と毎回の小テスト、授業中の態度により評価を行う。											
成績評価方法(割合%)	筆記試験			レポート			課題		実技		授業の取組	その他()
	80										20	
教科書							参考書	介護福祉士過去4年間の問題集 成美堂出版				
課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法	毎回の小テストによりフィードバックを行う。											

科目名	介護実習 Practice in care							担当者	中野 幹子 一山 幸子 川井小百合 折居明日香 田邊 伸一 山本 恭大				
開講年度	2020	学年	2	開講期	通年	単位数	10	授業形態	実習	必修・選択の区分	介護福祉士必修		
授業の到達目標	実習（Ⅰ）－3では、利用者の状況に応じた生活支援ができる。担当利用者の情報を収集し生活上の課題に気づき、解釈・関連付け・統合化を行い、解決すべき課題を抽出することができる。 実習（Ⅱ）では、担当利用者のアセスメントを行い、情報を把握して利用者の望む生活を考え、多職種においてチームとして介護計画を実施し評価することができる。												
授業概要	実習（Ⅰ）－3では巡回担当教員と実習指導者や職員により、アセスメントの指導を行う。実習（Ⅱ）では巡回教員や実習指導者、職員により介護計画実施と評価について指導を行う。												
授業計画	授業のテーマ							予習内容・時間	復習内容・時間				
	1	実習（Ⅰ）－3											
	2	「目的」											
	3	1. 利用者の生活場면을把握し、解決すべき課題に焦点を当て支援技術を学ぶ。											
	4												
	5	実習（Ⅱ）											
	6	「目的」											
	7	1. 利用者について多面的な情報収集を行い、科学的根拠に基づき課題分析を行う。											
	8	2. 利用者のニーズに応じた具体的な介護方法を実施し評価を行う。											
	9												
	10												
	11												
	12												
	13												
	14												
15													
成績評価基準	実習指導者評価と巡回教員により評価を行う。												
成績評価方法 (割合%)	筆記試験	レポート	課題	実技	授業の取組	その他 ()							
			50	50									
教科書								参考書					
課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法	各実習ごとに担当別巡回教員ごとに個別指導を行う。												

科目名	障害者スポーツ論 Sports for the Disabled							担当者	山野 明				
開講年度	2020	学年	2	開講期	後期	単位数	2	授業形態	講義	必修・選択の区分	必修		
授業の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・障がい（身体・知的・精神）の特性、スポーツ指導上の留意点について説明できる。 ・障がいの特性に応じたルール、道具、環境づくりを行えるようになる。 ・障がいに配慮したスポーツの支援または指導が行えるようになる。 												
授業概要	障がい（身体・知的・精神）の原因と病態を知り、障がい特性に合わせた競技ルールの変更点と用具の工夫について学ぶ。また、障がいの特性を理解し、障がいに配慮した指導方法を考えていく。なお、福岡市障がい者スポーツ大会へのボランティア参加を必須とします。												
授業計画	授業のテーマ							予習内容・時間		復習内容・時間			
	1	障がい者スポーツとは					興味のある障がい者スポーツについて調べよう（2時間）		ルール、用具等の整理（2時間）				
	2	わが国のスポーツ施策と障がい者スポーツ					日本障がい者スポーツ協会HPを検索し歴史と現状を調べよう（2時間）		歴史と現状の整理（2時間）				
	3	福岡市障がい者スポーツ大会ボランティア、ボランティア論					福岡市障がい者スポーツ協会HPを検索し事業内容を調べよう（2時間）		大会の運営サポートの整理（2時間）				
	4	福岡市障がい者スポーツ大会ボランティア、ボランティア論					福岡市障がい者スポーツ協会HPを検索し事業内容を調べよう（2時間）		大会の運営サポートの整理（2時間）				
	5	障がい者スポーツの意義と理念					配布資料の熟読（2時間）		配布資料の整理（2時間）				
	6	障がい者スポーツの意義と理念					配布資料の熟読（2時間）		配布資料の整理（2時間）				
	7	安全管理					配布資料の熟読（2時間）		配布資料の整理（2時間）				
	8	障がい各論 身体障がい					配布資料の熟読（2時間）		配布資料の整理（2時間）				
	9	障がい各論 身体障がい					配布資料の熟読（2時間）		配布資料の整理（2時間）				
	10	障がい各論 知的障がい					配布資料の熟読（2時間）		配布資料の整理（2時間）				
	11	障がい各論 精神障がい					配布資料の熟読（2時間）		配布資料の整理（2時間）				
	12	障がいに応じたスポーツの工夫					配布資料の熟読（2時間）		配布資料の整理（2時間）				
	13	全国障害者スポーツ大会の概要					日本障がい者スポーツ協会HPを検索し歴史と現状を調べよう（2時間）		歴史と現状の整理（2時間）				
	14	日本障がい者スポーツ協会 資格認定制度					日本障がい者スポーツ協会HPを検索し指導者について調べよう（2時間）		指導者の資格、種類と役割の整理（2時間）				
	15	まとめ					指導者像について考える（2時間）		指導者像をまとめる（2時間）				
成績評価基準	筆記試験（60%）、受講態度（30%）、レポート（10%）により評価する。												
成績評価方法（割合%）	筆記試験			レポート			課題		実技		授業の取組		その他（ ）
	60%			10%							30%		
教科書								参考書	新版 障がい者スポーツ指導教本 初級・中級（公財）日本障がい者スポーツ協会編／ぎょうせい				
課題（試験、レポート等）に対するフィードバックの方法	筆記試験のフィードバックとして、講評及び解説の時間を設ける。												

科目名	障害児・者スポーツ演習 Exercise in Sports for the Disabled						担当者	東嵩西 謡 平			
開講年度	2020	学年	2	開講期	後期	単位数	1	授業形態	演習	必修・選択の区分	選択
授業の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・障がい者スポーツを楽しむことができる。 ・障がい者スポーツのサポートができる。 ・障がい者スポーツをサポートする上で、障害特性に応じた留意点が説明できる。 										
授業概要	障がい児・者及び高齢者が実際に行っているスポーツを体験し、各種目の特性と運動効果について理解を深めます。また、実際のスポーツ場面において各障害に応じて工夫している点について考えます。視覚障がい者のスポーツはフロアバレーボール、肢体障がい者のスポーツは車いすバスケットボール、重度障がい者のスポーツはボッチャなどのスポーツを行う予定です。										
授業計画	授業のテーマ						予習内容・時間		復習内容・時間		
	1	ガイダンス					車イス介助・視覚障がいの介助 30分		全国障がい者スポーツ大会について 30分		
	2	視覚障がい者のスポーツ					サウンドテーブルテニス (STT) とは 30分		パラリンピックについて 30分		
	3	視覚障がい者のスポーツ					ゴールボールとは 30分		ルールの理解 30分		
	4	視覚障がい者のスポーツ					フロアバレーボールとは 30分		ポジションの理解 30分		
	5	視覚障がい者のスポーツ					前回の整理 30分		ポジションの理解 30分		
	6	視覚障がい者のスポーツ					前回の整理 30分		視覚障がいの特徴 30分		
	7	肢体障がい者のスポーツ					シッティングバレーとは 30分		ルールの理解 30分		
	8	肢体障がい者のスポーツ					卓球バレーとは 30分		ルールの理解 30分		
	9	肢体障がい者のスポーツ					車イスバスケットとは 30分		ルールの理解 30分		
	10	重度障がい者のスポーツ					全国障がい者スポーツ大会の陸上競技について 30分		ルールの理解 30分		
	11	重度障がい者のスポーツ					ボッチャとは 30分		ルールの理解 30分		
	12	知的障がい者のスポーツ					フライングディスクとは 30分		ルールの理解 30分		
	13	障がい者スポーツの考案					ふうせんバレーボールとは 30分		ニュースポーツの作り方 30分		
	14	障がい者スポーツの考案					前回の整理 30分		ニュースポーツの作り方 30分		
15	障がい者スポーツの考案					前回の整理 30分		障がい者スポーツの特性 30分			
成績評価基準	受講態度、技術の修得度										
成績評価方法 (割合%)	筆記試験		レポート		課題		実技		授業の取組		その他 ()
							55		45		
教科書	なし					参考書	新版 障がい者スポーツ指導教本 初級・中級 / (公財) 日本障がい者スポーツ協会編 / ぎょうせい				
課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法	1 コマずつ講評や解説の時間を設ける。										

科目名	園芸福祉 Welfair Horticultur							担当者	佐々木 一成		
開講年度	2020	学年	2	開講期	後期	単位数	2	授業形態	講義	必修・選択の区分	選択
授業の到達目標	園芸すなわち身近な場所での植物とのかかわりは、私たち人間にさまざまな効用をもたらしてくれる。それをひきだす造園・園芸・社会福祉のあり方はいかにあるべきかを考え、知識、技能を学び、将来、初級園芸福祉士として活躍することができるようになる。										
授業概要	授業は講義形式を基本とするが、園芸福祉の楽しさや難しさは実習を通じて行う。どうすれば楽しく、無理のない形で誰もが関われるかということを実験のなかで学ぶことにする。理論が実践にどのように結びつくかを学び取って欲しい。										
授業計画	授業のテーマ							予習内容・時間		復習内容・時間	
	1	園芸福祉の基本的な理解					教科書「園芸福祉入門」p5～p26を熟読しておくこと。(2時間)		今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)		
	2	園芸福祉を展開する地域システムの可能性					教科書「園芸福祉入門」p27～p41を熟読しておくこと。(2時間)		今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)		
	3	園芸の効用1 生産・経済					教科書「園芸福祉入門」p43～p44を熟読しておくこと。(2時間)		今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)		
	4	園芸の効用2 心理					教科書「園芸福祉入門」p44を熟読しておくこと。(2時間)		今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)		
	5	園芸の効用3 環境					教科書「園芸福祉入門」p44を熟読しておくこと。(2時間)		今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)		
	6	園芸の効用4 社会					教科書「園芸福祉入門」p45を熟読しておくこと。(2時間)		今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)		
	7	園芸の効用5 教育					教科書「園芸福祉入門」p45を熟読しておくこと。(2時間)		今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)		
	8	園芸の効用6 精神					教科書「造園施工管理技術編」p45～p46を熟読しておくこと。(2時間)		今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)		
	9	実践するためのノウハウやカリキュラムづくり					教科書「園芸福祉入門」p133～p178を熟読しておくこと。(2時間)		今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)		
	10	園芸福祉の日本の現状					教科書「園芸福祉入門」p44～p77を熟読しておくこと。(2時間)		今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)		
	11	園芸福祉の諸外国の実情					教科書「園芸福祉入門」p78～p132を熟読しておくこと。(2時間)		今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)		
	12	活動の運営のマネジメント					教科書「園芸福祉入門」p179～p193を熟読しておくこと。(2時間)		今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)		
	13	プログラムづくりと実習					教科書「園芸福祉入門」p194～p221を熟読しておくこと。(2時間)		今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)		
	14	モデルプランの計画設計					事前にプリントを配布するので熟読しておくこと。(2時間)		今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)		
	15	まとめ					事前にプリントを配布するので熟読しておくこと。(2時間)		今回の授業で学んだ内容を復習しておくこと(2時間)		
成績評価基準	主に筆記試験によるが、筆記試験80%および受講態度(参加姿勢)10%、課題提出10%で評価する。										
成績評価方法(割合%)	筆記試験	レポート	課題	実技	授業の取組	その他()					
	80		10		10						
教科書	①「園芸福祉入門」進士五十八・吉長成恭監修 日本園芸福祉普及協会編 創森社出版 ②プリントを配布します					参考書	①「日比谷公園」(進士五十八著) ②「植物と人間の絆」(チャールズ・A・ルイス著)				
課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法	講評や解説の時間を設ける。 課題の返却は、2週間以内にコメントをつけて返却する。										

科目名	手話 Sign Language							担当者	福田 九		
開講年度	2020	学年	2	開講期	前期	単位数	1	授業形態	演習	必修・選択の区分	選択
授業の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・手話、手話言語に対する違いを説明できるようにする。 ・手話で話せるようにする。(日常会話ができるようになる) 										
授業概要	ろう者の暮らし、手話の歴史、聴覚障害、ソーシャルワーク哲学を身に付けることによって、ろう者・聴覚障がい者に対する支援技能を高める。										
授業計画	授業のテーマ							予習内容・時間	復習内容・時間		
	1	本講義概要説明、テキストの使い方等									
	2	手話と手話言語の違いについて						ディスカッション (45分)	グループワーク・プリント (45分)		
	3	ろう者・聴覚障害者等の呼称について						ディスカッション (45分)	グループワーク・プリント (45分)		
	4	手話の必要性について						ディスカッション (45分)	グループワーク・プリント (45分)		
	5	支援と援助の違いについて						ディスカッション (45分)	グループワーク・プリント (45分)		
	6	ろう者の福祉について“福祉”の本質は？						ディスカッション (45分)	グループワーク・プリント (45分)		
	7	歴史を学ぶことの意味を考える						ディスカッション (45分)	グループワーク・プリント (45分)		
	8	ICF（国際生活機能分類）による支援の視点を学ぶ						ディスカッション (45分)	グループワーク・プリント (45分)		
	9	(実践) ろう者の生活について考える①									
	10	(実践) ろう者の生活について考える②									
	11	(トレーニング) シャドーイング (自己紹介)						(主旨および内容説明・30分)	語彙の確認 (45分)		
	12	(トレーニング) シャドーイング (暮らし)						(内容説明・30分)	語彙の確認 (45分)		
	13	(トレーニング) シャドーイング (学校生活)						(内容説明・30分)	語彙の確認 (45分)		
	14	(トレーニング) シャドーイング (旅行)						(内容説明・30分)	語彙の確認 (45分)		
15	本講義の総括										
成績評価基準	手話・手話言語について説明できる、話せることが前提であるので、筆記試験・レポート・課題・実技・授業の取組で総合して評価する。										
成績評価方法 (割合%)	筆記試験		レポート		課題		実技		授業の取組		その他 ()
	10		10		10		10		60		
教科書	わたしたちの手話学習辞典 I (全日本ろうあ連盟)						参考書	適宜紹介します			
課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法	返却しない。授業時にパワーポイントを使用して説明する。講評する。										

科目名	介護の基礎Ⅲ Basic Care Theory Ⅲ							担当者	古賀 さと子		
開講年度	2020	学年	2	開講期	前期	単位数	1	授業形態	演習	必修・選択の区分	選択
授業の到達目標	①国家試験に必要な読解力を身につける。 ②国家試験に必要な専門語彙を使えるようになる。 ③事例問題を読むことに慣れる。										
授業概要	国家試験の事例問題の読解練習を通して、専門領域の知識の整理、専門用語の習得する。 また、国家試験でよく出る文法を習得し、短い時間で大意がとれるよう速読の練習をする。										
授業計画	授業のテーマ							予習内容・時間	復習内容・時間		
	1	オリエンテーション、スキミング、短文の速読						予習 (30分)	宿題 (30分)		
	2	事例問題①読解 内臓、消化器復習						プリントの予習 (臓器) (30分)	宿題 (30分)		
	3	事例問題②読解 介護保険の整理①						プリントの予習 (介護保険) (30分)	宿題 (30分)		
	4	事例問題③読解 介護保険の整理②						プリントの予習 (介護予防) (30分)	宿題 (30分)		
	5	事例問題④読解 介護保険の整理③						プリントの予習 (地域包括支援センター) (30分)	宿題 (30分)		
	6	事例問題⑤読解 認知症の整理①						プリントの予習 (認知症) (30分)	宿題 (30分)		
	7	事例問題⑥読解 認知症の整理②						プリントの予習 (認知症状が出る病気) (30分)	宿題 (30分)		
	8	事例問題⑦読解 認知症の整理③						プリントの予習 (認知症の評価) (30分)	宿題 (30分)		
	9	事例問題⑧読解 脳血管疾患の整理						プリントの予習 (脳血管疾患) (30分)	宿題 (30分)		
	10	事例問題⑨読解 高次脳機能障害の整理						プリントの予習 (高次脳機能障害) (30分)	宿題 (30分)		
	11	事例問題⑩読解 障害の原因になる病気の整理						プリントの予習 (障害の原因になる病気) (30分)	宿題 (30分)		
	12	事例問題⑪読解 障害者総合支援法の整理①						プリントの予習 (障害の種類) (30分)	宿題 (30分)		
	13	事例問題⑫読解 障害者総合支援法の整理②						プリントの予習 (障害者総合支援法) (30分)	宿題 (30分)		
	14	事例問題⑬読解 権利擁護の整理						プリントの予習 (成年後見制度) (30分)	復習 (30分)		
	15	まとめ						テスト勉強 (60分)	復習 (30分)		
成績評価基準	①指定している時間内で問題を解くことができたか。 ②正答率6割以上。										
成績評価方法 (割合%)	筆記試験		レポート		課題		実技		授業の取組		その他 ()
	50%		-		20%		-		30%		
教科書	必要に応じてプリントを配布					参考書	「介護の日本語と漢字国家試験対策 段階別事例問題読解」 JICWELS 「介護福祉士 国試ナビ」 中央法規				
課題(試験、レポート等)に対するフィードバックの方法	次回の授業で解説をする。										

発行日 2020年3月

発行者 西日本短期大学

〒810-0066

福岡県福岡市中央区福浜1-3-1

TEL 092-721-1141 (代表) 092-721-1152 (学務課直通)

学籍番号		氏名	
------	--	----	--

在学中の講義要項は、編入時の単位認定や資格取得時に提示を求められることがありますので、卒業後も各自保管してください。